令和４年 10 月 28 日調整

さいき 903 エコプラン（第２次佐伯市環境基本計画）「環境意識調査」とりまとめ結果

令和４年９月

佐　伯　市

目　　次

1　市民アンケート調査結果
（１）調査概要…… 1
１）調査期間…… 1
２）調査方法…… 1
３）調査対象…… 1
４）調査項目…… 1
５）回収率…… 1
（２）回答者の属性…… 1
（３）調査結果…… 2
１）環境問題への関心…… 2
２）環境用語の認知度…… 3
３）環境保全活動への参加…… 4
４）身近な環境の満足度…… 6
５）環境保全行動の実施状況、意向…… 31
６）環境保全のために個人レベルでできそうな目標…… 33
７）家庭でのエネルギー使用状況…… 37
８）市の施策について…… 38
９）環境への取組主体…… 41
10）守るべき環境、改善すべき環境…… 42
11）自由意見…… 48

２　小中学生アンケート調査結果
（１）調査概要…… 57
１）調査期間…… 57
２）調査方法…… 57
３）回答者属性…… 57
（２）調査結果…… 58
１）環境保全行動の実施状況…… 58
２）佐伯市の環境のあるべき姿…… 59
３）身近な環境の評価…… 61
４）環境に関する言葉の認知度…… 80
５）自由意見…… 82

３　高校生アンケート調査結果
（１）調査概要…… 85
１）調査期間…… 85
２）調査方法…… 85

３）回答者属性 85
（２）調査結果 86
１）環境問題への関心 86
２）環境用語の認知度 87
３）身近な環境の満足度 88
４）環境保全行動の実施状況・意向 101
５）ごみの減量意向 103
６）市の施策について 104
７）自由意見 107

４　事業者アンケート調査結果
（１）調査概要 109
１）調査期間 109
２）調査方法 109
３）調査対象 109
４）調査項目 109
５）回収率 109
（２）回答者の属性 109
（３）調査結果 111
１）環境保全対策の取組状況と今後の意向 111
２）環境保全活動の実施状況 116
３）環境保全活動への参加意向 125
４）環境教育の実施状況 126
５）環境マネジメントシステムについて 128
６）省エネルギー設備・新エネルギー設備の導入状況 130
７）環境行政への要望 132
８）行政に提供してほしい環境情報 134
９）自由意見 135

1　市民アンケート調査結果

（1）調査概要

1）調査期間：令和４年８月１日発送（８月１日～８月 31 日：配布回収）

2）調査方法：郵送法

3）調査対象:旧市町村を単位とした地区ごとに 30 票ずつ計 270 票を割り振り、残り 1,730 票について令和４年５月末時点の世帯数比で配分し、その結果、以下のように地区別に 2,000 世帯を決定した。その後、地区ごとに無作為に 18 歳以上の住民を抽出した。

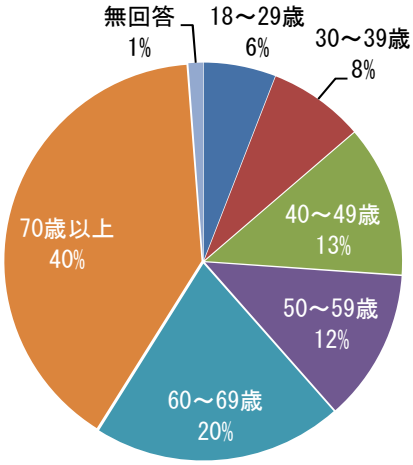
区　分		佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
	基本の割り振り	30	30	30	30	30	30	30	30	30	270
	世帯数比で配分	1,101	47	160	33	64	47	72	45	161	1,730
配布数（計）		1,131	77	190	63	94	77	102	75	191	2,000
世帯数（令和4年5月末）		21,131	905	3,062	624	1,233	893	1,387	870	3,083	33,188

4）調査項目：過去の調査との比較のため、設問内容は基本的に変えていないが、佐伯版ＳＤＧｓの推進によるさいきオーガニックシティの実現に関する設問を追加した。

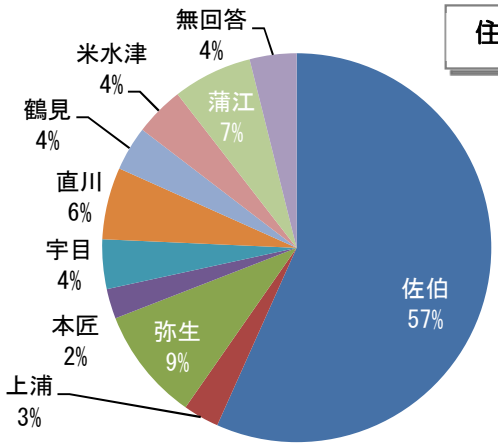
5）回 収 率：※令和４年　28.2%（564 件/2,000 件）前回比 7.2 ポイント（144 件）減
※平成 29 年　35.4%（708 件/2,000 件）前回比 2.1 ポイント（41 件）減
※平成 24 年　37.5%（749 件/2,000 件）前回比 2.9 ポイント（58 件）減
※平成 19 年　40.4%（807 件/2,000 件）

（2）回答者の属性

年　齢



住所（各地区）



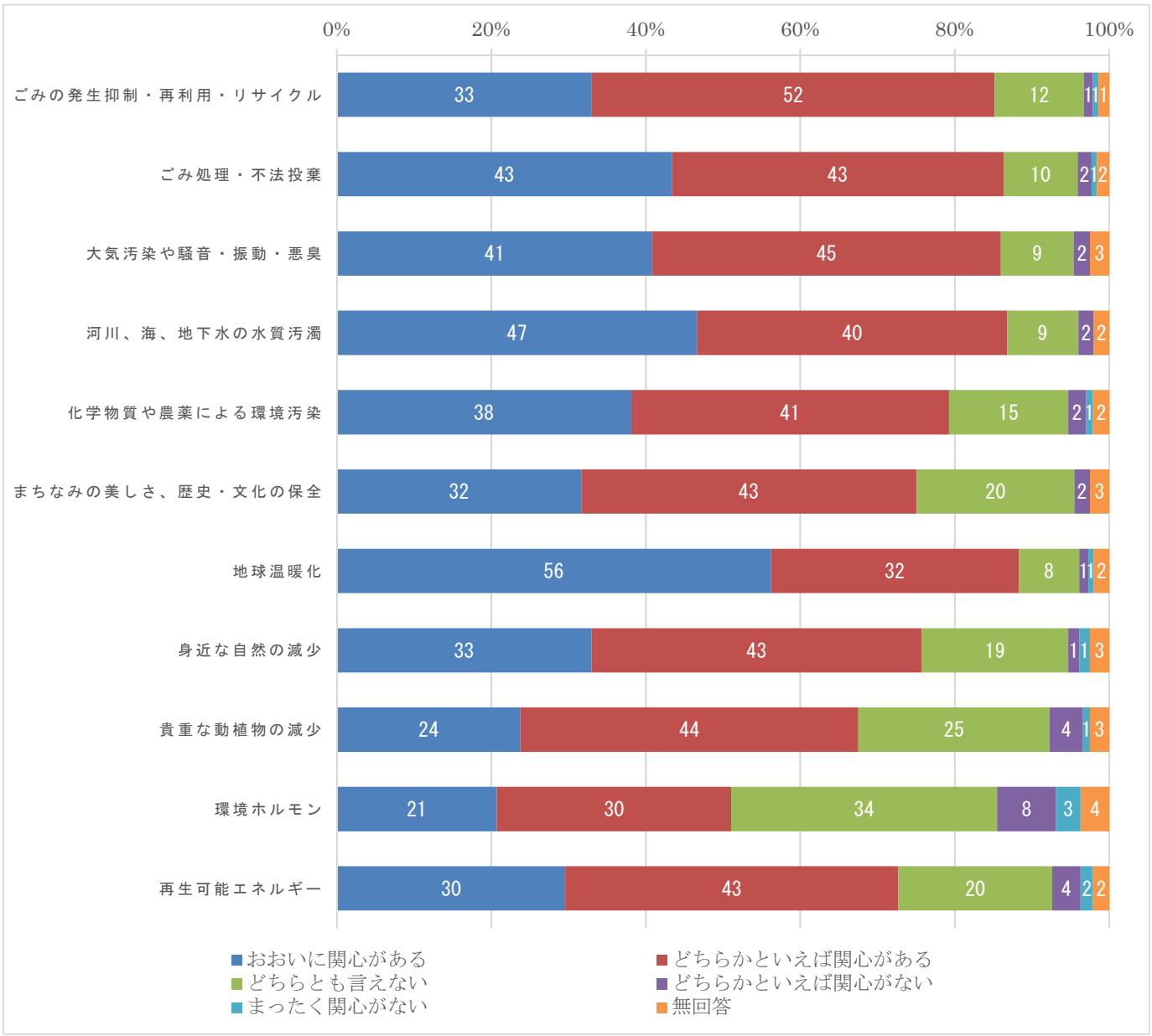
（３）調査結果

１）環境問題への関心

11 項目の環境問題について関心の度合いについて聞いたところ、11 項目全てについて「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が、「どちらかと言えば関心がない」又は「全く関心がない」と回答した人の割合を上回っている。

また、「おおいに関心がある」、「どちらかといえば関心がある」あわせて 80 パーセント以上は５項目となっている。（H29 年５項目・H24 年６項目・H19 年８項目）

■ 環境に関することがらについての関心度

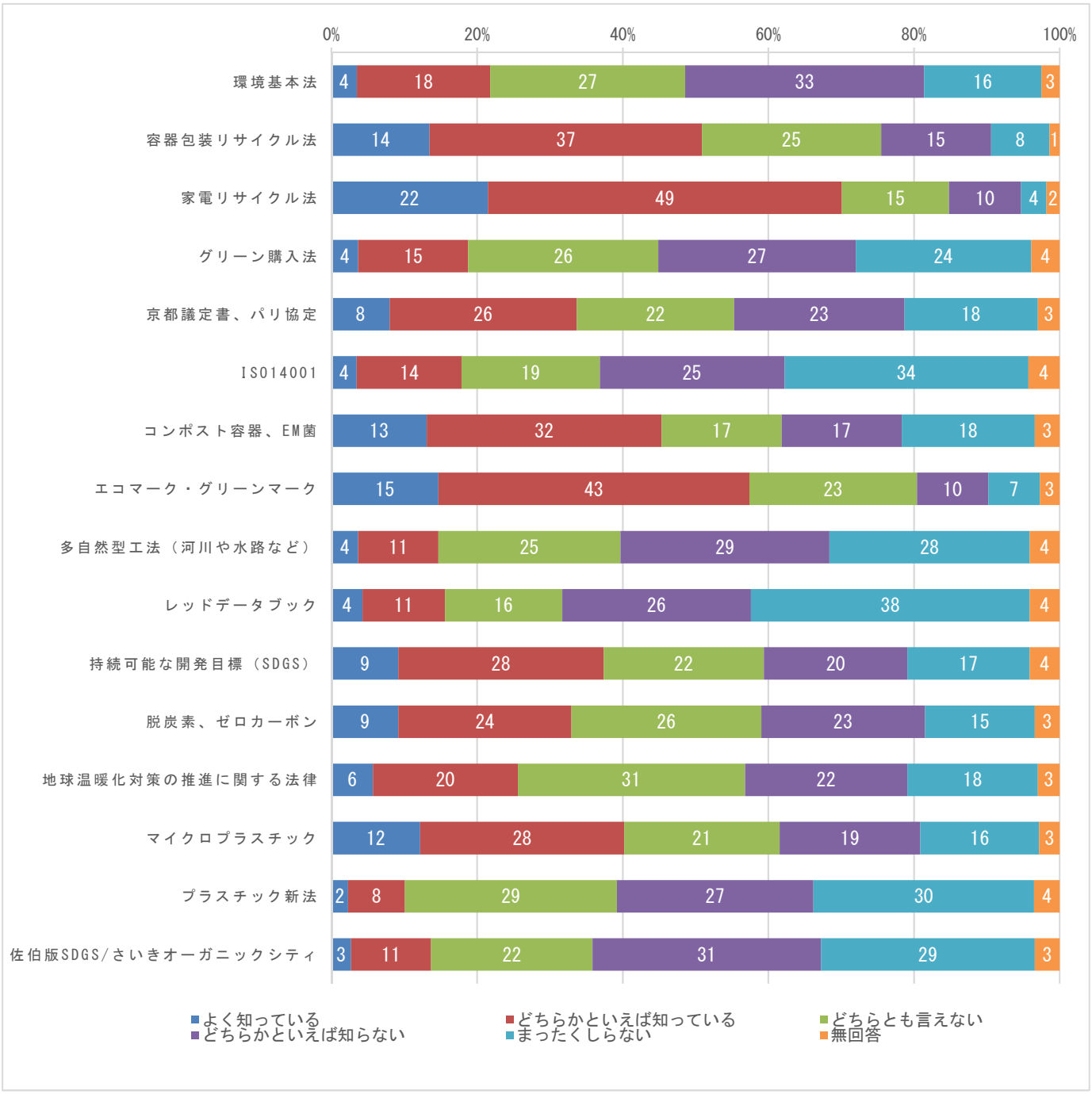


2）環境用語の認知度

16 項目の環境に関する用語について認知度を聞いたところ、6 項目について「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人の割合が、「どちらかといえば知らない」又は「まったく知らない」と回答した人の割合を上回っている。

また、「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人の割合が高い項目としては、「家電リサイクル法」、「エコマーク・グリーンマーク」、「容器包装リサイクル法」の順となっている。

■ 環境用語についての認知度

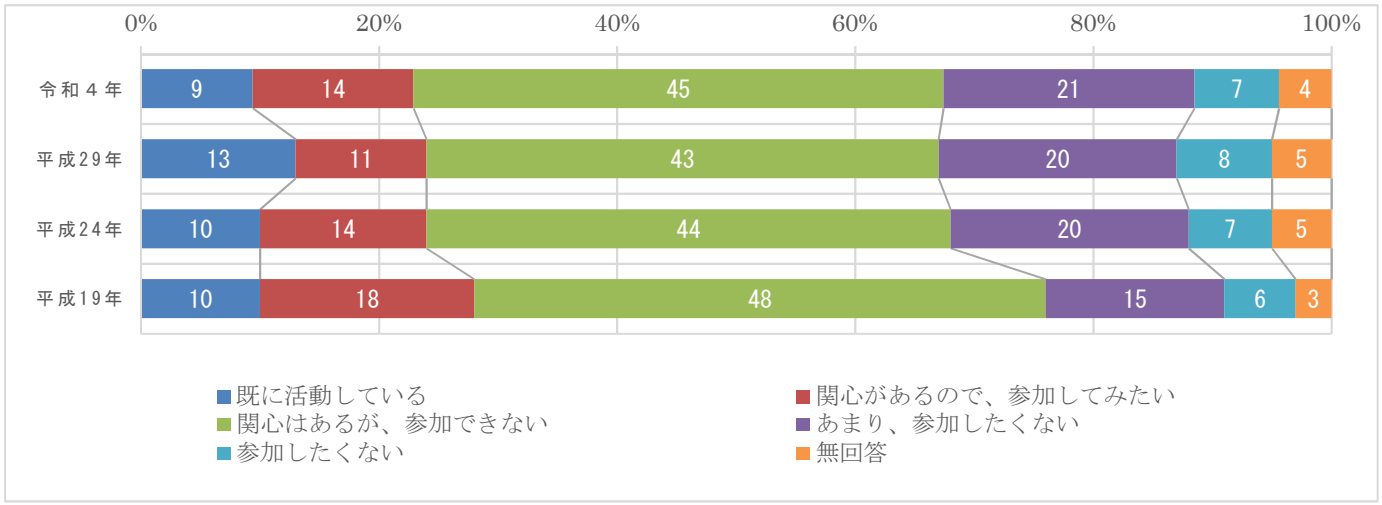


3）環境保全活動への参加

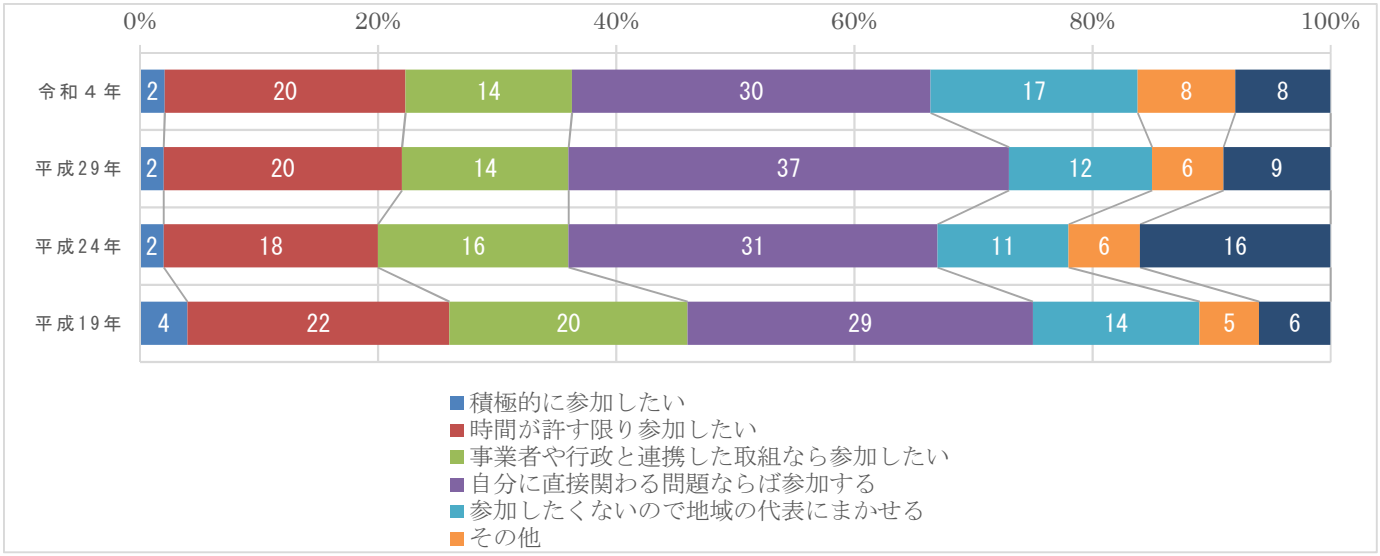
環境保全活動への参加意向について聞いたところ、「既に活動している（９パーセント：前回比４ポイント減)」、「関心があるので参加してみたい（14 パーセント：前回比３ポイント増)」となっている。「関心はあるが、参加できない（約 45 パーセント：前回比２ポイント増)」、「あまり参加したくない」又は「参加したくない」はあわせて 28 パーセント（前回と同率）となっている。

既に活動している人に対して、活動内容を聞いたところ、多いものは、「買い物袋の持参やグリーン購入（77 パーセント：前回と同率)」、「地域の清掃活動（68 パーセント：前回比 61 ポイント増)」「花壇作りや植樹などの緑化運動（26 パーセント：前回比４ポイント減)」の順となっている。また、既に参加している人に加え、今後参加してみたい人や関心がある人に対して、活動してみたい内容を聞いたところ、「買い物袋の持参やグリーン購入（54 パーセント：前回比５ポイント増)」、「地域の清掃活動（42 パーセント：前回と同率)」、「生ごみの堆肥化（コンポスト化）（30 パーセント：前回比１ポイント増)」の順となっている。

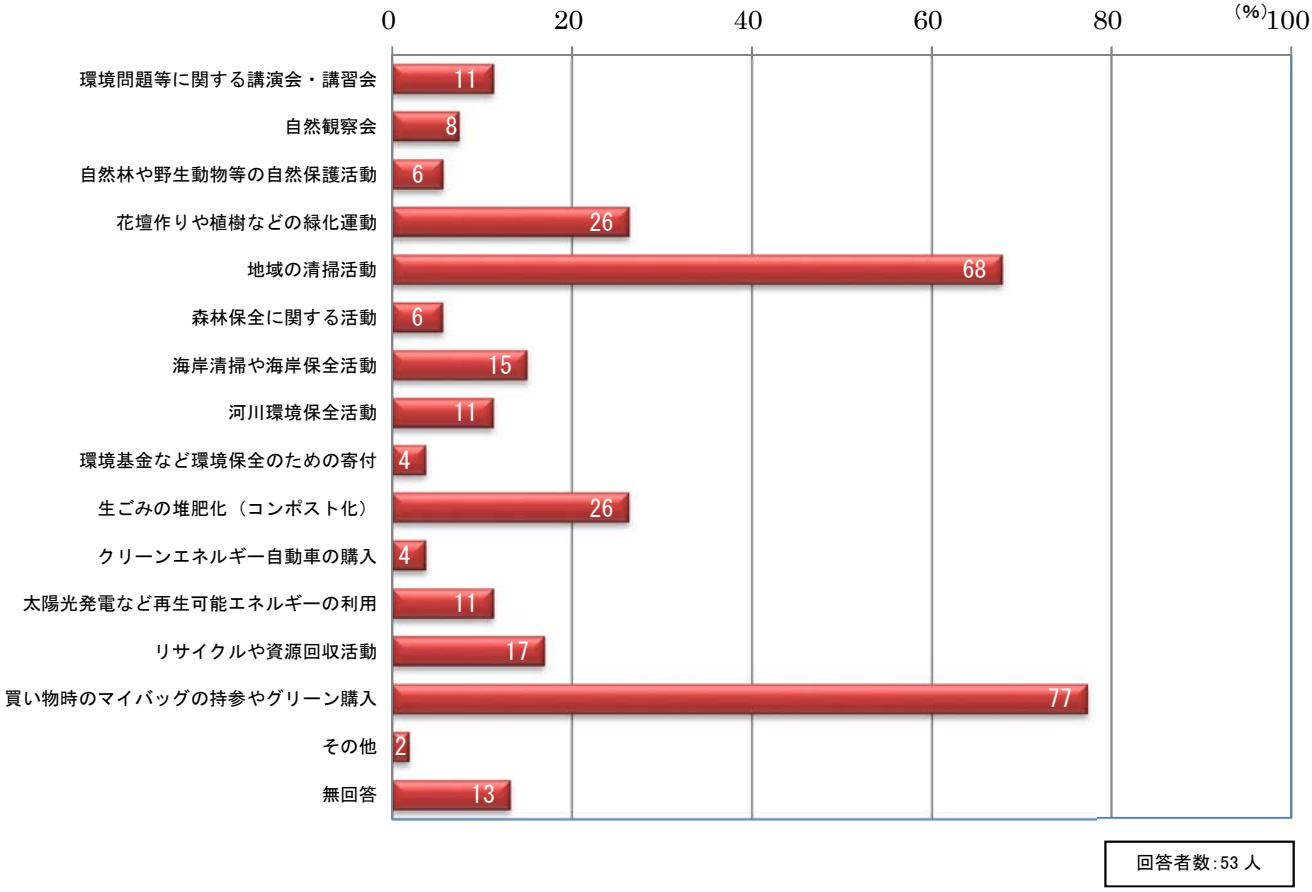
■ 環境保全活動への参加の意向



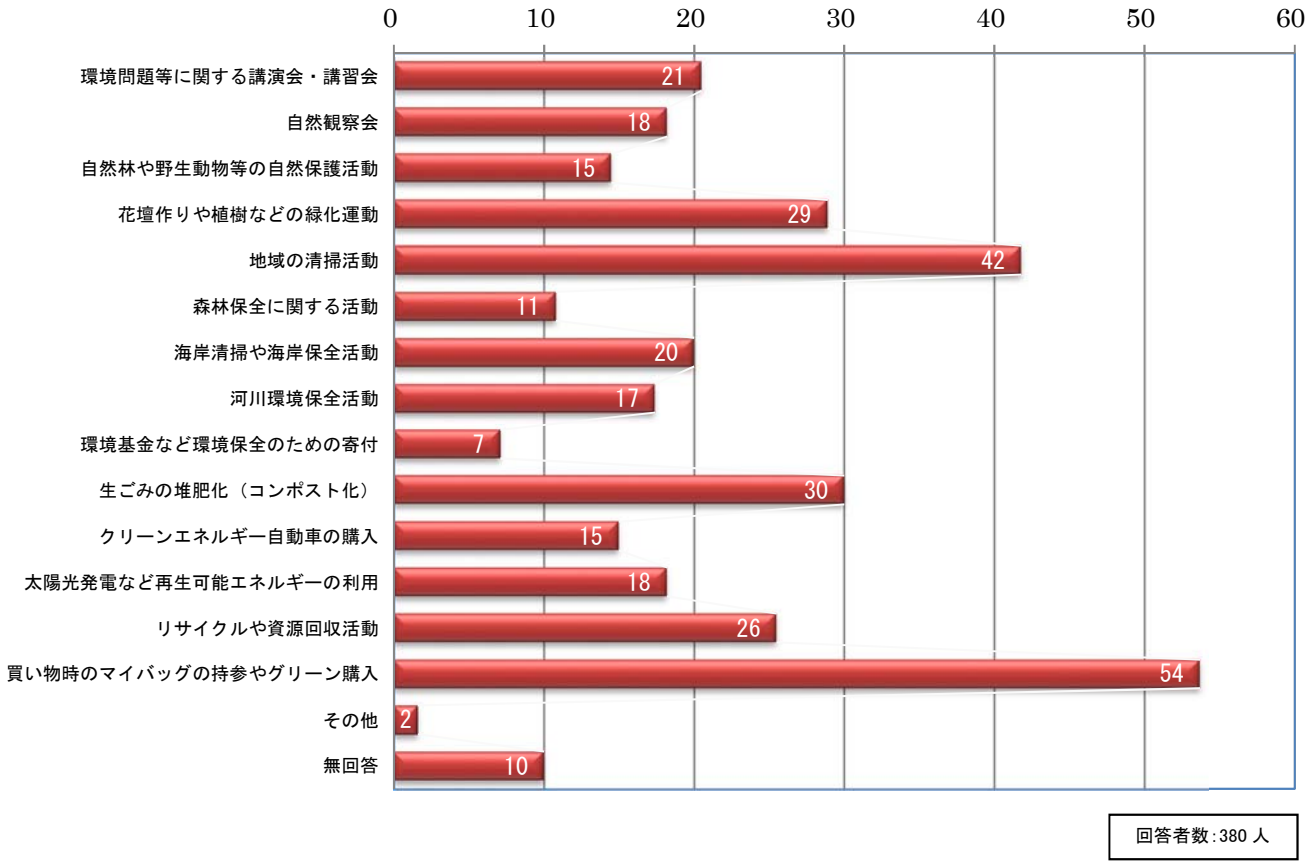
■ より良い環境のための市民活動への参加の意向



■ **現在の活動内容**（既に活動している人のみに質問）



■ **今後参加してみたい活動内容**（既に活動している人、今後参加してみたい人、関心がある人に質問）



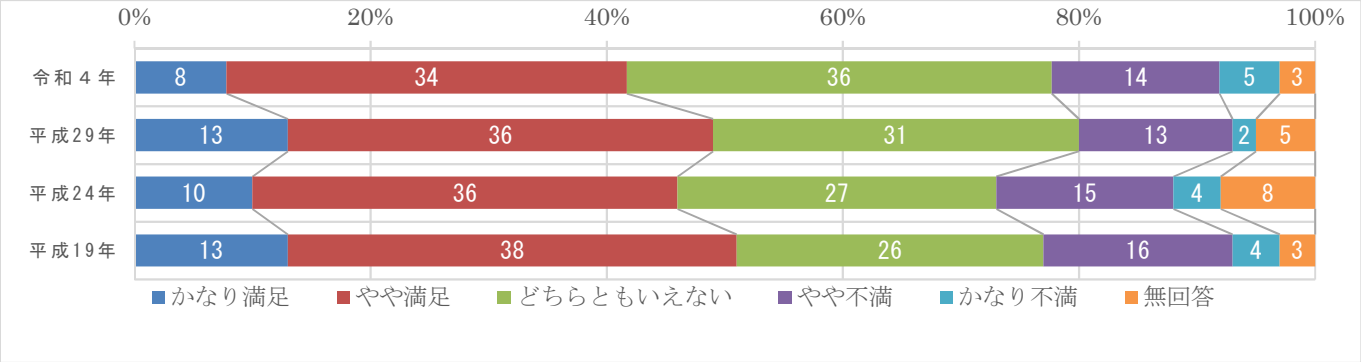
4）身近な環境の満足度

（%）

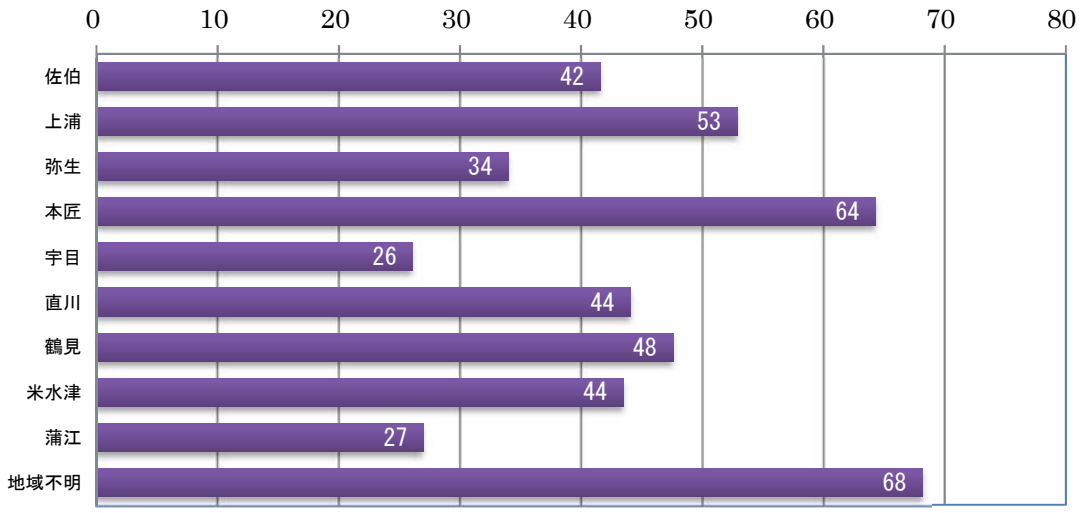
① 自然景観、農村景観の美しさ

自然景観、農村景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 42 パーセント（前回比 7 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 19 パーセント（前回比 4 ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「上浦」、「鶴見」の順となっている。

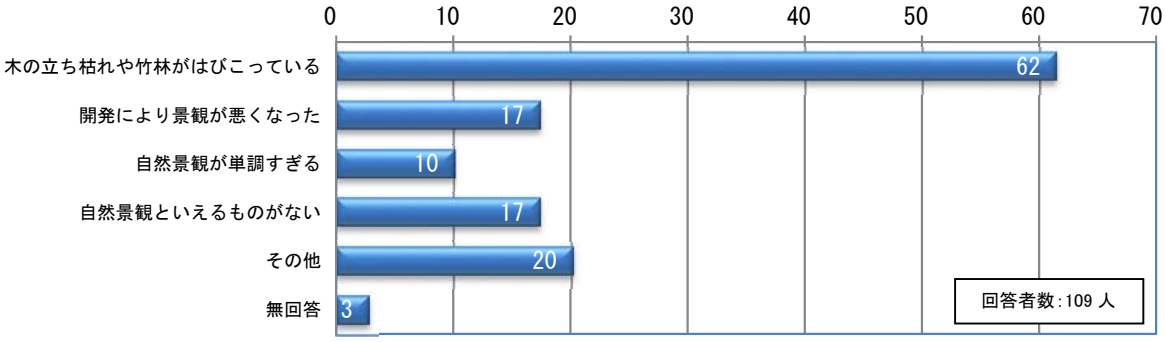
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



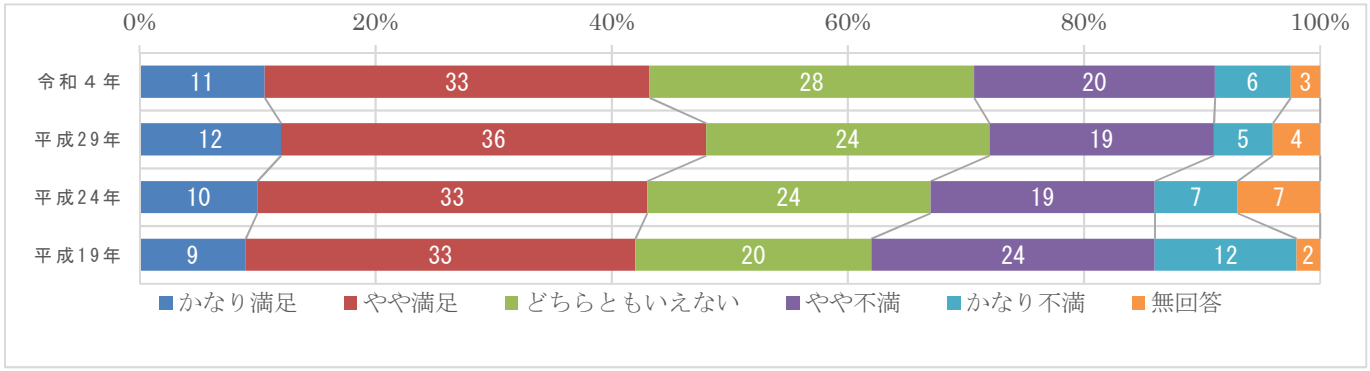
■不満の原因で【その他】と回答した理由

自然景観の整備ができていない
空き家が増えた
昔からの自然景観に不満はないが何かに取り組んで新しくできた自然景観をあまり感じない
あきやが多くなった
農地が荒れた所が多い
道の側溝に草や砂利
家庭ゴミの焼却
土手や公園に雑草が多い
個人のゴミを海への投棄、海への流れ着いたゴミ。漁港、海岸がゴミだらけです。
空き地の雑草がのびて道まで来ている所がある
漁業者のビニール付きの袋をもやしてくさい！
何を市がしているのか・・・？！
山の手入れが出来てない
田畑の放棄地が多い（きたない）
自然景観を楽しめる場所がわからない（を知らない）
高齢化で手入れが間に合わない・・・。公共の地域など清掃を保つもの大変になっている（落ち葉や木の枝など。草も・・・）
猪、鹿、たぬき　獣害が多い
草やぶ等多くなった
高齢化による農村の（農道）整備
放置された田んぼが増えた

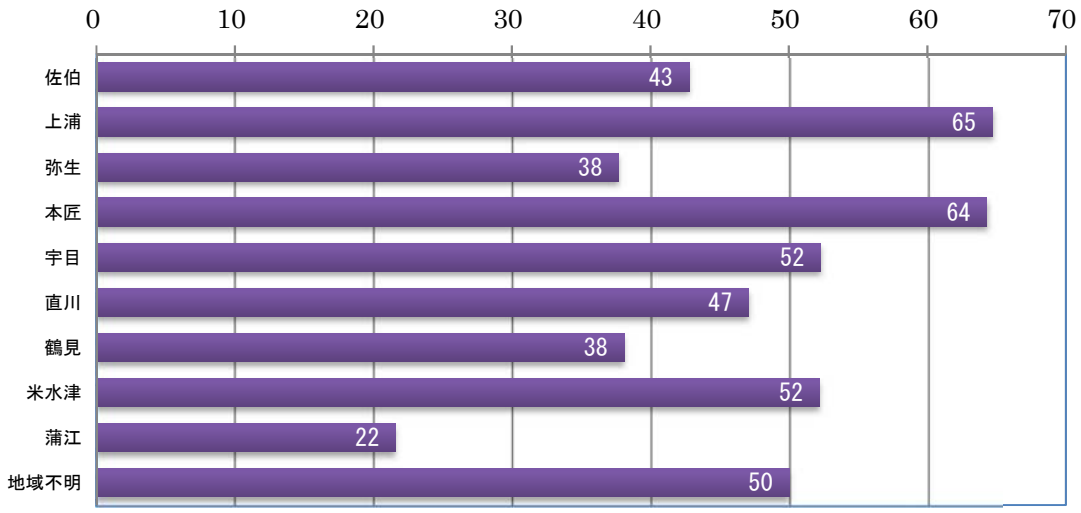
② 川や池、海の水のきれいさ

川や池、海の水のきれいさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 44 パーセント（前回比４ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 26 パーセント（前回比２ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」が最も高く、次いで「本匠」、「宇目」と「米水津」が同率で続いている。

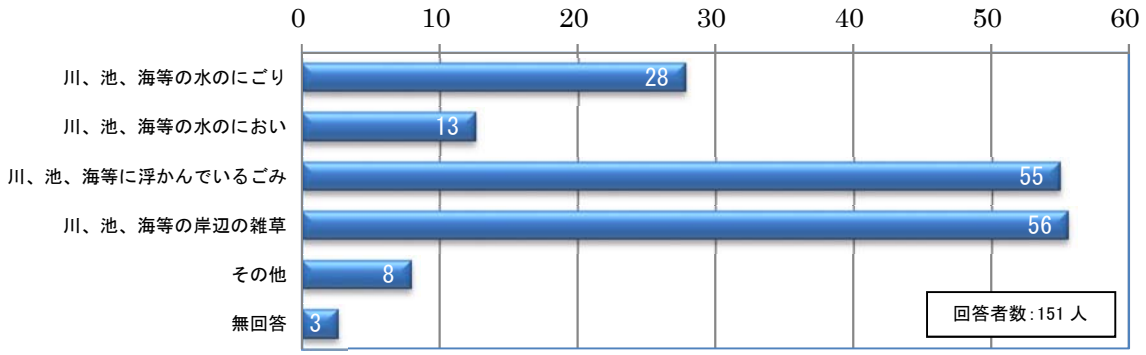
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



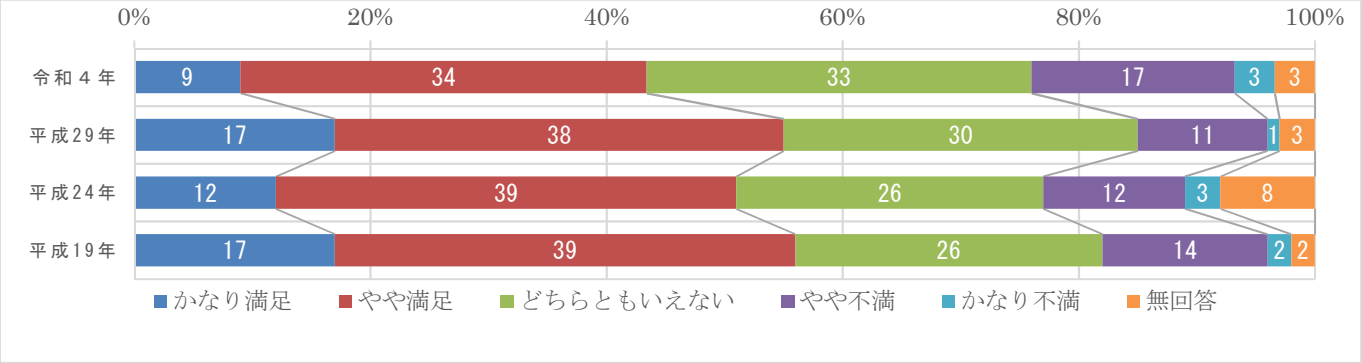
■不満の原因で【その他】と回答した理由

川底に砂がたまり水害が心配
田舎だが、ゴミが多い
県内外からの産業廃棄物の埋めたて
昔は川にたくさんカニがいたが、今は殆どいない
河口のヘドロの蓄積、年々河口場所の水深が浅くなってるのはご存じでしょうか？こちらが何か言えばそれは県の管轄だからと言う役所がこうゆうアンケートを調査してる意図がわからない。
最終処分場から出る水
空地の雑草に困っている
川の中の雑草
家の横のドブ、いくら市に言っても整備してくれない。ドブあげもしてくれない!!
水が無い

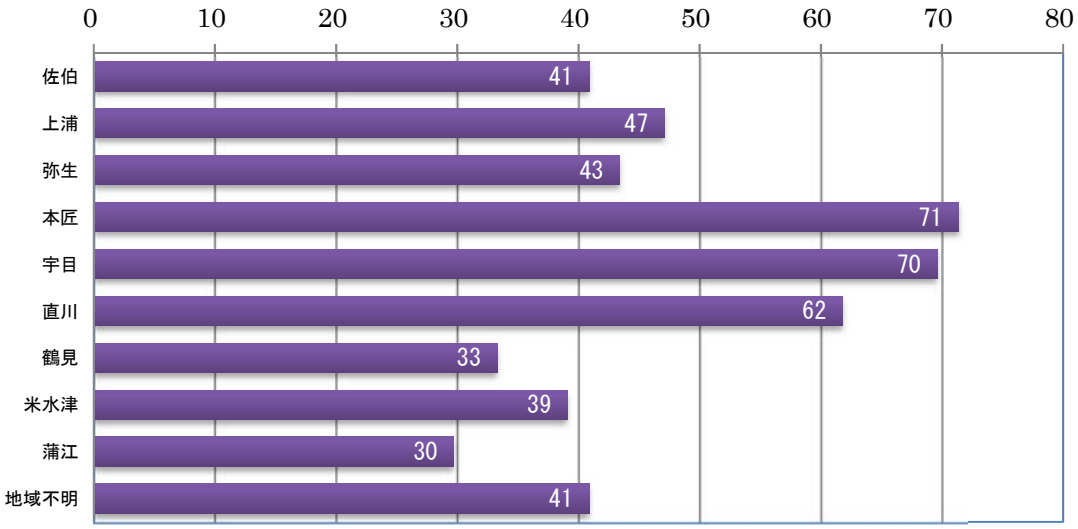
③ 緑（樹木、草花）とのふれあい

緑とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 43 パーセント（前回比 12 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 20 パーセント（前回比８ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「宇目」、「直川」の順となっている。

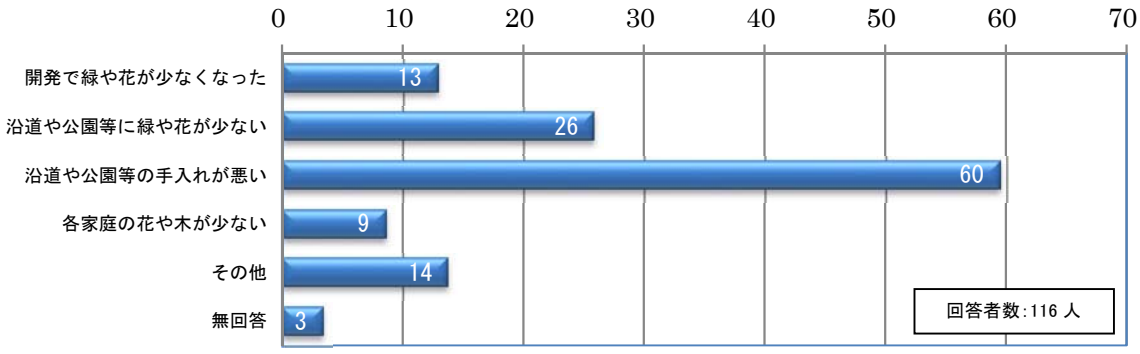
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



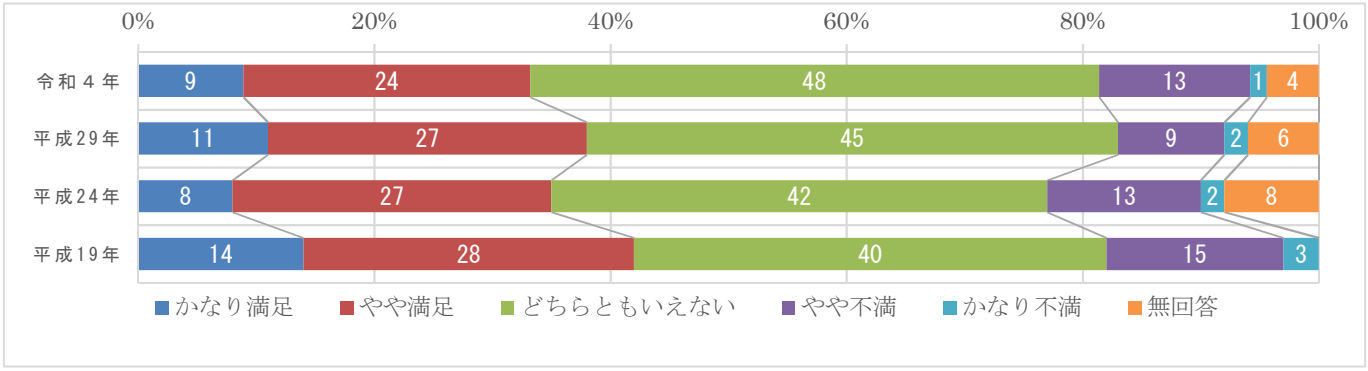
■不満の原因で【その他】と回答した理由

公園が少ない
緑は豊かだが花は多くないように感じる
良くわからない
そもそも公園が少ない
沿道が草いっぱい
市内の山、樹木がのびすぎ
道路の草刈りみぞのそうじが行き届かず（山道）
高速の川面の樹木の葉がヘイに留り、冬場は火事になったりしないかいつも心配、見た目も悪い
河川敷の整備
家の前、沿道に銀杏が植えている。木は剪定されるが秋は落葉、実が落ちてとても迷惑する臭くてかぶれる。※沿道は松、緑陽樹に変えてほしい
きちんとした公園がない
整備されていない
樹木や草花と触れ合う場所、機会がない（を知らない）
山道が、木がたおれ通りずらい
街路樹を剪定しすぎるのが不満です。紅葉する前に切ってしまう
河川改修により石土でうまってしまい雑草の温床になっている
排気ガス
沿道に植えている樹木の剪定時期が悪いのか花時に花が咲かないことが多い。
沿道、公園等の手入れの回数が減った

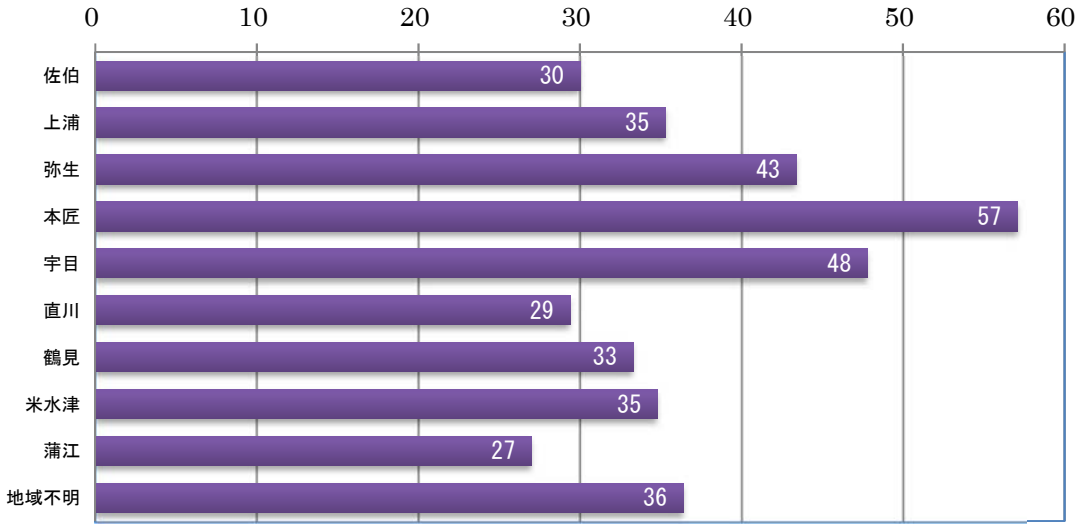
④ 野鳥や昆虫とのふれあい

野鳥や昆虫とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 33 パーセント（前回比５ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 14 パーセント（前回比３ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「宇目」、「弥生」の順となっている。

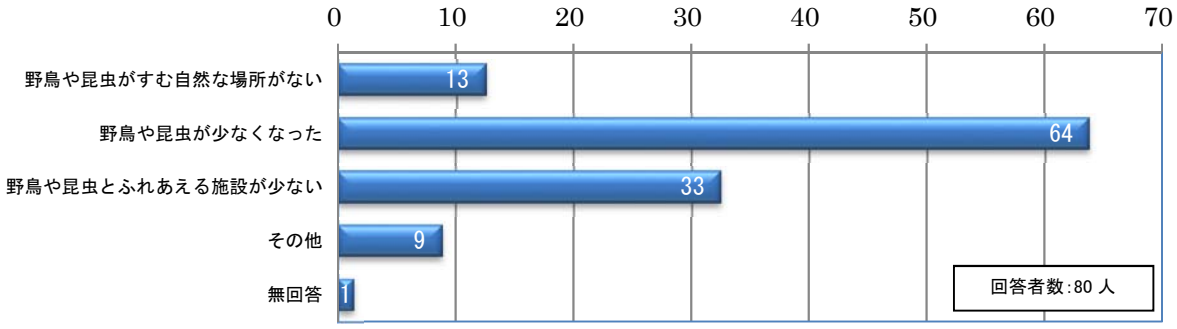
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



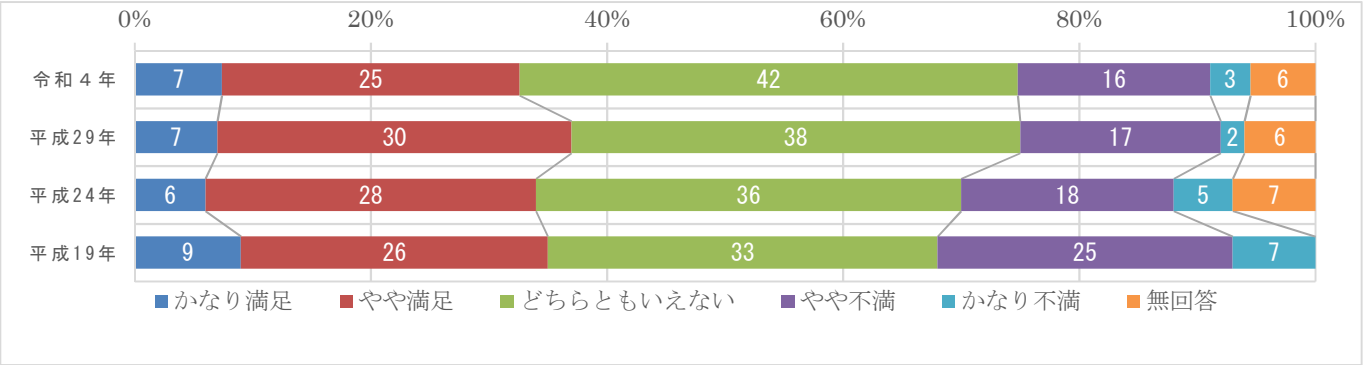
■不満の原因で【その他】と回答した理由

トンビとカラスが多い。燕がかえってこれる街づくりがしたい。
ゴミ処理場
毎日セミや鳥の声でとてもいやされています
カラス、ヒヨドリが多い
ハチが多い
田舎だが、山林にもゴミが多い
城山は自然の姿を守ってほしい
ダムの点灯などの協力を市は金がかかると全く取り合ってくれない
すずめは家の庭にきている畑の上を、とんびや、カラスが旋回している。
子どもが昆虫が苦手なので、ふれあう機会は少ない。

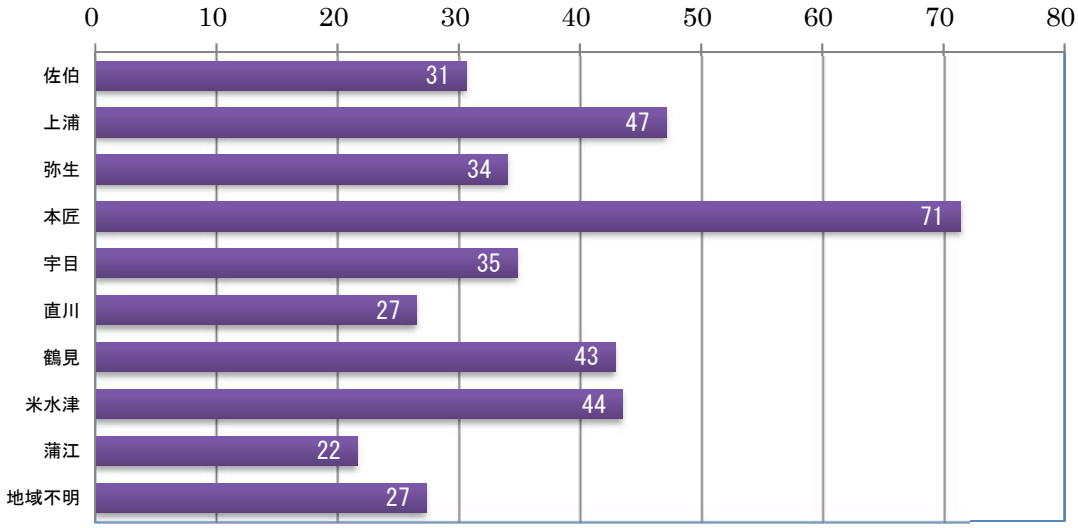
⑤ 水や水辺とのふれあい

水や水辺とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 32 パーセント（前回比５ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 19 パーセント（前回と同率）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「上浦」、「米水津」の順となっている。

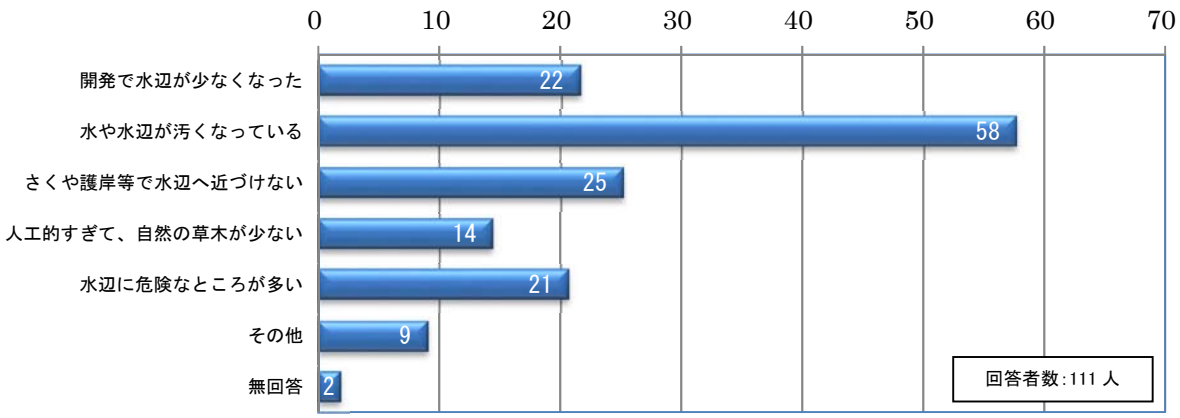
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



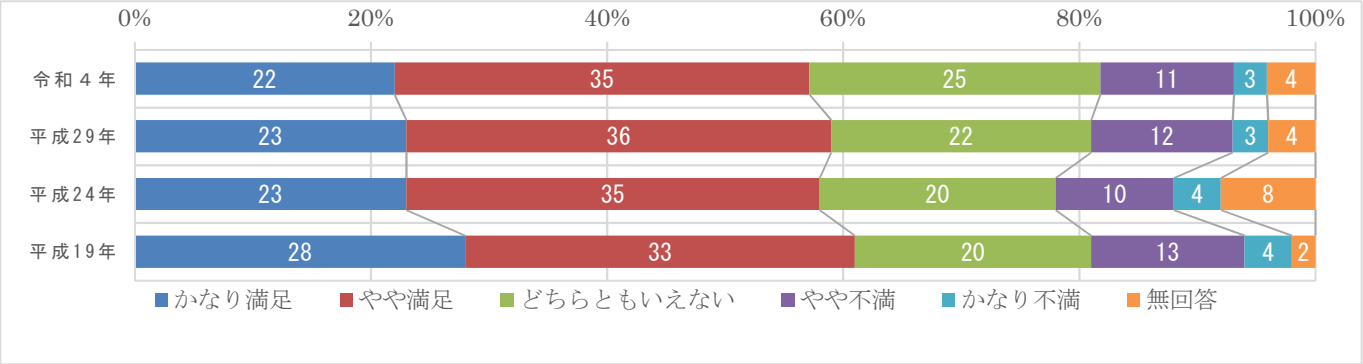
■不満の原因で【その他】と回答した理由

水辺への遊びがない
雑草で覆われている
田舎だが、河川にもゴミが多い
今の状況をよく知らない
大雨で水辺が土砂でうもれても何もしない。
アウトドアブームでキャンプ等を行っているが、トイレ設備が無く、その辺でしている。ごみの散乱。
川の中の雑草
年を取って来ると水や水辺とのふれあいが遠のいて満足感も不満も感じない
川幅を広げたことで増水時の不安は減少したが、雑草が生え水は干上がってしまった
海岸の白い花をつけるとがった花木。こわい。取ってネ
水量がない
川に中洲が出来、水の流れが悪くなっている。中洲の除去等の工事が必要と思います。

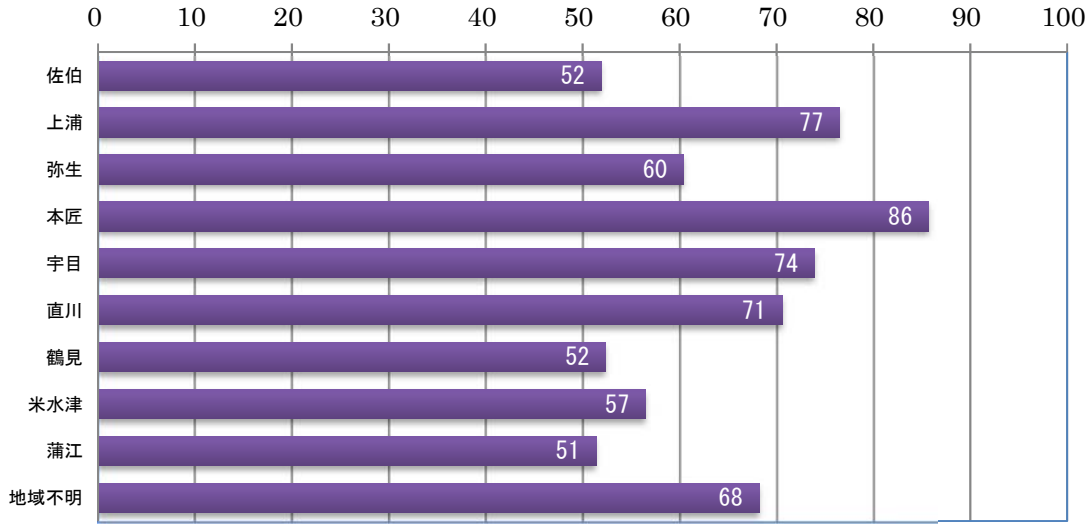
⑥ 空気のきれいさ・におい

空気のきれいさ・においについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 57 パーセント（前回比２ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 14 パーセント（前回比１ポイント減）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「上浦」、「宇目」の順となっている。

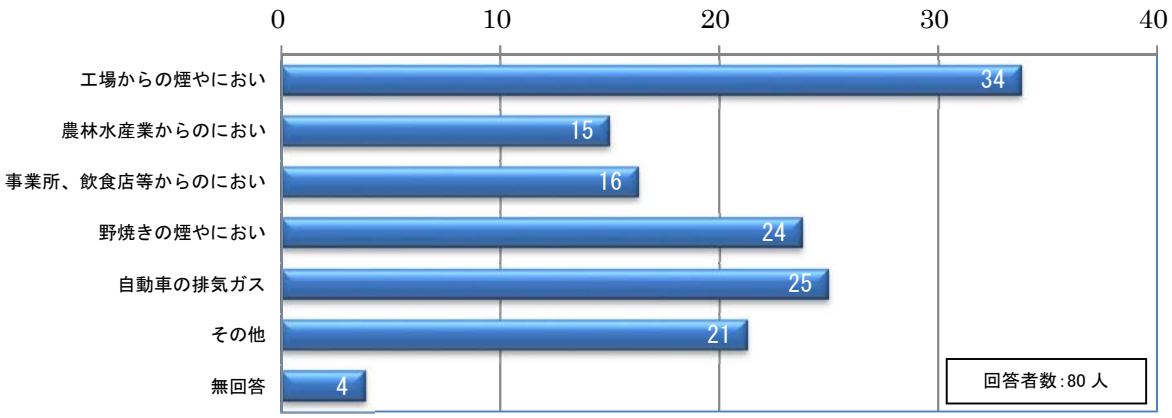
■ **満足度**



■**住まい（地区）別の満足度**（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ **不満の原因**（やや不満、かなり不満と回答した人）



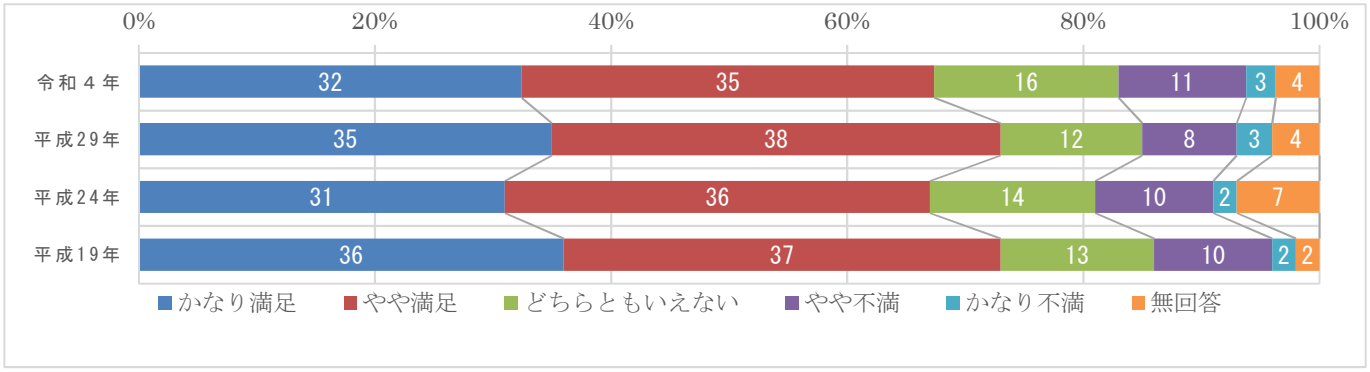
■不満の原因で【その他】と回答した理由

家の近くではきれい
中国の PM2.5
ペンキ？揮発性の匂いが風向きでする。
国道があるためある程度はしょうがない
Pm2.5 の多い日が多い（大分県の発表している数値と NHK のｄを見て、20 以上の時は、基本的に窓を開けないようにしている。数値が 10 以下の時は空が本当に美しい！！！）
漁業者のビニール付きの袋をもやしてくさい！
中国からの Pm 汚
わなにかかった動物をすててある
何か原因は定かではないが、ごみか何か焼却しているのか？１日中臭いが？気分が悪い、対策を考えてみては、近所だからか？
近所でゴミを焼く家がある。
となりのボイラーのにおい（灯油）
水産関係、網をクレーンでつって洗っているがとても臭い。窓をあけられない時もある
ボイラーの灯油のにおい
ゴミを焼くにおい、うしのにおい

⑦ 周辺の静けさ

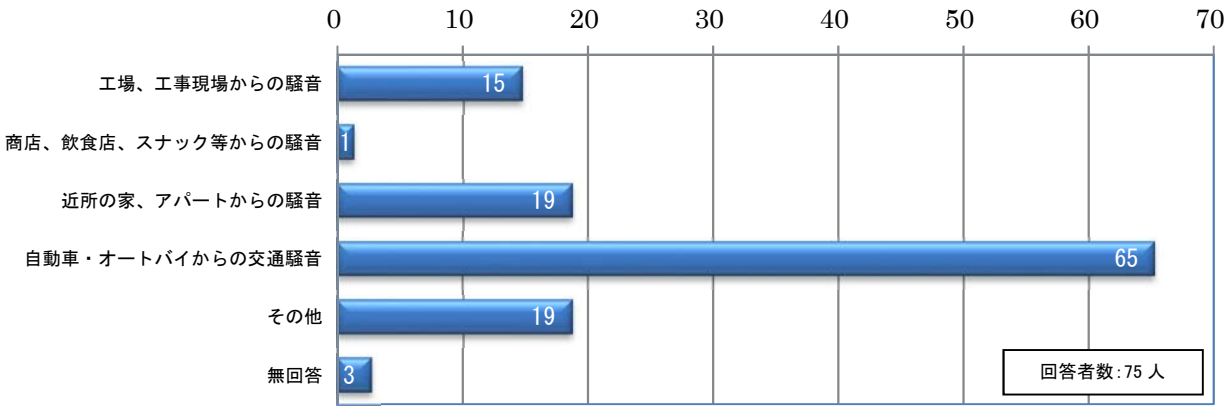
周辺の静けさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 67 パーセント（前回比 6 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 14 パーセント（前回比 3 ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「宇目」が最も高く、次いで「本匠」、「米水津」の順となっている。

■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



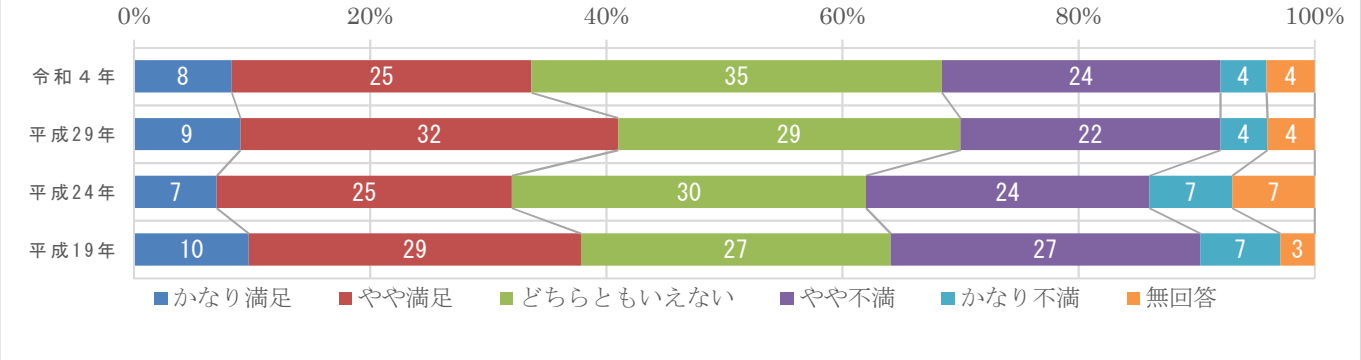
■不満の原因で【その他】と回答した理由

自転車に乗った中高生のスピーカー音
カエルの声をうるさく感じる
時折走るバイクの下品な音（全てのバイクではない）
JR のふみきりの音
人のつながりがとても良く楽しんでいます
犬がうるさい
特に土・日のオートバイの騒音
犬の鳴き声
電車、カラス増えた
早朝より舟のエンジンの音とてもうるさい！！
国道近い
今住んでいる家が国道脇なので、大型車を含め一日中車が通っているのでこれは仕方ない事だとあきらめています。
となりのボイラーの音
施設からの騒音

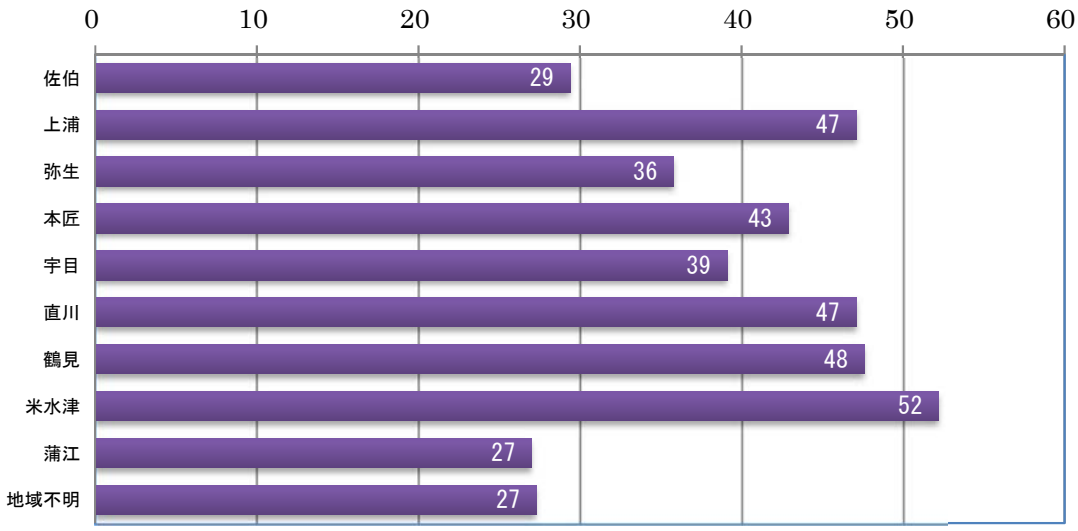
⑧ まちなみ景観の美しさ

まちなみ景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 33 パーセント（前回比８ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 28 パーセント（前回比２ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「米水津」が最も高く、次いで「鶴見」、「上浦」と「直川」が同率で続いている。

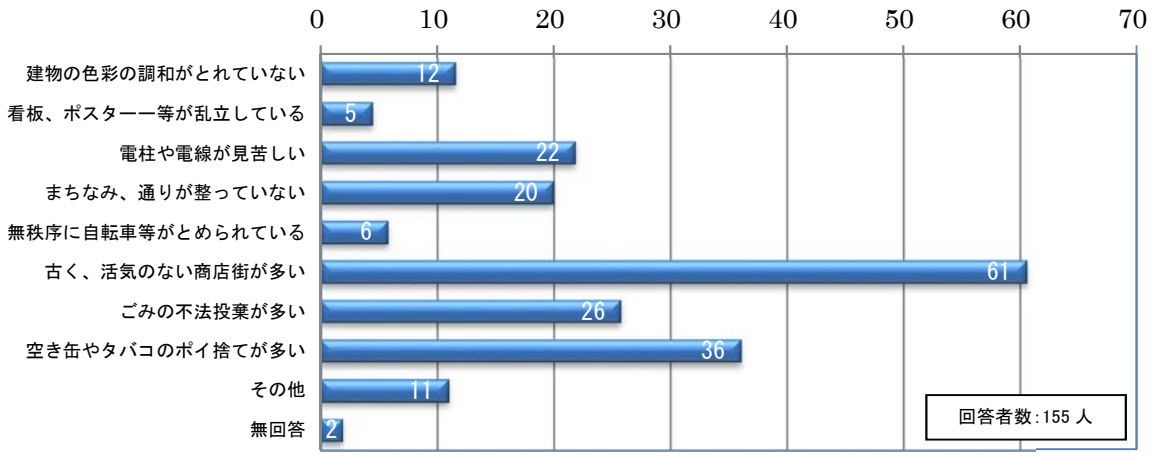
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



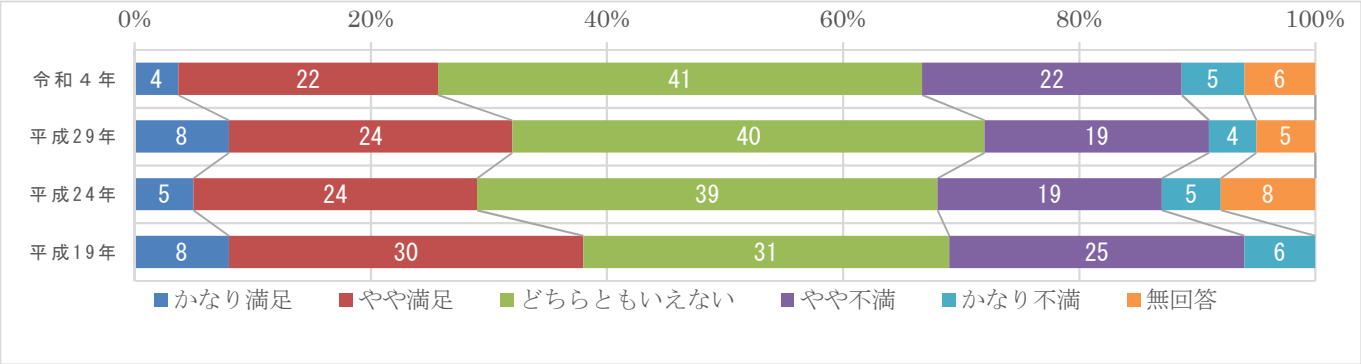
■不満の原因で【その他】と回答した理由

空き家が多い。橋も古く危険
空き店舗、空き家が多い
空き家が多くなった
雑草が多い
大型商業施設が少ない
まちなみに意識が、意図が感じられない。
まちなみといえるものがない
中心部道路の雑草多し
雑草が多い道路側
空き家が多く雑草がまとわり付いている
ペットボトル、弁当の空き容器が多かったので歩道、家の入り口に自分で花を植えた。
マナーが悪い。国道なのに弁当の空箱やビニール袋、缶等、多分車からだと思いますが、ポイすてしてる。
野良猫にエサをやる人が居て迷惑。野良猫が増えている。
道路のデコボコが多い。
道路端の雑草が多い
放地されている田畑に草が生い茂っている
統一感、活気がない
買い物も１つの店舗に集中１勝ちで競争の意欲が見られない。
自然が少なくなってきている
道路が少ない、電灯が少ない、暗い

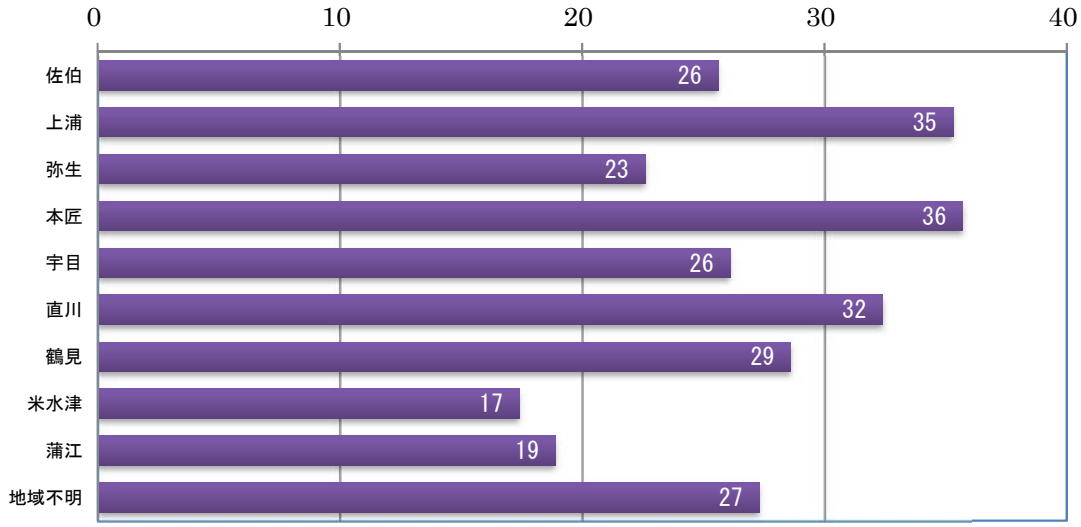
⑨ 公園や野外レクリエーション地の充実

公園や野外レクリエーション地の充実について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 26 パーセント（前回比 6 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 27 パーセント（前回比 4 ポイント増）を下回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「上浦」、「直川」の順となっている。

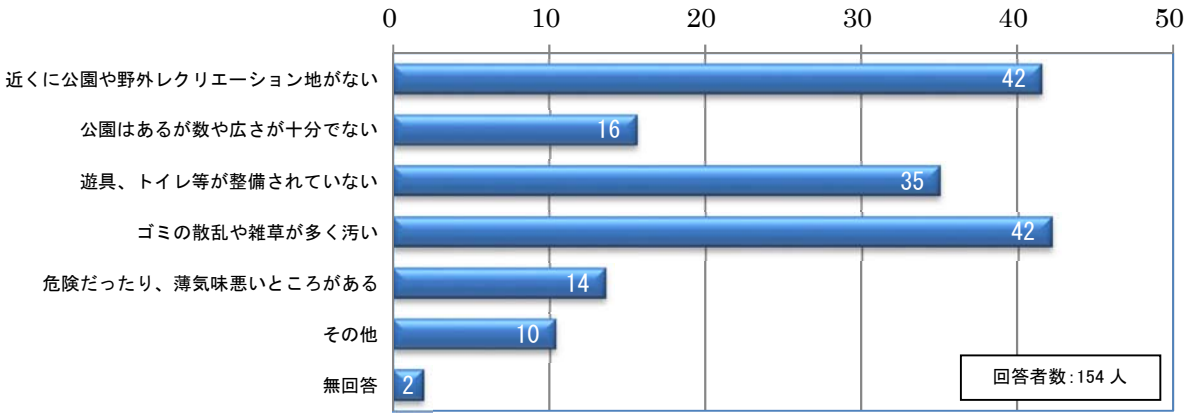
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



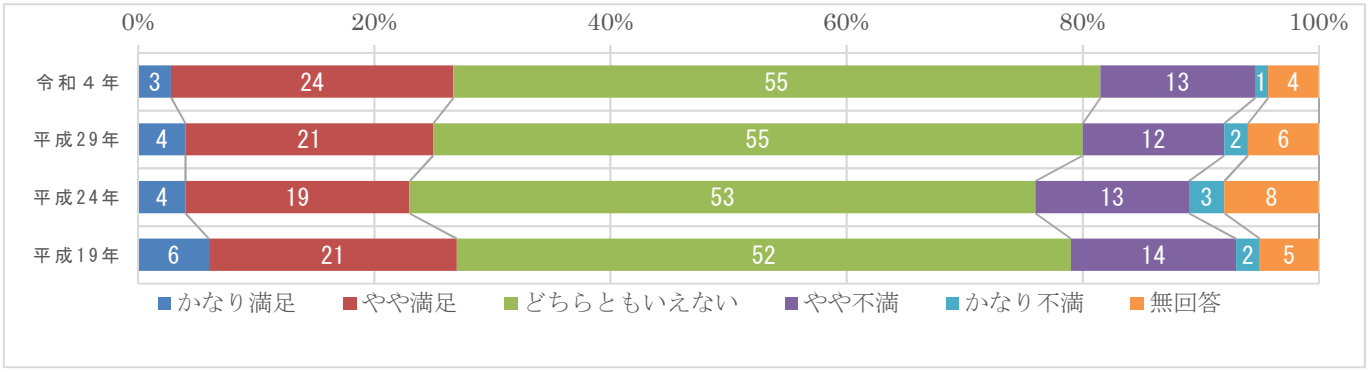
■不満の原因で【その他】と回答した理由

公園を利用する子どもの数が減ったのに使用の制限が増えた
どこにあるのか分からない。使用しない。
外出が少ない
公園はとなりにあるが草がすぐにしげり大変だと思う
立地と便（利用）の関係に配慮がない？
公園がない
公園では、人の姿をほとんど見かけない
散歩、ウォーキングができる樹木の通りがあったらうれしい（番匠川の河川敷や堤防の上は木かげがないので）
施設の整備の土をいただきたい。河川敷グラウンド、自分達で整備をするので是非おねがいしたい、答えを待ってます。高齢者スポーツ、体力作りのためです。
草は伸び放題、遊具は古い、新しくなった場所はあっても駐車場のない公園。意味がない
大きい公園が少ない
土地の持ち主が、不動産の人に任せているのか。草はすごいです。せいたかあわだち草で向こうは見えない。
津久見市のような遊具の多い公園がいい。
危険空き屋
野良猫の放置。食糧をあさる。
水害後近くの公園がなくなったから
海水浴場のシャワールームが汚い。
公園の出来るのがおそい！
公園の砂場が汚い
バスケットゴール等の設備がある公園がほとんどない。
おむつ替えシートが少ない
近隣の年寄りのくだらん苦情で子どもの遊べる場所が減った

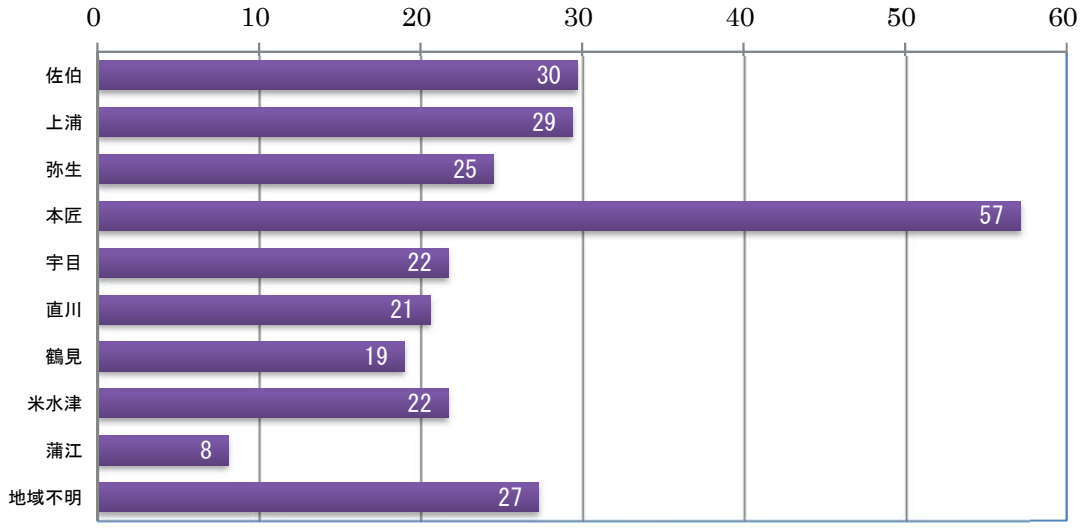
⑩ 文化財、遺跡等の保存・整備状況

文化財、遺跡等の保存・整備状況について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 27 パーセント（前回比２ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 14 パーセント（前回と同率）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「佐伯」、「上浦」の順となっている。

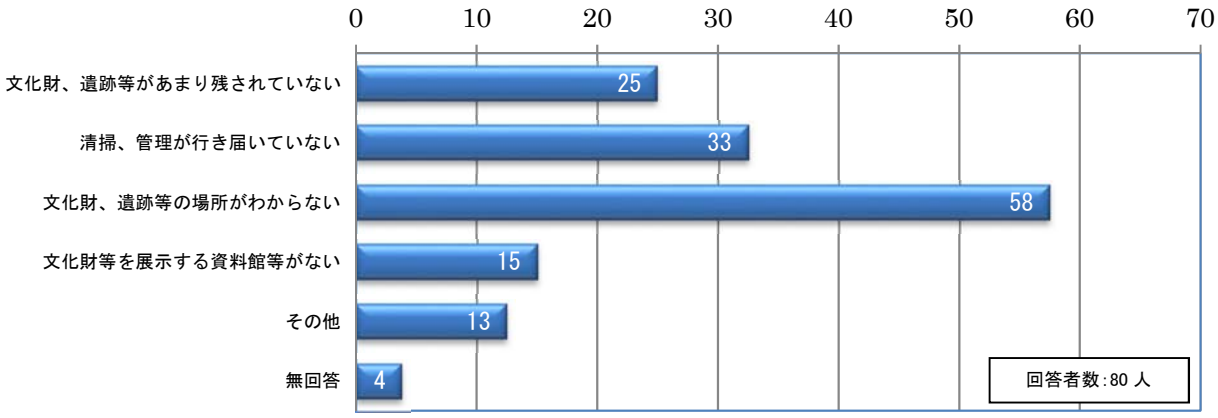
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



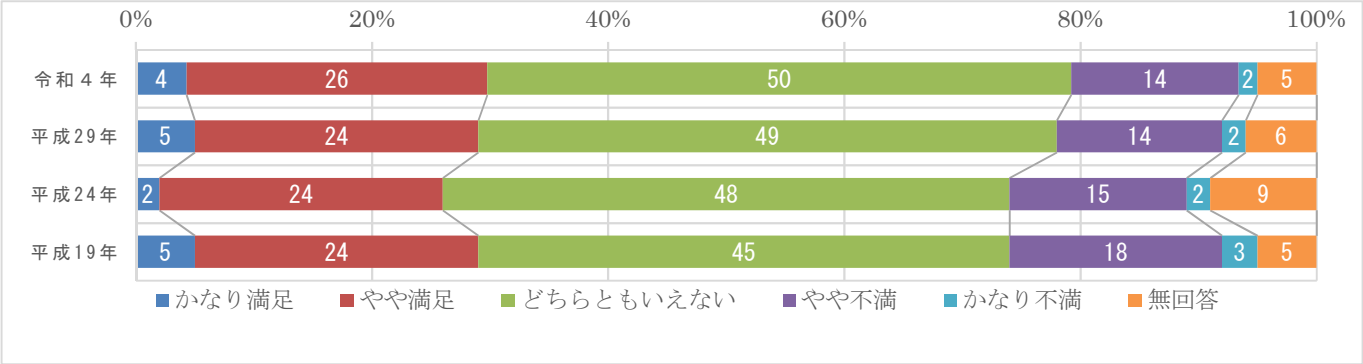
■不満の原因で【その他】と回答した理由

かぐらはとても良いので長く残してもらいたい
文化財なし
建物ばかり多い
佐伯城趾の関係
城山石垣が木でかくれ市内から十分に見れない。
市が文化財など関わってなく地域の人の力で残している
文化財の魅力がわかりにくい
見学者の少ない文化館は不要。これと言った目玉がない。
雑草
何が文化財、遺跡かわからない
大手前の歴史資料館がある
文化財、遺跡等の PR 不足を感じる。
細やかな所在の把握、保護が十分とはいえない
文化財、遺跡等に活気がない

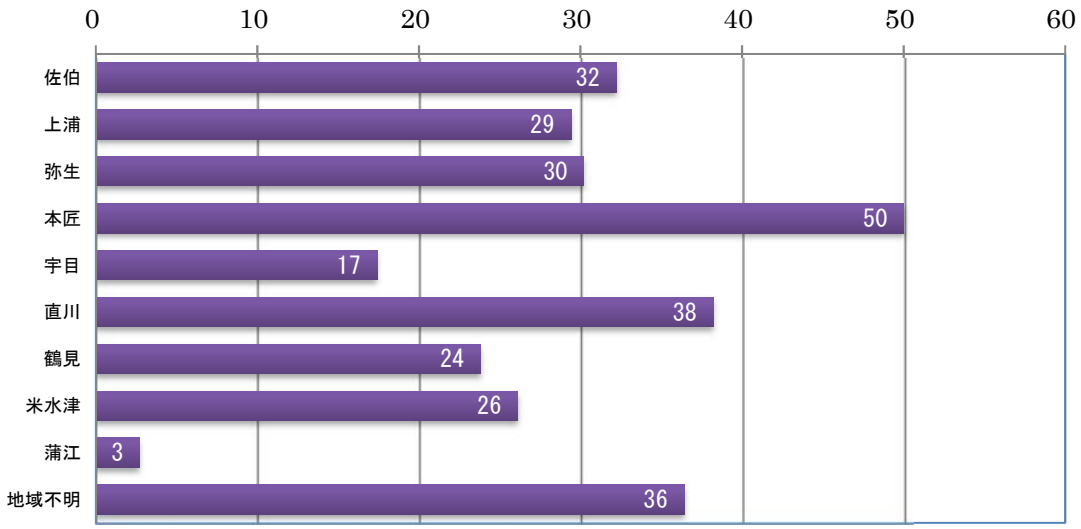
⑪ 歴史や伝統に関するまちの雰囲気

歴史や伝統に関するまちの雰囲気について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 30 パーセント（前回比 1 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 16 パーセント（前回と同率）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」が最も高く、次いで「直川」、「佐伯」の順となっている。

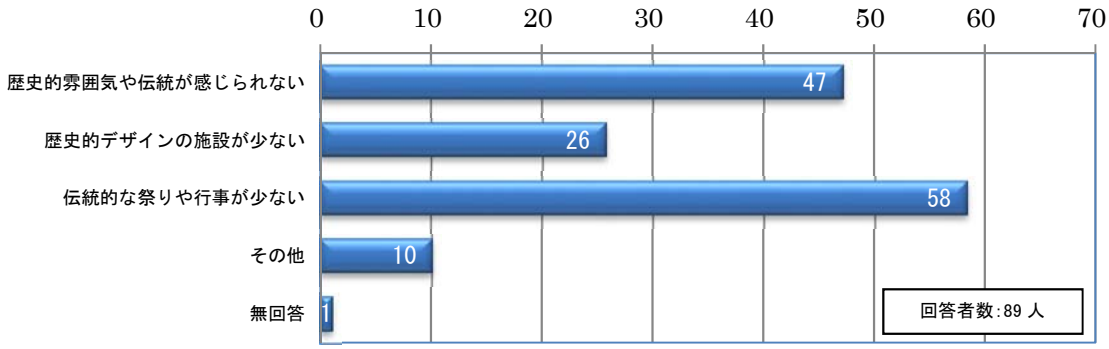
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



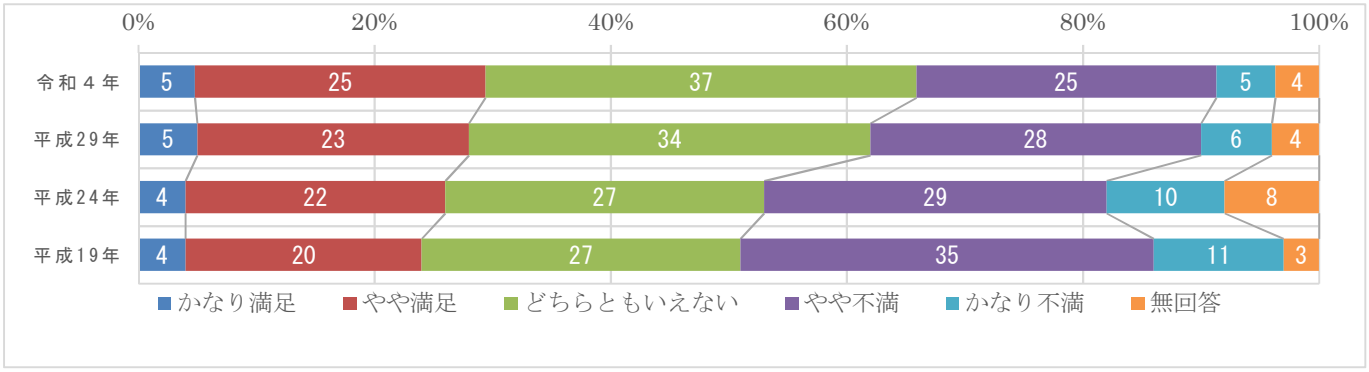
■不満の原因で【その他】と回答した理由

９月の祭りは残してもらいたい
特に興味がない
歴史的な建物等のアピールが少ない
手入れをされて古さの良さが減った
歴史的価値の広告が少なく、市外への発信がない
旧佐伯文化会館の上地をタダにして下さい
城山そのものをもっとメインに整備してほしい
城山や長島山、濃霞山の戦跡整備を
継承する人がいない。予算がない。
ジョーヤラ、菊姫様　特に良し
人口減少や昨今のコロナ禍対応のために地域に根づいていた祭り等が中止になってしまっている。
伝統の継続に関するやる気が薄い
城山の有効活用度が低い
少ない

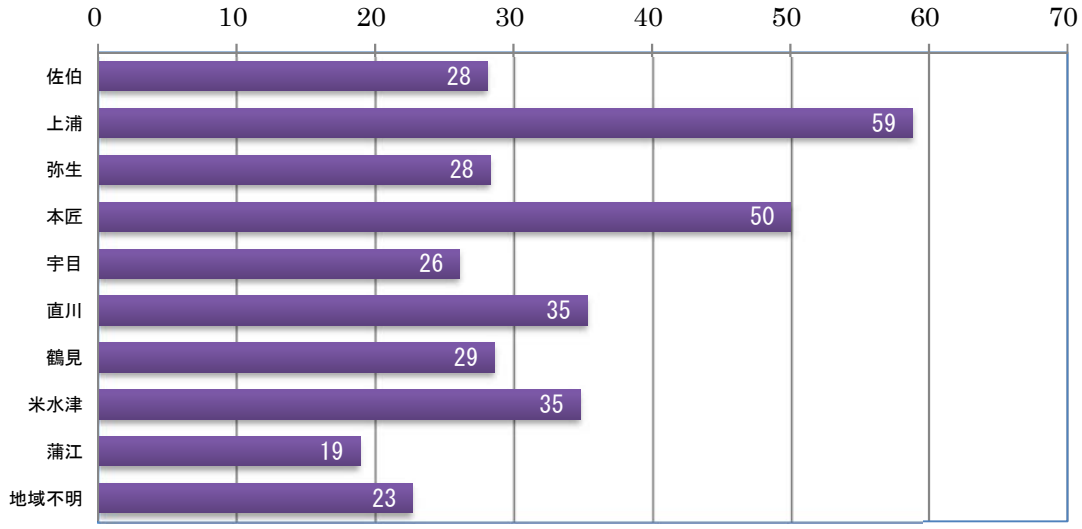
⑫ 市民の環境に関するモラル（道徳）

市民の環境に関するモラル（道徳）について聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 30 パーセント（前回比２ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 30 パーセント（前回比４ポイント減）と同率となっている。住まい別には、「かなり良い」又は「やや良い」と回答した人の割合は、「上浦」が最も高く、次いで「本匠」、「直川」と「米水津」が同率で続いている。

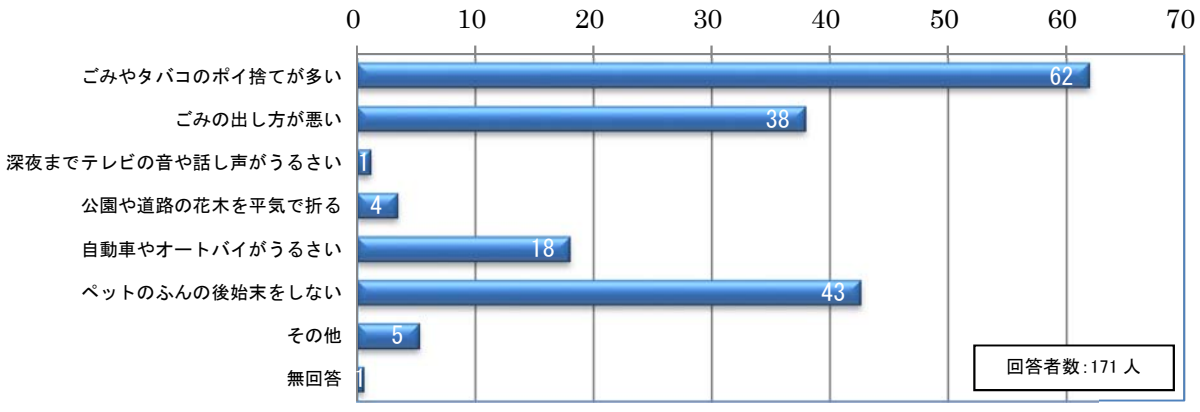
■ **満足度**



■**住まい（地区）別の満足度**（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ **不満の原因**（やや悪い、かなり悪いと回答した人）



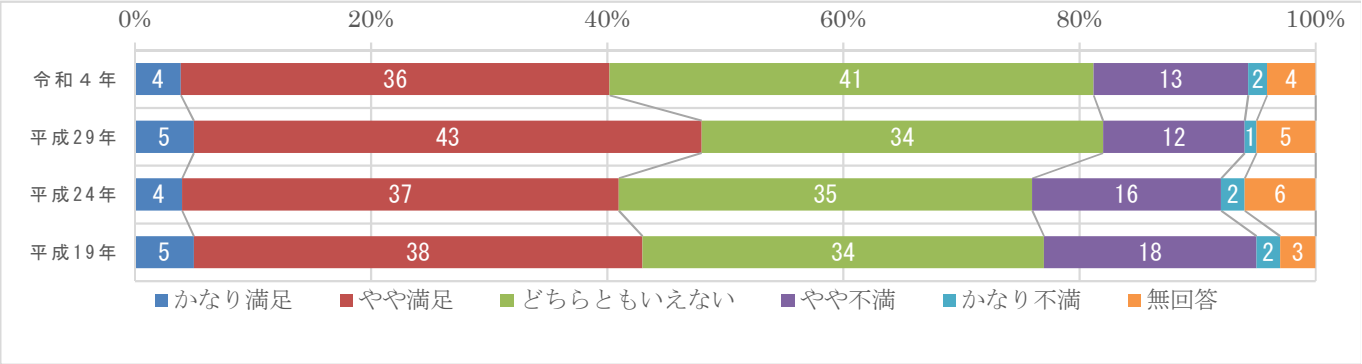
■不満の原因で【その他】と回答した理由

犬がうるさい。猫をすてる人がいる
道路等の雑草がのびている
草刈りをしない。道路周囲の木枝の管理不足。
ペットのふん、暗くなってから散歩する人。見張ったり、防犯カメラは家から距離があるのでとてもむずかしいので、市報やチラシで、マナーモラルにエチケット運動をして下さい。
野良猫にエサをやる人がかなりいる
野良猫にエサをやる。そのまま放置。
野良ねこをなんとかして下さい
山や川にゴミをすてている

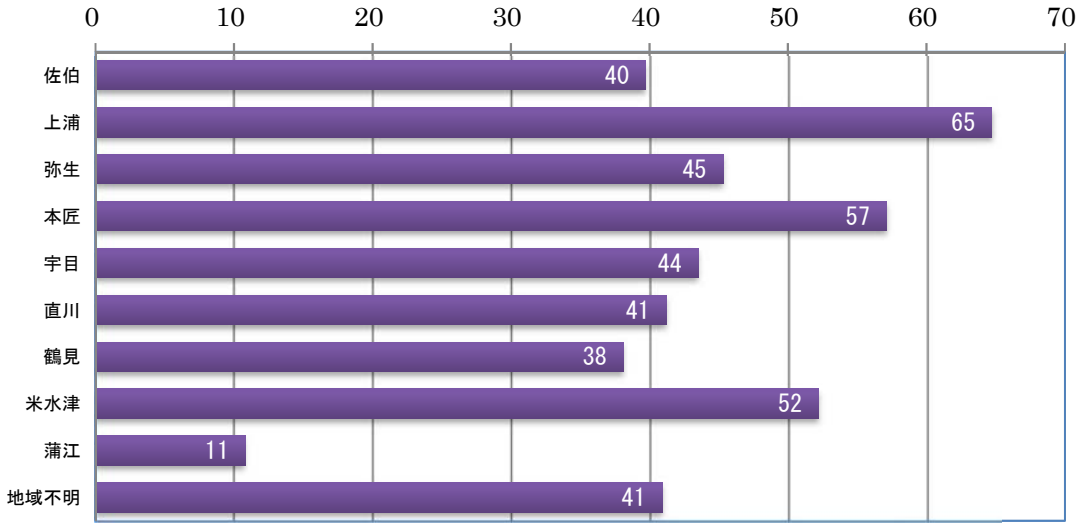
⑬ ①～⑫を総合した身近な環境全体

1）～12）の満足度の結果をふまえ、総合的な環境満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 40 パーセント（前回比８ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 15 パーセント（前回比２ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」が最も高く、次いで「本匠」、「米水津」の順となっている。

■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

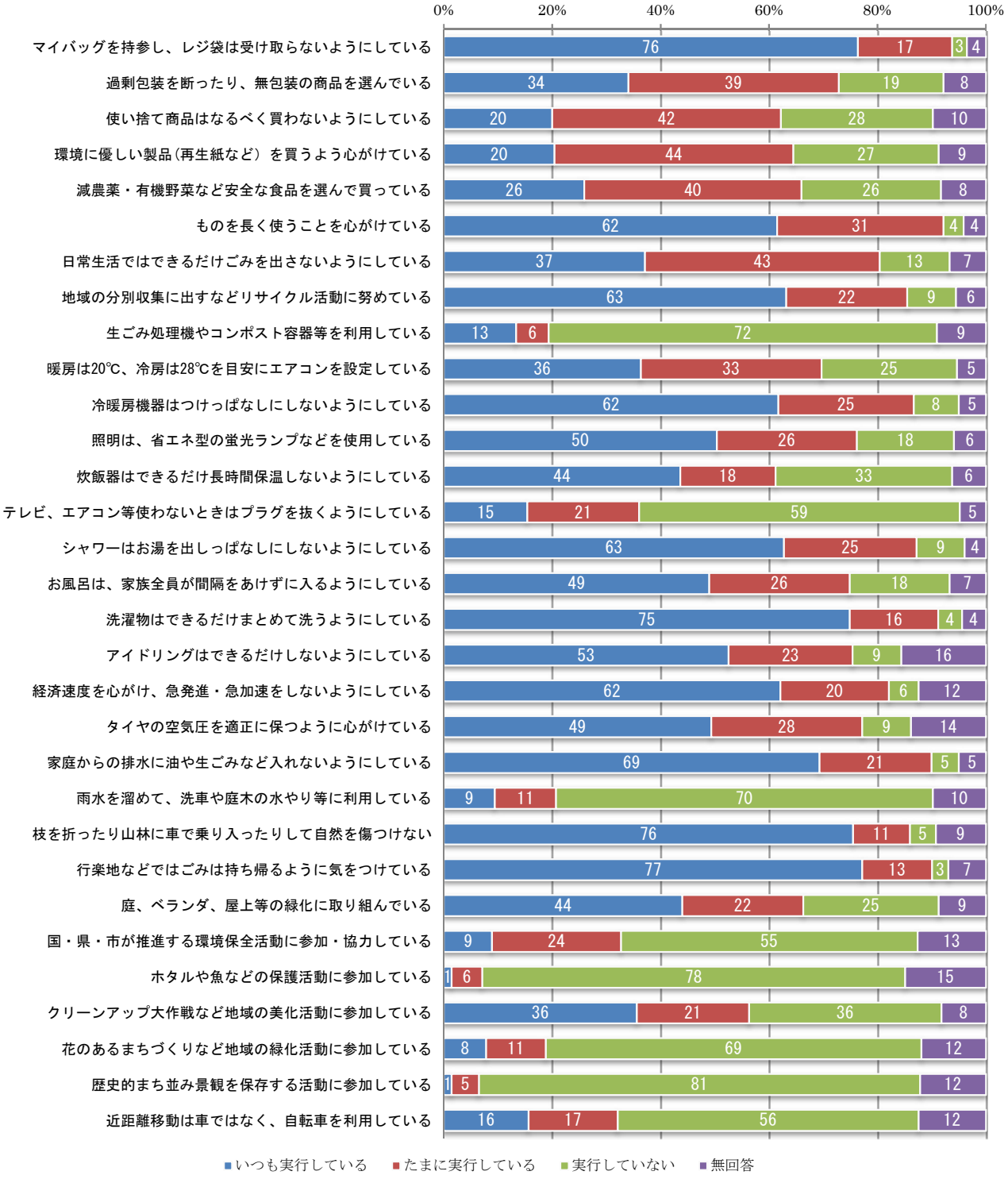


5）環境保全行動の実施状況、意向

① 現状

31 項目について環境保全行動の実施状況について聞いた結果、「いつも実行している」、「たまに実行している」あわせて 80 パーセント以上は 11 項目となっている。実施状況が低い項目としては、「ホタルや魚などの保護活動に参加している」、「歴史的まち並み景観を保存する活動に参加している」、「花のあるまちづくりなど地域の緑化活動に参加している」などとなっている。

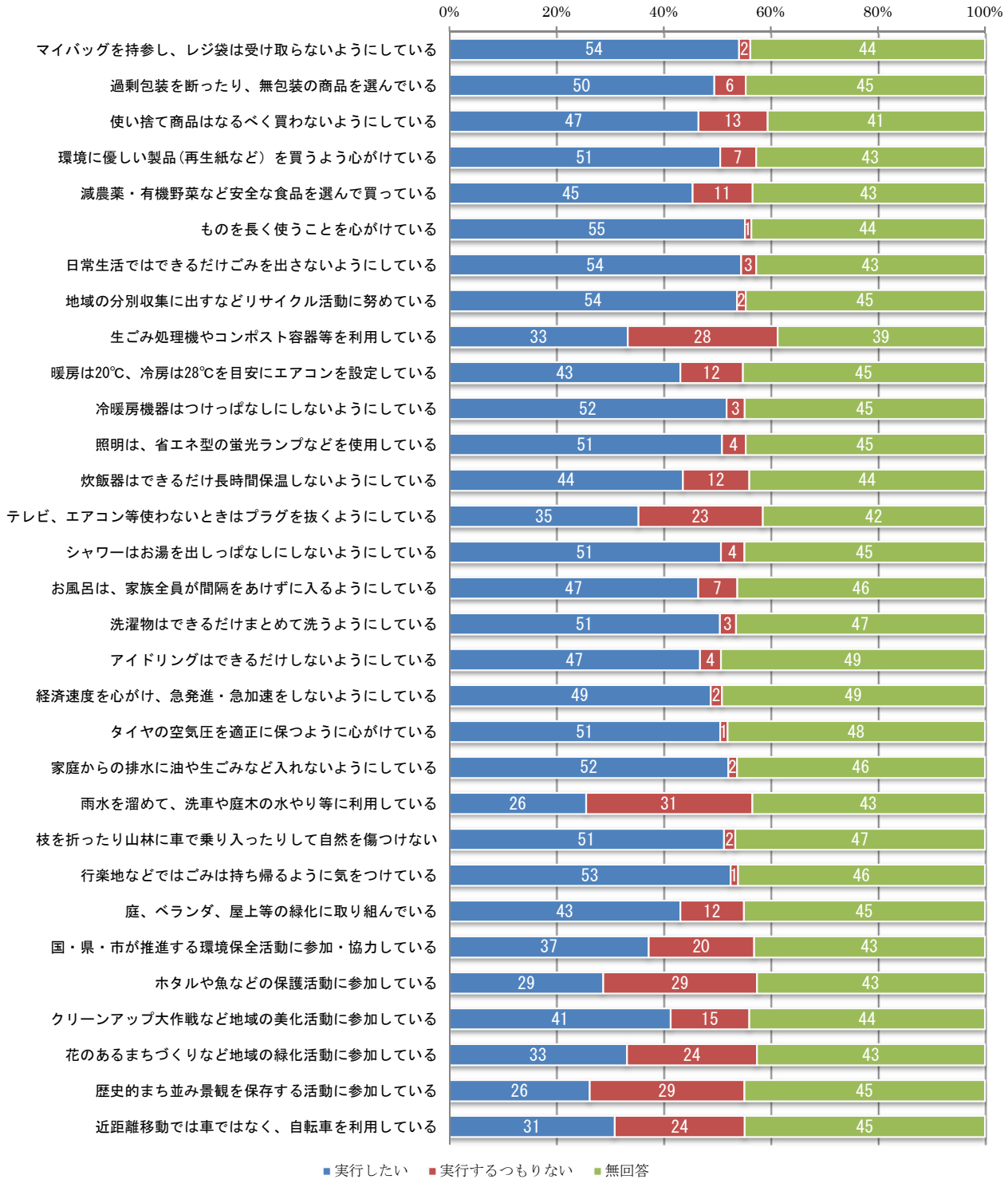
■ 環境保全行動の実施状況



② 今後

31 項目について環境保全行動の今後の実施可能性について聞いた結果、「実行したい」が 40 パーセント以上は 23 項目となっている。今後、普及・啓発や情報の提供により環境保全活動が広がる可能性を期待している。

■ 環境保全行動についての今後の意向



6）環境保全のために個人レベルでできそうな目標

① ごみの排出量

今後のごみ減量の可能性について聞いたところ、全体では「現在より削減可能」と回答した人が合計 42.7 パーセント（前回比 0.3 ポイント増）で、「平均削減率」は 17.2 パーセント（前回比 2.5 ポイント増）となっている。

■ 削減の可能性

（%）

区　分	現在より削減可能	削減は難しい	無回答	回答数（人）
佐　伯	44.1	47.8	8.1	320
上　浦	23.5	70.6	5.9	17
弥　生	45.3	47.2	7.5	53
本　匠	57.1	35.7	7.1	14
宇　目	21.7	60.9	17.4	23
直　川	44.1	52.9	2.9	34
鶴　見	19.0	71.4	9.5	21
米水津	39.1	52.2	8.7	23
蒲　江	54.1	35.1	10.8	37
地域不明	50.0	36.4	13.6	22
令和4年計	42.7	48.8	8.5	564
平成 29 年計	42.4	43.8	13.8	708
平成 24 年計	40.9	37.2	21.9	749
平成 19 年計	47.6	37.5	14.9	807

■ 現在より何%削減できるか

区　分	平均削減率（%）			
	R4年	平成 29 年	平成 24 年	平成 19 年
佐　伯	16.7	14.4	14.5	17.0
上　浦	13.0	14.3	18.7	19.2
弥　生	15.1	12.0	19.9	12.4
本　匠	24.7	13.9	18.5	19.7
宇　目	27.0	16.4	14.8	21.0
直　川	14.7	23.9	13.9	16.9
鶴　見	22.5	13.0	14.6	21.5
米水津	16.8	12.3	13.0	21.5
蒲　江	21.5	12.1	18.6	15.9
地域不明	13.9	26.7		
合　計	17.2	14.7	16.3	17.4

②自家用車の利用

今後の自動車使用の削減可能性について聞いたところ、全体では「現在より削減可能」と回答した人が合計 19.7 パーセント（前回比 3.2 ポイント増）で、「平均削減率」は 16.7 パーセント（前回比 0.1 ポイント増）となっている。

■ 削減の可能性

（%）

区　分	現在より削減可能	削減は難しい	無回答	回答数（人）
佐　伯	22.5	65.0	12.5	320
上　浦	17.6	64.7	17.6	17
弥　生	18.9	71.7	9.4	53
本　匠	28.6	64.3	7.1	14
宇　目	4.3	78.3	17.4	23
直　川	8.8	76.5	14.7	34
鶴　見	4.8	66.7	28.6	21
米水津	4.3	69.6	26.1	23
蒲　江	32.4	48.6	18.9	37
地域不明	18.2	54.5	27.3	22
令和4年計	19.7	65.6	14.7	564
平成 29 年計	16.5	64.0	19.5	708
平成 24 年計	19.8	53.1	27.1	749
平成 19 年計	22.1	55.8	22.2	807

■ 現在より何%削減できるか

区　分	平均削減率（%）			
	R4年	平成 29 年	平成 24 年	平成 19 年
佐　伯	16.3	16.7	18.2	17.7
上　浦	7.3	10.0	14.5	27.0
弥　生	15.0	11.7	11.5	10.1
本　匠	7.3	10.0	10.0	16.0
宇　目	30.0	13.3	19.3	13.3
直　川	10.0	43.3	17.5	14.2
鶴　見	20.0	26.7	16.9	7.0
米水津	20.0	8.3	18.8	20.0
蒲　江	16.7	19.2	15.6	19.1
地域不明	43.8	30.0		
合　計	16.7	16.6	15.8	16.8

③ その他

今後の個人レベルでできそうな目標について聞いたところ、回答を頂いたことについて掲載しています。

リユースを実行する。エコバッグを忘れない。リサイクルに回す。
着なくなった服を寄付する。
畑仕事に行くのに自転車や徒歩で行くなど。（１㎞の距離）
職場まで自転車で行ける距離なので車に乗らず自転車で行く
服のリサイクルをする事。学校、保育園等に寄付する等
エコバックをもつ。分別をする。
公共交通機関の利用
紙ゴミ等の資源ゴミをきちんと分ける
野さいの皮等は庭にすてて土にかえす様にしている。
生ゴミ処理の配布があれば利用したい。ダンボールコンポストはうじ虫対策が無理。
ペーパーレス化
ゴミ、あきカンひろいなど家の廻りなどの草とり
家庭ごみは１週間に１回出している
エコバックを使う、長く使えるものを購入する
買い物、HP 受診、同じ日に合わせて車の使用を減らす。
車に乗る用事は、まとめてするようにして、不用な時はのらない。計画を立てて行動します。
・化学繊維の物を減らす（洋服、洗濯ネット等）　・プラスチック製品は買わない
紙パック、タッパなど洗ってリサイクルへ
ウォーキング、ジョギングが趣味なので、歩きながらゴミ拾い等ならやれる。
ペットボトル飲料の購入を減らし、水筒を持つ。
・一人暮らしなので生ごみ等の排出量は少量 ・不燃物は年に２～３回まとめて出すようにしている（それでも少量）
・道のゴミを拾う
生ゴミはどうにかしたいと考えている
高齢者の割引サービスやバスのサービス等、市がタクシー会社等に働きかけ実行してくれると早めに自家用車をつかわないようにできると思う
新車で燃費性能を気をつけている
生ゴミは畑に。
節電、節水を 10%減
ペットボトルをなるべく買わず、マイボトルを使用する
○ポイ捨てしない　○ゴミの分別　○長く物は使う。大切にする
ラップ使用はできるだけしない。ウエスで洗う前の食器をふく。新しく購入する物はできるだけプラ製品は買わない。
各項目共、それなりに努力して生活している
晴れの日は車ではなく歩行か自転車を選ぶ
落葉樹が多いので、枯れ葉を集めて野菜を作っている知人に使用してもらっているが今後も続けたい。生ゴミを自宅で処理したい
コンポストを利用して生ごみの分はへらしている。車は、病院以外は、乗らない様にしている。

その時に買い物はする。
今後も森林保全、花壇づくりは継続する。
電気の利用使用を減らし水のむだ使いを減らす
ごみは週１回白の小さい袋でだしている。買物は週１回しか行っていない。
生ごみを出さない
生ごみは畑に持って行き、たいひにしています。
分別をしっかり実施する。なるべく少ししたい気持ちはいつもある。
ウォーキング途中で見つけたゴミは持ち帰る
必要以上に買い置きをしない。
庭木が通路に出ないように心がけています
無駄な買い物をしない
他市のようにプラスチックごみを回収すれば、他はリサイクルしているので、今よりも 90%は減らせる。生ゴミは畑に埋めている
コンポスト容器などを利用したい。
生ゴミはコンポストに　　自転車、車がないと買い物に行けないので、自転車を利用する
こまめに電気を消す。
★ごみの削減に努める。生ゴミをできるだけ少なくする　★不要な物を買わない　★節水に努める　★待機電力を少なくする　★つけっぱなしを止める
・外出するときはコンセントを抜く。　・電気をつけたまま寝てしまっている時があるので、タイマーをセットする。
トレーパックはスーパーの回収 BOX に買い物時保冷剤の持参
80 才前に車にのるのをやめました
台風後の海岸のそうじペットボトルなど 1 度の台風で 100 枚位のゴミ袋が区長を通してほしい。ひまな人がひまな時かたずけ
エアコンの温度
ごみの排出量、自家用車の利用ともに個人的に努力はしています。
節電
日常生活の中において、最低限のごみしか出していない。つとめて出さないようにしているが。車は必要な時にしか乗らない。
親が車をもっているが、協力使用しないようにしている
町内放送でゴミをやくのを禁止しています。いなかで畑や家の囲りの草は量も多いので、ゴミに出すのはたいへんです。畑の草位は畑でやかしてもらいたいといつも思います。
自然林造成、保存
ティッシュペーパーをあたり前に使用しない！！生活習慣から見直したい
エアコンの稼働時間の減少

7）家庭でのエネルギー使用状況

現在のエネルギー使用状況と今後のエネルギー使用量削減の可能性について聞いたところ、全体では、「節約できる」と回答した人は 29.3 パーセント（前回比 0.1 ポイント減）で、「節約は難しい」と回答した人の 51.8 パーセント（前回比 4.2 ポイント増）を大幅に下回っている。「使用量をあまり意識したことがない」という回答は 8.3 パーセント（前回比 3.4 ポイント減）となっている。また、節約可能と回答した人に、どの程度削減可能か聞いたところ、「平均削減率」は 13.4 パーセント（前回比 1.4 ポイント増）となっている。

■ 現在のエネルギー使用状況

（%）

区　分	多いと思うので今後は節約できる	あまり多くないがさらに節約できる	多いと思うが節約は難しい	あまり多くないので節約は難しい	使用量をあまり意識したことはない	わからない	無回答	回答数（人）
佐　伯	15.0	15.9	16.3	33.8	9.7	5.6	3.8	320
上　浦	0.0	5.9	29.4	29.4	29.4	0.0	5.9	17
弥　生	11.3	18.9	30.2	24.5	1.9	7.5	5.7	53
本　匠	21.4	7.1	35.7	28.6	0.0	0.0	7.1	14
宇　目	4.3	8.7	26.1	43.5	8.7	4.3	4.3	23
直　川	17.6	17.6	20.6	32.4	8.8	2.9	0.0	34
鶴　見	4.8	14.3	28.6	14.3	4.8	14.3	19.0	21
米水津	13.0	17.4	39.1	13.0	4.3	4.3	8.7	23
蒲　江	10.8	13.5	10.8	45.9	5.4	8.1	5.4	37
地域不明	18.2	27.3	9.1	27.3	4.5	4.5	9.1	22
令和4年計	13.5	15.8	19.9	31.9	8.3	5.7	5.0	564
平成 29 年計	17.7	11.7	17.4	30.2	11.7	4.4	6.9	708
平成 24 年計	15.5	19.5	10.3	25.8	8.5	4.1	16.3	749
平成 19 年計	18.2	17.5	14.1	27.0	9.8	4.2	9.2	807

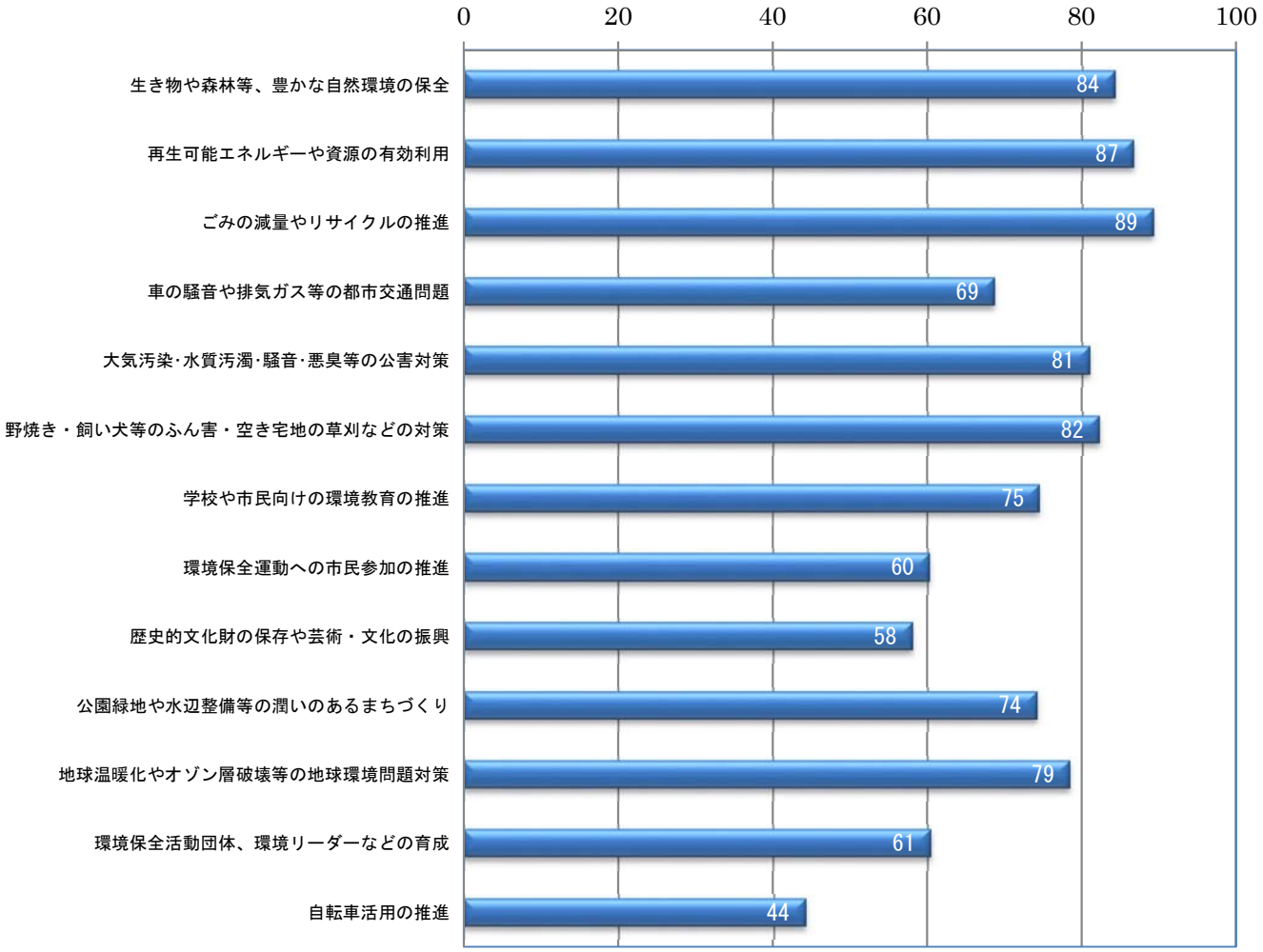
■ 現在より何%削減できるか

区　分	平均削減率（%）			
	R4年	平成 29 年	平成 24 年	平成 19 年
佐　伯	13.6	11.8	12.9	14.6
上　浦	5.0	10.0	12.5	24.4
弥　生	11.6	10.3	16.8	11.0
本　匠	8.3	15.0	13.9	15.0
宇　目	5.0	16.7	8.6	14.6
直　川	13.5	13.5	13.8	14.0
鶴　見	11.7	11.9	11.1	12.9
米水津	24.0	11.8	15.8	14.0
蒲　江	13.3	12.1	11.5	15.1
地域不明	12.2	13.3		
合　計	13.4	12.0	13.0	14.8

8）市の施策について

佐伯市の環境を守り、より良いものにしていくための市の施策ついて聞き、「特に重要」又は「重要」と回答している人の割合を以下に示す。全体では「ごみの減量やリサイクルの推進」を重要と回答した割合が大きく、「再生可能エネルギーや資源の有効利用」、「生き物や森林等、豊かな自然環境の保全」が続いていて、前回とほぼ同じ傾向である。

■ **施策の重要度**：（特に重要又は重要と回答した人の割合）



（%）

■ **施策の重要度（地域別）**：特に重要又は重要と回答した人の割合

（%）

区　分		生き物や森林の保全等、豊かな自然環境の保全	省エネルギーや資源の有効利用	ごみの減量やリサイクルの推進	車の騒音や排気ガス等の都市交通問題	大気汚染･水質汚濁･騒音･悪臭等の公害対策	野焼き･飼い犬等のふん害･空き宅地の草刈などの対策
佐伯	令和4年	85.0	87.7	89.6	71.0	81.8	82.3
	平成 29 年	74.3	77.0	79.6	59.7	73.3	70.4
	平成 24 年	72.5	75.3	76.6	58.2	71.7	66.5
	平成 19 年	71.4	80.1	81.7	64.5	72.4	67.4
上浦	令和4年	75.0	68.8	93.8	53.3	60.0	87.5
	平成 29 年	62..1	72.4	75.9	51.7	69.0	75.9
	平成 24 年	73.3	73.3	75.6	75.6	75.6	75.6
	平成 19 年	77.6	84.5	79.3	69.0	72.4	58.6
弥生	令和4年	89.6	86.0	92.0	70.0	83.7	90.2
	平成 29 年	75.4	82.6	84.1	55.1	73.9	71.0
	平成 24 年	62.9	71.4	70.0	41.4	64.3	61.4
	平成 19 年	72.5	85.0	85.0	56.3	71.3	57.5
本匠	令和4年	92.9	92.9	92.9	85.7	92.9	100.0
	平成 29 年	90.0	85.0	90.0	45.0	65.0	70.0
	平成 24 年	61.9	61.9	61.9	47.6	57.1	57.1
	平成 19 年	82.4	80.4	80.4	58.8	66.7	56.9
宇目	令和4年	81.8	90.9	100.0	68.2	90.9	81.8
	平成 29 年	71.4	74.3	71..4	40..0	71.4	77.1
	平成 24 年	59.1	65.9	65.9	54.5	54.5	54.5
	平成 19 年	77.3	66.7	72.7	54.5	63.6	57.6
直川	令和4年	96.8	90.0	93.5	71.9	87.5	71.9
	平成 29 年	66.7	70.4	77.8	40.7	70.4	70.4
	平成 24 年	68.2	70.5	77.3	52.3	63.6	52.3
	平成 19 年	75.8	74.2	74.2	65.2	74.2	60.6
鶴見	令和4年	55.0	72.2	72.2	52.9	72.2	68.4
	平成 29 年	67.6	73.0	75.7	56.8	62.2	59.5
	平成 24 年	64.0	76.0	76.0	50.0	64.0	68.0
	平成 19 年	73.7	70.2	75.4	63.2	71.9	54.4
米水津	令和4年	77.8	94.7	90.0	73.7	75.0	81.0
	平成 29 年	71..9	78.1	84.4	53.1	68.8	59.4
	平成 24 年	64.0	64.0	76.0	44.0	64.0	60.0
	平成 19 年	75.0	72.2	80.6	52.8	77.8	61.1
蒲江	令和4年	81.3	83.9	78.1	51.6	70.0	78.1
	平成 29 年	67.2	69.8	75.5	41.5	58.5	66.0
	平成 24 年	67.7	67.7	75.4	53.8	67.7	63.1
	平成 19 年	65.6	76.7	81.1	57.8	74.4	54.4
地域不明	令和4年	85.0	85.0	85.0	60.0	80.0	85.0
合計	令和4年	84.3	86.8	89.3	68.7	81.1	82.3
	平成 29 年	72.7	76.3	79.2	54.7	70.5	69.4
	平成 24 年	69.0	72.6	74.8	55.4	68.2	64.4
	平成 19 年	73.2	77.9	79.8	61.5	71.9	61.1

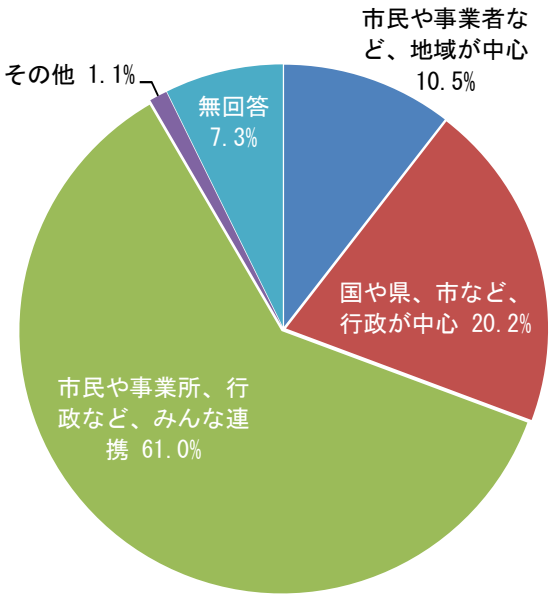
（%）

区　分		学校や市民向けの環境教育の推進	環境保全運動への市民参加の推進	歴史的文化財の保存や芸術・文化の振興	公園緑地や水辺整備等の潤いのあるまちづくり	地球温暖化や酸性雨、ｵｿﾞﾝ層破壊等の地球環境問題対策	環境保全活動団体、環境リーダーなどの育成	自転車活用の推進
佐伯	令和4年	75.6	59.9	57.5	77.2	76.9	61.5	47.4
	平成 29 年	66.5	48.7	48.2	64.9	64.1	50.5	―
	平成 24 年	65.5	53.5	49.1	65.7	65.7	51.7	―
	平成 19 年	70.8	52.2	52.5	67.1	73.8	57.5	―
上浦	令和4年	62.5	53.3	25.0	62.5	53.3	21.4	28.6
	平成 29 年	65.5	48.3	48.3	58.6	62.1	41.4	―
	平成 24 年	68.9	57.8	53.3	66.7	66.7	62.2	―
	平成 19 年	69.0	51.7	56.9	79.3	84.5	53.4	―
弥生	令和4年	72.0	60.0	57.1	66.0	90.2	65.3	48.0
	平成 29 年	65.2	44.9	47.8	65.2	66..7	46.4	―
	平成 24 年	61.4	48.6	38.6	61.4	58.6	51.4	―
	平成 19 年	73.8	51.3	50.0	66.3	78.8	48.8	―
本匠	令和4年	85.7	71.4	78.6	76.9	92.9	78.6	42.9
	平成 29 年	55.0	60.0	45.0	50..0	70..0	35..0	―
	平成 24 年	57.1	47.6	42.9	57.1	52.4	42.9	―
	平成 19 年	70.6	54.9	58.8	58.8	74.5	54.9	―
宇目	令和4年	77.3	68.2	63.6	68.2	86.4	50.0	31.8
	平成 29 年	57.1	60.0	54..3	60..0	60.0	45.7	―
	平成 24 年	65.9	59.1	52.3	47.7	61.4	54.5	―
	平成 19 年	69.7	54.5	54.5	62.1	65.2	56.1	―
直川	令和4年	75.0	56.3	65.6	71.9	78.1	62.5	22.6
	平成 29 年	66.7	48.1	40.7	63.0	51.9	51.9	―
	平成 24 年	54.5	45.5	56.8	56.8	63.6	43.2	―
	平成 19 年	72.7	63.6	59.1	59.1	74.2	62.1	―
鶴見	令和4年	66.7	55.6	44.4	61.1	83.3	66.7	22.2
	平成 29 年	73.0	59.5	54.1	59.5	62.2	51.4	―
	平成 24 年	64.0	46.0	42.0	54.0	62.0	48.0	―
	平成 19 年	63.2	45.6	45.6	59.6	71.9	49.1	―
米水津	令和4年	65.0	61.1	55.6	89.5	70.0	50.0	31.6
	平成 29 年	68.8	59.4	46.9	59.4	68.8	62.5	―
	平成 24 年	60.0	56.0	48.0	60.0	56.0	36.0	―
	平成 19 年	80.6	52.8	61.1	66.7	75.0	58.3	―
蒲江	令和4年	78.1	58.1	58.1	68.8	74.2	62.5	62.5
	平成 29 年	62..3	47.2	39.6	56.6	60.4	50.9	―
	平成 24 年	66.2	41.5	43.1	60.0	55.4	44.6	―
	平成 19 年	70.0	61.1	42.2	60.0	76.7	63.3	―
地域不明	令和4年	75.0	70.0	78.9	73.7	84.2	57.9	47.4
合計	令和4年	74.6	60.3	58.1	74.2	78.5	60.5	44.2
	平成 29 年	65.3	49.7	47.6	62.7	62.9	49.4	―
	平成 24 年	64.2	51.5	47.8	62.1	62.9	50.3	―
	平成 19 年	70.8	53.9	52.5	65.1	74.7	56.6	―

９）環境への取組主体

環境への取り組み主体について聞いたところ、「市民や事業所、行政などみんなが連携、協力して取り組むべきである」が 61.0 パーセント（前回比 0.7 ポイント増）となっている。

■ 環境への取組主体について



■ 環境への取組主体について（住まい別）

（%）

区　分		市民や事業者など、地域が中心となって取り組むべきである	国や県、市など、行政が中心となって取り組むべきである	市民や事業所、行政など、みんなが連携、協力して取り組むべきである	その他	無回答
佐　伯		10.0	20.9	64.1	1.3	3.8
上　浦		17.6	11.8	41.2	5.9	23.5
弥　生		7.5	28.3	60.4	1.9	1.9
本　匠		0.0	14.3	78.6	0.0	7.1
宇　目		8.7	13.0	65.2	0.0	13.0
直　川		11.8	17.6	52.9	0.0	17.6
鶴　見		4.8	19.0	57.1	0.0	19.0
米水津		17.4	21.7	47.8	0.0	13.0
蒲　江		13.5	13..5	62.2	0.0	10.8
地域不明		18.2	22.7	45.5	0.0	13.6
合計	令和4年	10.5	20.1	61.1	1.1	7.3
	平成 29 年	9.5	16.1	60.3	1.1	13.0
	平成 24 年	12.6	16.8	52.9	1.1	16.7
	平成 19 年	11.6	18.0	60.3	1.0	9.0

10）守るべき環境、改善すべき環境

① 調査方法

旧市町村の９地区ごとに、それぞれの地区の地図をアンケート調査票に添付し、記入していただく方法で調査を行った。調査項目としては、守るべき環境として「特に自然性の高い地域」、「特に良好な景観が残っている地域」、「特に歴史的要素の強い地域」を、改善すべき環境として「廃棄物の不法投棄がよく見られる地域」、「生活排水や産業排水による水質汚濁が見られる河川や海」、「特に放棄地が多い地域（何も手が付けられていない土地、耕作放棄地等）」で、それぞれ２カ所以内で回答していただいた。

② 結果

守るべき環境、改善すべき環境について、主に選ばれた場所とその理由等を次頁以降に示す。

■守るべき環境（特に自然性の高い地域）として記入された主な場所と理由

場所名	主に記入した人の住まい（地区）	選んだ理由（主なもの）
城山	佐伯、鶴見	佐伯市のシンボル、皆の憩いの場所、四季おりおりの絶景が楽しめる　等
番匠川	佐伯、弥生	川遊び等自然と触れられる、車から見た景色がすばらしい、歩きたくなる、川の水が美しく色々な自然や景観がたくさん残されているため　等
本匠	佐伯、弥生、本匠、直川、米水津	山や川が美しい、ホタルの生息地、ホタルがいたり空気が澄んでいてきれいだから　等
藤河内渓谷	佐伯、直川	一枚岩の渓谷、全国的にもめずらしい、自然に囲まれキャニオニングを楽しめる　等
波当津海岸	佐伯	海がきれい、砂浜がきれい、海水が美しい　等
米水津空の公園	米水津	海・山の景観が素晴らしい
宇目	佐伯、本匠、蒲江	ユネスコエコパーク、山・川の自然が美しい　等
大入島	佐伯	オルレが良い、佐伯湾に浮かぶ自然豊かな島　等
暁嵐の滝	上浦	水質＆景観がすばらしい美しい、いやされる場所　等
彦岳	佐伯	高い山、景観も良い、道もついている、春の梅は素晴らしい 360°景観　等
元猿海岸	蒲江	きれいな海　等
祖母傾国定公園	宇目	手つかずの自然が残っている　等
間越海岸	佐伯、米水津	砂浜や海がめ、自然の残る地区、サンゴがみられる　等
高平キャンプ場	蒲江	景観がすばらしい、高平から見る周囲の風景　等

■守るべき環境（特に良好な景観が残っている地域）として記入された主な場所と理由

場所名	主に記入した人の住まい（地区	選んだ理由（主なもの）
城山	佐伯、鶴見	山道も景色も美しい、佐伯の町が真下に眺められる　等
空の公園	佐伯、弥生、米水津	眺望がすばらしい、海だけでなく花もきれいだから守りたい　等
鶴見崎灯台付近	佐伯	九州最東端による上浦～蒲江までのリアス海岸の良好な景観が美しいから　等
仙崎公園	蒲江	海のながめが最高　等
瀬会海岸	佐伯	景色がとてもキレイ　等
藤河内渓谷	弥生	景観がとてもきれい　等
祖母傾山系	直川	天然林が残っている　等

■守るべき環境（特に歴史的要素の強い地域）として記入された主な場所と理由

場所名	主に記入した人の住まい（地区）	選んだ理由（主なもの）
城山、城山周辺、城下町	佐伯、弥生、本匠、鶴見、米水津、蒲江	史跡、武家屋敷通り、城跡、石垣、街並みな
歴史と文学の道、養賢寺前通り	佐伯	美しい道を残すべきだから、歴史観のある軒並み　等
鷹島屋神社	直川	標高の高い場所と景観　等

■改善すべき環境（廃棄物の投棄がよく見られる地域）

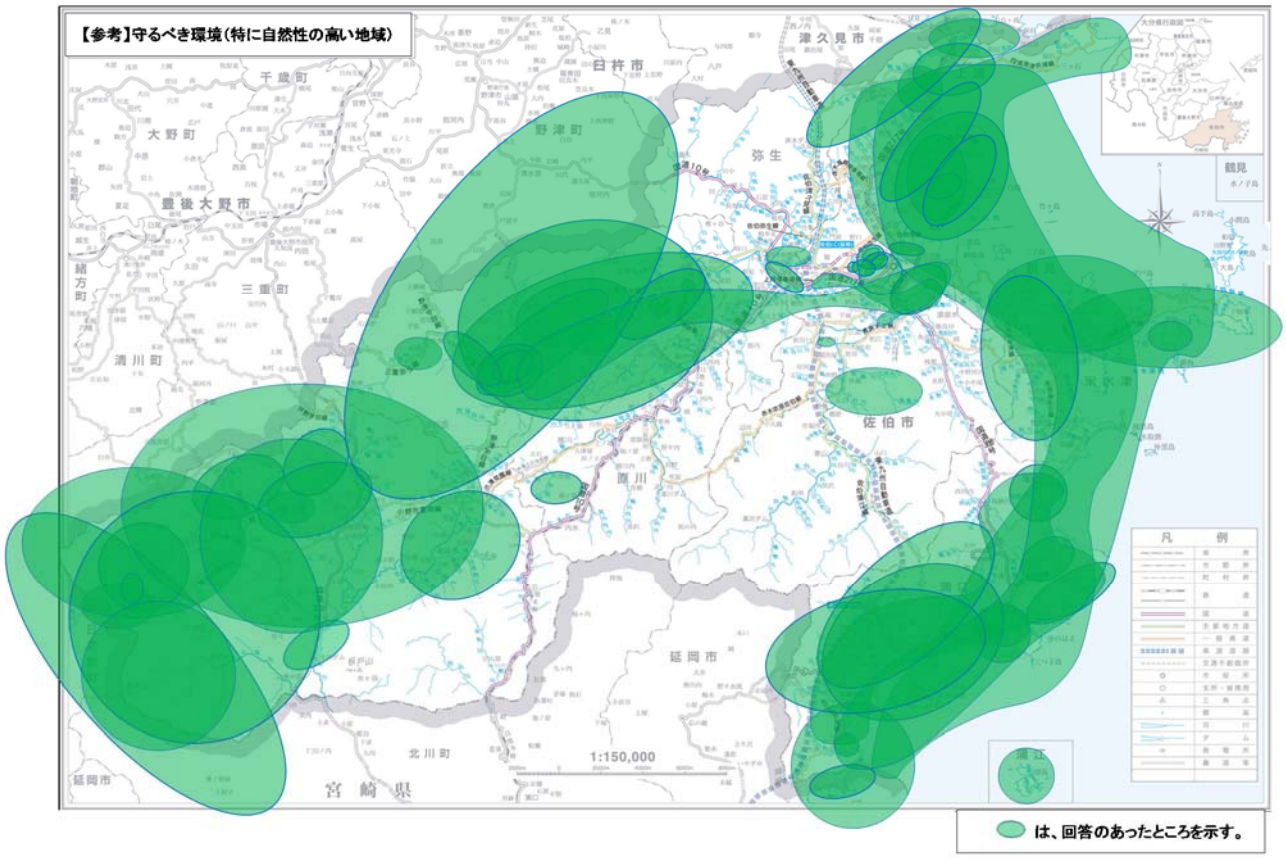
場所名	主に記入した人の住まい
大手前周辺	佐伯
元引込線の線並（野岡緑道）防空壕の中にゴミが多く廃棄されている（平和公園の横）	佐伯
木立	蒲江
浦代峠	鶴見
佐伯隊道	佐伯
女島・新女島付近の川	佐伯

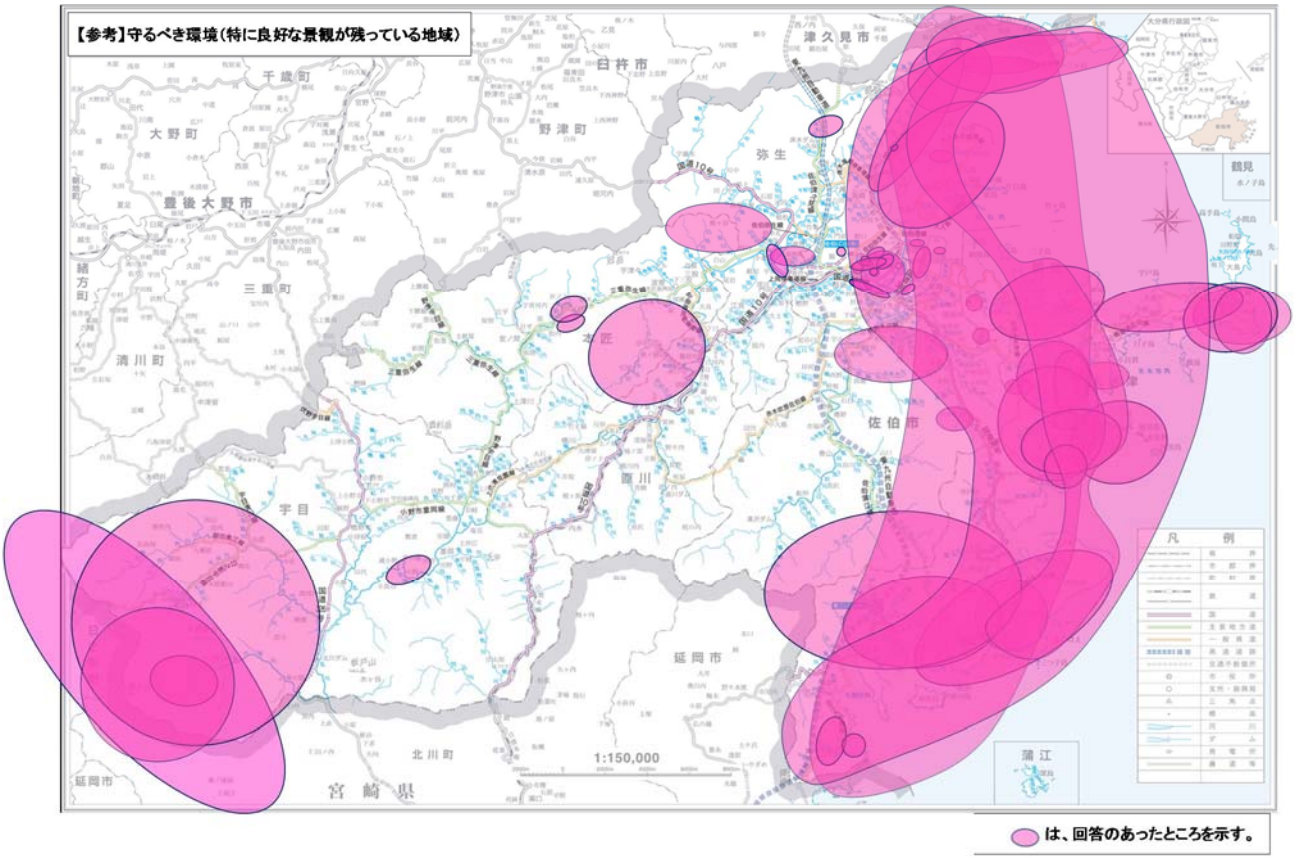
■改善すべき環境（水質汚濁が見られる河川や海）

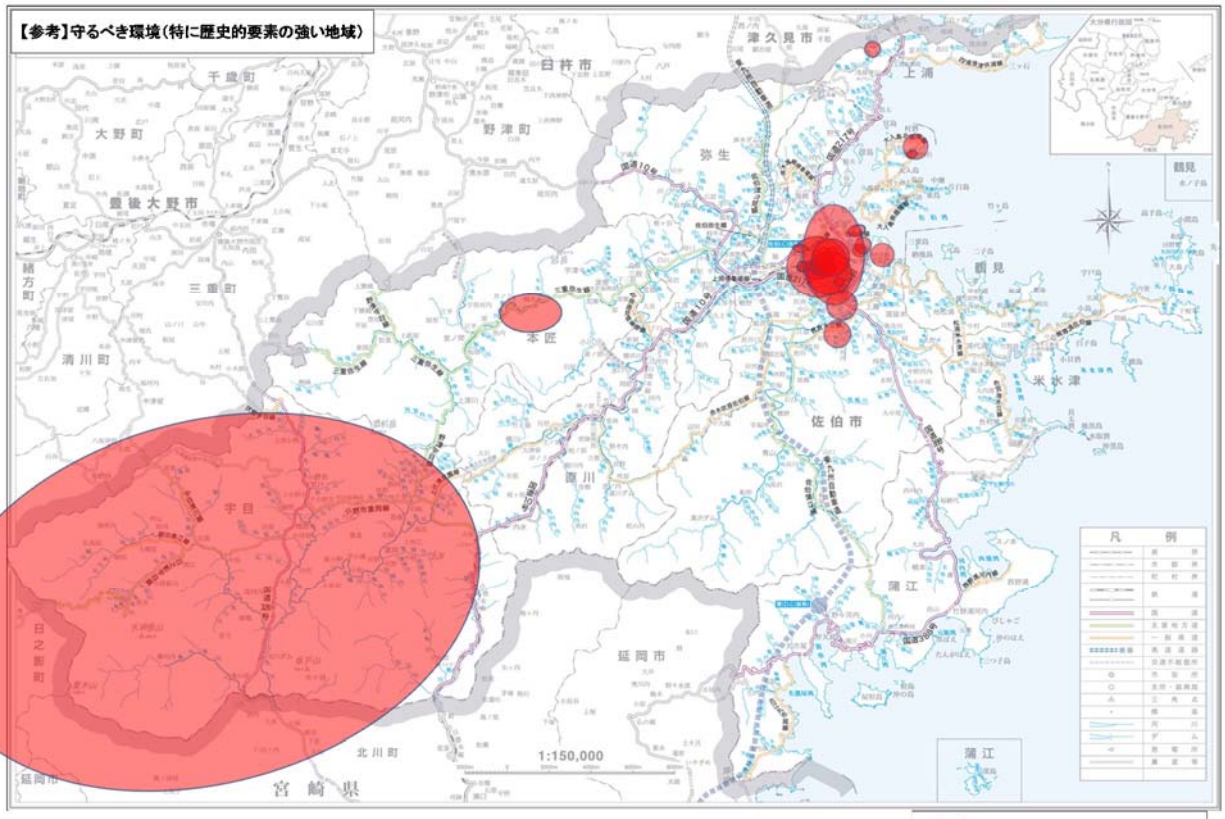
場所名	主に記入した人の住まい
百谷川	佐伯
中川	佐伯
旧船頭町	佐伯
番匠川	佐伯
鶴岡小周辺の溝・水路	佐伯
女島の奥の方	佐伯

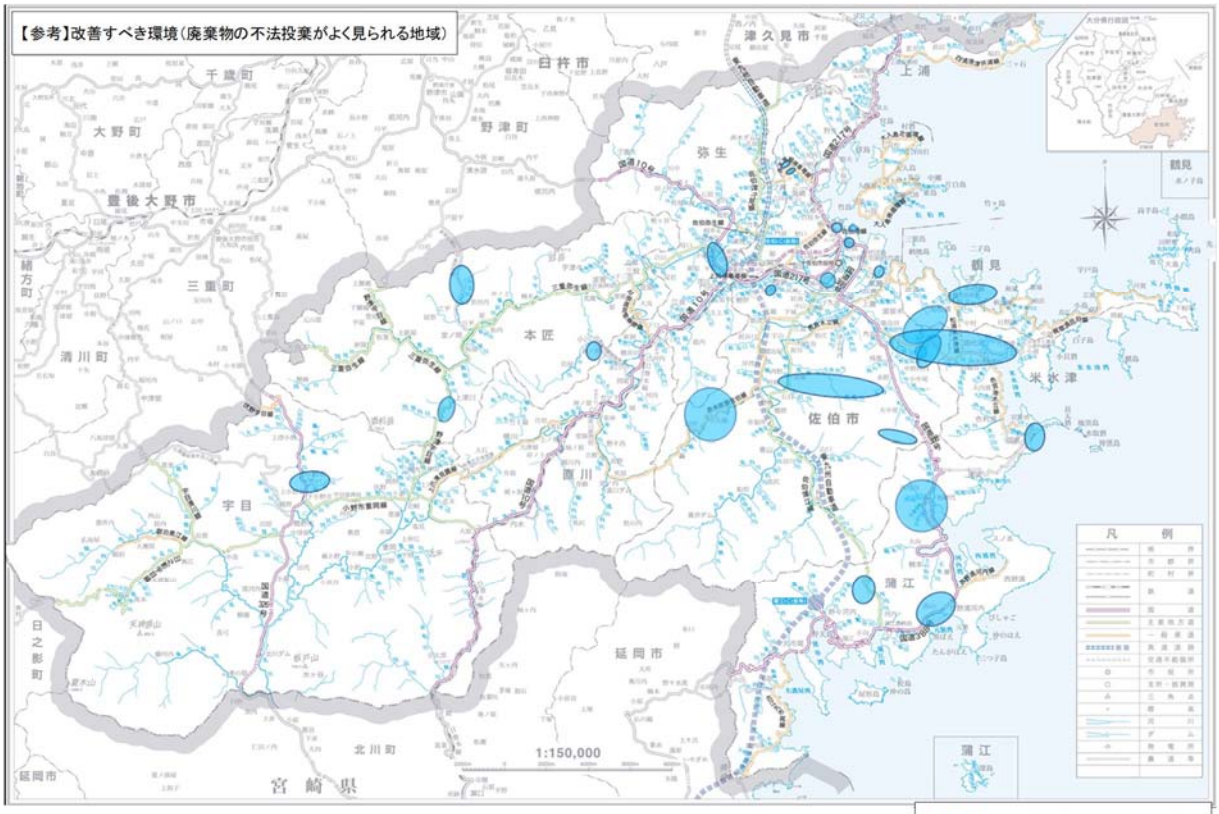
■改善すべき環境（特に放棄地が多い地域）

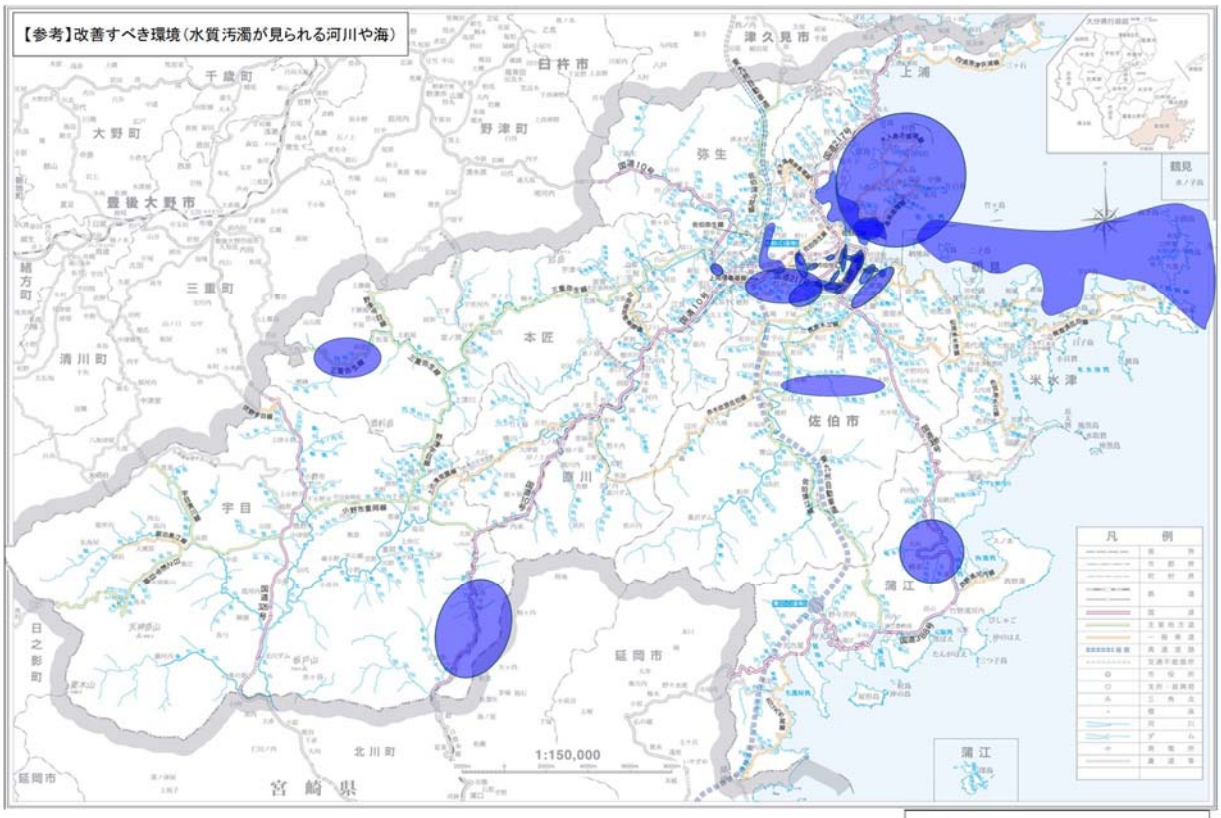
場所名	主に記入した人の住まい
長島	佐伯
鶴見の山間部	鶴見
木立	佐伯
米水津の山間部	鶴見

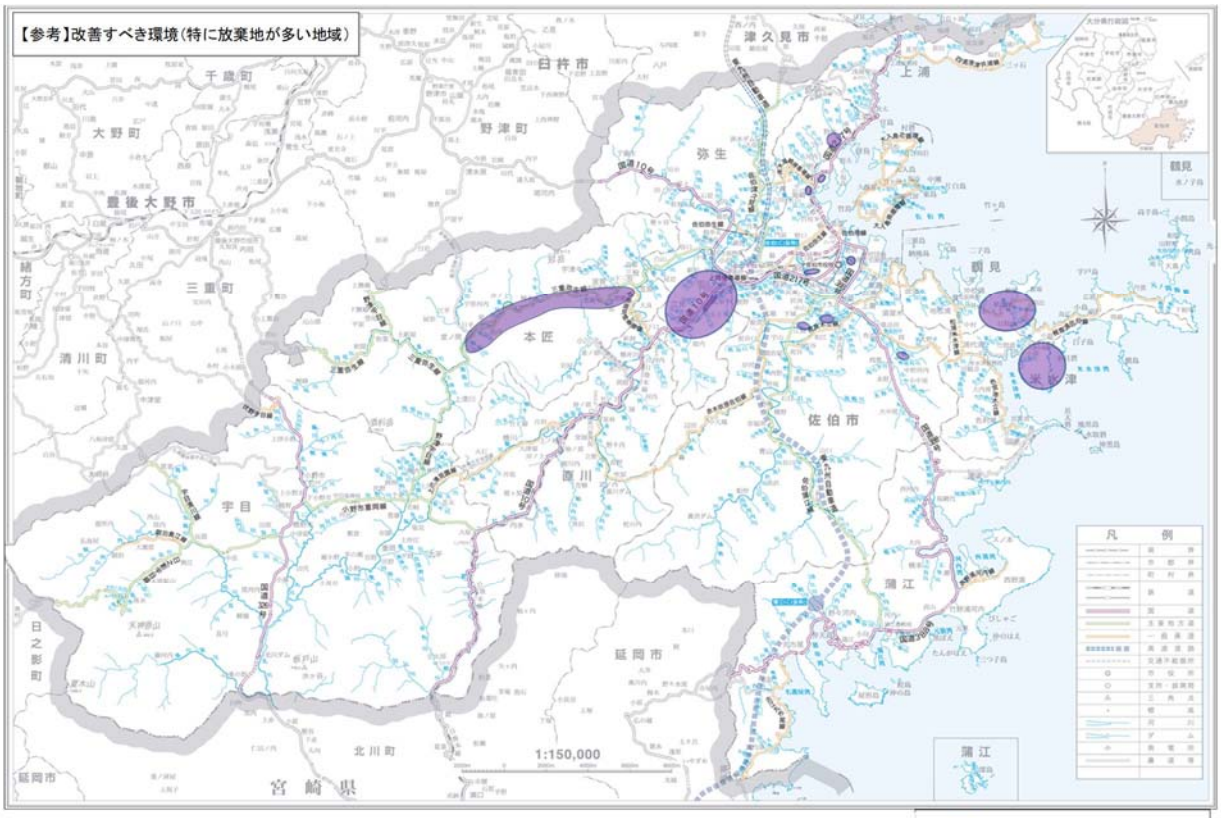

【参考】守るべき環境（特に自然性の高い地域）
日杵市
津久見市
千歳町
大野町
野津町
弥生
豊後大野市
緒方町
三重町
清川町
佐伯市
直川
延岡市
北川町
1:150,000
宮崎県
凡例
は、回答のあったところを示す。


【参考】守るべき環境（特に良好な景観が残っている地域）
日杵市
津久見市
千歳町
大野町
野津町
弥生
豊後大野市
緒方町
三重町
清川町
佐伯市
直川
宇目
延岡市
北川町
1:150,000
宮崎県
凡例
は、回答のあったところを示す。


【参考】守るべき環境（特に歴史的要素の強い地域）
日杵市
津久見市
千歳町
大野町
野津町
弥生
上浦
豊後大野市
緒方町
三重町
本匠
清川町
佐伯市
米水津
宇目
直川
日之影町
蒲江
延岡市
北川町
1:150,000
宮崎県
凡例
は、回答のあったところを示す。


【参考】改善すべき環境（廃棄物の不法投棄がよく見られる地域）
日杵市
津久見市
千歳町
大野町
野津町
弥生
上浦
豊後大野市
緒方町
三重町
本匠
清川町
佐伯市
米水津
宇目
直川
日之影町
蒲江
延岡市
北川町
1:150,000
宮崎県
凡例
は、回答のあったところを示す。


【参考】改善すべき環境（水質汚濁が見られる河川や海）
日杵市
津久見市
千歳町
大野町
野津町
上浦
弥生
豊後大野市
鶴見
緒方町
三重町
本匠
清川町
米水津
佐伯市
直川
宇目
蒲江
延岡市
日之影町
北川町
1:150,000
宮崎県
凡例
は、回答のあったところを示す。


【参考】改善すべき環境（特に放棄地が多い地域）
日杵市
津久見市
千歳町
大野町
野津町
上浦
弥生
豊後大野市
鶴見
緒方町
三重町
本匠
清川町
朝見
米水津
佐伯市
直川
宇目
蒲江
延岡市
日之影町
北川町
1:150,000
宮崎県
凡例
は、回答のあったところを示す。

11）自由意見

風力発電の運用推進。天然ガスの活用。レンタル自転車の増加（電動）。市内にターミナルを複数配置。スマホで借りられる IT 整備。電気自動車購入時の減税強化。フードバンクの呼びかけ方法の見直し。知らん間に終わってるし、受けつけ場所が少ない。備蓄の呼びかけと並行して前期、後期でわかりやすい呼びかけが欲しい。量り売り事業への支援。肉などを購入した際のパック廃止。うちで一番多いゴミです。真空パックで売ってほしい。駐車場に緑をとり入れる。照り返しの少ないコンクリートを使用する。水辺に野鳥が住みやすい環境づくり（足場や巣になりそうな場所等）及びそれに関する周知。
性差別をなくしてほしい。
第１次産業の高齢化や後継者の問題を法人化や集積、生産、販売、観光や福祉などの連携のアイデアは無いものか良く考えてはいる。自身具体的アイデアは出て来ないのだが・・・
各地域の自治区ごとに自然保全（特に森林）がはたしている役割等の勉強会を開催し自治区ごとに取り組んでいくことが大事だと思う。
多すぎる設問の為に何枚もの紙を使い〒のコストをかけ、それに見合う「答え」がどれだけの時間をかけて導き出せるのか？市報なりにQRコードでもつけてネットを使用するなり、それがゼロカーボンになるのではないかなと思います。「隠より始めよ」まずそのあたりからSDGs、スタートだと思いますが・・・
環境保全は長期的な継続が必要と思う。市民に無理のない範囲で少しずつ取り組みを浸透させてほしい。
とてもむつかしかったです。自分にできる事にトライしていきたいです。
環境保全は今後、特に重要な課題と思いますが、佐伯市の生産年齢人口が減少して超高齢化して行く中で非常にむつかしいと考えます。いかにして若い人を佐伯市にとどめておくか、このことが非常に重要です。
皆さんも考えは同じと思いますが、この現状の中で、環境保全を行っていくためには、人と人のつながりを再構築して、自分たちの手でやるしかないと思います。そして個人個人が意識を高め、自分の身のまわりから、取り組んでいくことが必要と考えます。さっそく、少しずつ実行していきたいと思います。
項目の趣旨とはずれるかもしれませんが、市が行っている取り組みを周知させることが重要だと思います。市報や地域からのお知らせには目を通すようにしていますが、佐伯版SDGsやさいきオーガニックシティの取り組みを寡聞にして知りませんでした。一つ提案としては佐伯市の公式アプリを配信してはいかがでしょうか。（既にあったらすみません）。公式 HP はあると思いますが標記のし方やデザインがありきたりだと感じました。有名企業も自社独自のアプリを配信しているところもあり、見やすく、各項目に飛びやすいデザインになっているので参考になると思います。人員を割く必要もあるので簡単にはいかないと思いますが、ブラウザにはない自由度が利点なのでご検討ください。
特に旧市内におけるシティサイクル、シェアカーなどの普及、通勤、送迎などは近隣住民との協力で利用車輌を減らしたり、道路などのハード面の管理・整備により自転車文化に CO_2削減と観光地化ができるのでは？
税金など都会もいなかも同じように納めています。都会の方は道路もどんどん良くなって便利になり、いなかは公的な物はどんどんなくなって若い人は都会へ。今になってさあ大変となるのはおかしい。もっと働けるところ高齢者でもまだまだ元気な人もいるので楽しく働ける様な場所だったりあれば良いと思う。年よりはデイサービスへと（ウバステ山）的な事ばかりでなく高齢者だから出来る事も多いと思います。若い人ともっと協力して！！
市の面積が大きく、車がないと不便な所ではあるが、近場の移動は自転車を使うことで脱炭素につながると思う。
よくわかりませんが意見として。旧くから水清くして魚住まずといわれてますが番匠川がきれいになりすぎ

てあさり貝がとれなく蛤がとれるように水質がかわっている。きれいすぎるのではないか？東京多摩川には都内の処理された下水が放流され都の水は東京ウオーターと呼ばれるくらいきれいだが、その分川への放流が汚れた物も多いのではないか？考えられない程鮎や鮭の逆上がみられるという？番匠川下流はかつてはアサリが多くとれたが（アサリはすこし汚れたとこにいる）今はまったくとれない。
地球環境問題で現在最重要テーマである温暖化防止対策について、今回の環境基本計画の見直しの中で、より具体的に織込む必要があると思います。（又は独立した計画で）2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、2030 年迄が重要期間と言われており市全体の事業所、市民、市を挙げて取り組む計画を作って欲しい。・・・市の本気度を見せて欲しい。 1.専門知識を持つ人材を入れた検討チーム作り 2.市長によるゼロカーボンシティ宣言（※） 3.地域の温室効果ガス排出量の実態（事業所、市民、市施設）調査 〃 森林による吸収可能量調査 4.削減の具体案（これが最も難しい）技術面、費用面 5.カーボンニュートラルを成し遂げた後の市民の生活様式のイメージ （※）ゼロカーボンシティ宣言を行った市町村は全国で 444、大分県で 6 市。佐伯市は未定の様です（2022 年 7 月 29 日データ）同宣言の事例はネットで容易に見る事ができますネ
若者たちが市外にでなくて、できるだけ親元で働けるような環境が必要です。
さいきオーガニックシティ。市民や企業、行政など地域社会でそれぞれの役割のもと相互連携を図り花のあるまちづくり事業等人と自然が共生して、花が咲く事により地域のつながりコミュニケーション花づくりにより人と人との絆が出来て、増々、美しい町づくり、人づくり地域づくりに持続可能なまち、佐伯市であって欲しい希望致します。さいき花の楽園構想発展楽しみにしております。期待します。
SDGsなどはやりのものにすぐとびつくのではない。オーガニックシティなどはやりのものにすぐとびつくのではない。10 年 20 年とじっくりとりくむべき、またとりくめるべきものにとりくんでください。SDGsもオーガニックも5年でだれもいわなくなる。すたれたらまた次のものですか？
このアンケートが紙のムダ使いではないですか？タブレットを利用し、市役所などで担当の方が声かけし、入力してもらった方が良いと思う。子どもが遊ぶ公園などに遊具が少ない
1 人 1 人が身の周りの手が届く所のゴミひろい草とりから始める
むずかしいことはよくわからないのでどうして私が答えなくちゃならないのかと思いました。地図はちょっとどのへんかとかわかりません。すみません
佐伯は釣りをする人が多いので海ごみを減らす活動をした方がいいと思う。
過剰、過激な一部の環境団体に惑わされずに地球温暖化は本当か？化石燃料は不必要なの？など、市民が自由に意見交換できる場や教育を進めて欲しいです。佐伯市にあった、佐伯型の何かを市民みんなで作り上げたらと思います。
市の HP にさいきオーガニックシティの独立したページを作り、環境に関する内容の記事をこまめに更新するとよいと思う。
農業がもたらす危険性の理解。
生活して生きていく事に精いっぱいで、環境云々を考える心の余裕と時間がないです。環境保全に取りくみたい方にお願いします。
・地産地消を目指せばよい。 オーガニックも SDGsの推進も前進するのではないかと思います。 ・自転車利用→道路が良くない（悪い）、町内含めて自動車、自転車、歩道→車椅子（電動も）。市全体のビジョンが必要かも。
SDGsやオーガニックシティよりも優先すべき課題が数多くあると思うので、市議の皆さんや職員の皆さん

にはよく考えて頂きたいと思います。生徒数の少ない学校の統廃合や、公立幼稚園の廃止等子どもたちの教育環境についてや、高齢者の交通手段の確保や免許証返納の特典が少なすぎること、とにかく環境の保全よりも急いで取り組んでもらいたい問題がたくさんあります。どうかよろしくお願いいたします。
総論としては賛成です。
この調査アンケートしても改善できるのでしょうか？一番改善してほしいのは、水路にあみのフタなどしてほしい。佐伯市全域！！小さい子どもが落ちたので助けたことがあったのであぶないと思った。
地球温暖化で猛暑、大雨など大変なことになっています。佐伯市は自然豊かで暮しやすいです。けれど昔はエアコンがなくても平気でしたが、いまはエアコンなしでは生きられないといっても過言ではありません。いま私たちが何をしなくてはならないのかわかっているような、わかっていないような気がします。アイデア等がなくて申し訳ございません。
不平等は減らせないと思います。みんな平等はむずかしい。不平等のなかでも助け合いながら過ごせる様にするのがベストなのではないかと思います。佐伯市は特に新しいものを入れたがらない、受け入れない、出る杭は打つ。。。それでは発展はしない。受け入れ、自分達のものにしていく。出る杭は多いに出てもらう。ボランティアではなくお金を出して働いてもらう！市民でも企業でも。学生でも緑化活動など市の働き掛けに関することに学生から参加できるようにする。
何よりもまず佐伯市がこういう取り組みをしている事を初めて知った。自分が勉強不足なだけだと思っていたが、知人に聞いても知っている人間はほとんど居なかった。まずは周知に力を入れるべきではないか。正直、佐伯版 SDGsとかさいきオーガニックシティについて考えろと言われても知らないものは分からないし、アイディアを出す段階にもない。インターネットやケーブルテレビ、地上波のテレビ CM 等で「佐伯市はこういう取り組みをします」と大々的に宣伝して、そこから広く市民から意見を受け付けてはどうか。申し訳ないが今の時点では単なるポーズであると言われても仕方ないように思える。
より専門的な意見を外部の人から募り、今後に活かして欲しい。※内部の人では、見えない部分があると考える。
・流行を追いかけず、地に足のついた施策を！ ・オーガニックは、実体がなくわかりにくい
耕作放棄地が多くなり、環境面で悪影響を及ぼしつつある。地主の自覚を促したいが、それもままならず悩ましい。刈る人もいなく雑草が生い茂る。食糧難を支えた畑は
目に映る景観ばかりに視線を向けるのではなく、真に必要な企画に取り組んでもらいたい！昔から「佐伯の殿様、浦でもつ」と言われて来たが、現在はいったいどうであろう！佐伯市の行政は、浦も在もないがしろにしていると感じている！！第一次産業をないがしろにして、その町の発展はないと思う！！今こそ！第一産業の発展に傾注すべき！！先ずは市役所の中から変革してもらいたい！！
質問が多すぎる
野焼きの煙やにおいで一年をとうしてこまります。環境の事を考えればなんとかしてほしいと思います。
・高齢化で側溝の清掃ができなくなっているので、対処してほしい ・ドブ川がとても残念だ。きれいにならないものか。
ロシアと中国が考え方を変えない限り何をしてもムダ。
・ウクライナ難民の引き受けや、子ども食堂を増やすなどするべきだ。 ・不当なプレミアム券の販売はもっての他。平等性に欠けている。
・最近、”100 年に 1 度の”とか”今までにない”などの大雨が降るようになって、又、台風の時なども番匠川が決壊したりあふれたりしないかとても心配になります。番匠川に何かあった場合、佐伯市のほとんどが水害を受けることになると思うので、そのようなことにならないように充分予算を組んで対処をしてほしいです。よろしくお願いします。

・あと、土砂災害や地震災害などが（まず起きないように）起きた場合も市民の人々が安心して生活、復旧、保障が受けられるように準備をしておいてほしい。 ・側溝に水・どろがたまったりして蚊などが多い。側溝のふたを開けて掃除したいが、ふたが重くてできない。
私は高齢者であり体が少し不自由なので問 12 は特に気が付きません。もう少し協力できればと思ってますが、外出するのがむずかしく、家事労働が精一杯の生活をしていますのでよろしくおねがいします。
税金のむだ使いになるような事業はどうなのかと思う。自分の周りから変えて行こうと思う。
さいきオーガニックシティなる施策はやめて下さい。全く市民目線に立っていない。市道の維持管理等、外にすべきことがたくさんあり市民が生活しやすい環境づくりが最重要である。佐伯市のような、いなかに、オーガニックシティ、本当に意味がわかりません。
環境保全の取組をしていること自体ほとんど知りませんでした。SNS やチラシ配布など周知の方法に工夫があるといいのではないのかと思います。 佐伯に住んで 3 年目になりますが、佐伯市の川の（番匠川）きれいさなど驚かされることが多くいい環境なのでぜひ守ってほしいし、守っていきたいと思いました。 ペーパーレスといわれる時代なので、Google フォームなど QR で読みとって答えるパターンと紙と2つ用意してどちらかに回答すれば OK の形にしてくれたら嬉しいです。
一番身近で重要と思うのが、食品廃棄の件。 特に賞味期限、消費期限の近いものが売れ残っているので、近いものを買った場合何か消費者にとってプラスになるようなものがあればいいと思う。そうでなければ、売る側の方である程度管理して販売しないと食品ロスは減りそうにないと感じます。
1.公用車の更新の際に、電気自動車（軽四等）を考慮してはいかがですか。 1.併せて充電設備を市役所駐車場、公用車駐車場等に増設しては。
佐伯市の環境保全について現状がどうなっているのか全く分からないため、まずは現状がどのような状態なのかを教えてほしい。 脱炭素、ゼロカーボンといった言葉の意味をはっきりと理解していないため、どういったことなのかを広めてほしい。
河口の水深が年々浅くなり、大潮の時など水が上がってくるようになりました。市に一度伝えた所、それは県の管轄なのでと言われ、何もしてくれず。ではお聞きしたい。県の管轄であろーが市の管轄であろうが、市民が今現在困っている声をあなた達はたらいまわししてるのと一緒とお気付きでしょうか？！一市民がどこに連絡してこれを伝えるんですか？県と市、連携のとれてる貴方達の仕事ではないのでしょうか？！市が県が、どーでもいいんです。責任のなすりつけ合い、めんどうな事のおしつけ合い。市民の声は届いてますか？！正直なところ、なぜこのようなアンケートをしようと思ったのですか？！環境・エコと言うアンケートでこのように紙を無駄使いし、何を調べたいのですか？！これだけの紙、印刷でどれだけの何割のアンケートが返ってくるのですか？！こんなことしてるんではなく、一市民の困ってる声を聞いてあげて下さい。それが市民が一番求めていることなんです。河口の件もそうです。至急動いてほしいと思っております。
佐伯版SDGsを知らない。独自の Goal を設定してみても面白いかもしれない。
市役所の方々が中心となり、積極的に進めるべき。他市のとりくみをモデルにして下さい。
佐伯市の特徴である、海、山、街、すべてのカラーを大切に強く押し出せば今のままで良いと思う。特に旧市内から、城山山頂のせっかくある石垣がもう少しはっきり見える様にした方が…城下町としての価値があがるのでは？
私が子どもの時にくらべると番匠川の川辺が雑草でおいしげっているので川が残念なことになっていると思っています。何かお考えがあってのことなら仕方ありませんが堤防を歩いているとかわったなーと思います

コンパクトシティ化を推進して下さい
さいきオーガニックシティの取り組みをよく知らない。
環境保全に対してはおおいに興味がありますが 70 代ともなれば参加したら皆さんの足を引っぱるのではないか等と考えためらいが先に立ちます。体力的に無理なく高齢者でも気軽に参加しやすくして頂けたらと思います。因みに花のあるまちづくり運動には、当初から参加しています。
佐伯市は山林部が多いが利便性から中心部に人々が集中している様に思います。山林部を活かす取り組みは既にありますが観光地としても活かすと人と自然の共存がよくなると思います
ゴミ収集の場所がみんなの生活圏内にあることはとても助かるので（すぐに車でも粗大ごみの持ち込み等）も気軽に出来ている所も佐伯市に不法投棄が少ない 1 番重要な要因であると思うので、とても良いなといつも感謝しています。エコ番匠の方々の対応も親切ですばらしい。 ★再生紙の利用や、エコポイントなどもできたらよいかなと思います。（例えば、プラスチックゴミをスーパーに持ち込んだら 1 ポイントのような仕組みができると、もっとSDGsなど環境保全が生活に密接し、活動が進み活発化するのではないかなと思います。） ★子どもの授業などでも、ゴミがどのように処理されて、どう再生されるのかを学ぶ機会が増えると、よりエコに興味を持つのではと思います。 佐伯市の環境保全のこうした取り組みはとても素晴らしいと思いました。アンケートさせていただきありがとうございました。
すべてのカタカナ記入に（ ）で和文を入れてください。
すごく良い取り組みだと思うので、たくさんの市民に知ってもらえるように、情報発信をしていくことが大切だと思います。佐伯市は海、山、川があり自然豊で食べ物も美味しくてすごく魅力的な市だと思うので、自然を守りながらそのすばらしい自然と食を全国の人に知ってもらえるようになるとうれしいです。
・学校で環境保全教育時間をもうける。・廃船を撤去する。私有者の管理を確実に行う。・リサイクルエネルギーの開発、行政、市民、企業が一体となり行う。
いろいろと単語が多すぎると思います。表現も難しいし。あらゆるところで活動がされているのだと思いますが、その活動が一部の方々でしか共有されていないような気がします。特別な知識がなくても市民の誰もが参加しやすいもの、実感が得られるもの、底辺を広くした取り組みの方法を考えてほしい。1 つ思っていることがあります。核家族化を減らすことです。親世代と同居を推進すること。新築の家が次々と建っていますが、反面空き家が増えます。景観も悪くなります。親世代と同居することで、子育てしやすい環境が増えます。介護の問題も理解が増すのではないでしょうか。簡単な問題ではありませんが同居世帯には減税するなど。無駄を減らしていくことが、まず一歩だと思います。
両方共、全国の自治体全てが取り組んでいる課題であるし、これが旨くいけば、全てが順調に廻りだし、若者が故郷を離れていくことなく、過疎の問題も解決していくだろうと思うがそれだけに一筋縄でいくはずもない。あまりに大きなテーマである。当然一自治体で出来ることは限られているので、何かテーマを決めて、それに特化した事業なり構想を推進していくべきと考える。佐伯市は幸いなことにまだまだ豊かな自然と環境が充分に残っていることから、高望みをすることなく、これらを守り育てていく事が大事かと思う。企業誘致や大学誘致は今日でもかなり取りくんできているが、これらの方法では地域振興を期待するのに佐伯での現状を鑑みると不可能に近いと思う。
近くに焼却場があり、毎日大型のトラックで運び込まれていたり、時折河川で泡が出たりするのを見たと聞く、機関に依る水質検査を厳重にしてもらいたい。
国道に木がはえすぎですのできれいにしてほしい
佐伯の海や川、山これらの美しい自然を守り未来へ残すことは、そこに住む私たちの義務でもあると思います。私たちがどのように生活し、行動することが自然を守ることにつながるのか。子どもから大人まで周

知させることは重要だと思います。様々な物を造り、整備をしても自然災害が心配です。短時間に全ての物を失います。自然と共存できるような災害に強い町、大規模な都市計画を望みます。
林道の草（雑草）を刈って欲しい。林道を作っても、後の管理が全くなってない。
感想です：質問が多く特にさいごの「守るべき…改善すべき…」は記入の仕方がむずかしくわかりにくい。その他の質問も聞いたこともない専門的で一部の人しかわからない事が多かった。枚数も多く大変でした。アンケートとしてはどうかと思います。何日もかかり、やる気がおきなかったです。
ゴミ処理、分別がしっかりできるようゴミステーションを整える
自給自足の推進、ごみをなるべく出さないように今まで以上の啓もう活動。子育てと一緒で、三かけ運動「声かけ」「手間かけ」「時間かけ」で個人、企業ひとりひとりが少しでも意識するようにもちかける事でしょうか。となり近所との連携も大切な事だと思います。
・再生可能エネルギーとして、雑木の利用は考えられないか ・プラスチックをなるべく使わないようにする ・プラスチックゴミを回収してエネルギーとして使えないか ・テレビ、ラジオは 12 時までとする ・コンビニも 24 時間営業しないこと ・佐伯産品の宣伝を良くすること（地産地消）
・質問の答にはならないかもしれませんが市役所の中に設けてほしい部署があります。 常に街路樹などの下草を見回り、きれいにするなどの（年に2～3回ではきれいではない時の方が長いような気がします）・衣類をそのままリサイクルとして出せる日を作っていただければうれしいです（延岡ではやっているようです）
聞いたことがないので、もっと知られるようにした方がいいと思う。
最近の食生活の高騰による生活不安が心配される時代となって、農業の改革が必要となってきたと思われ戦中、戦後のように麦を食べ小麦を作り芋を食べて生きてきた時代を思うと今やそのカマエをして置くことが大事な時だと思われます。それは充分と空き地があり小麦などほとんどは外国産を買っている作れば充分に賄えるものをもったいないなー
それぞれの立場で努力していただくしか無いと思います。学校教育で有り、市民への啓発で有り、行政や事業所による指導
佐伯市が環境について考えている事をはじめて知りました。山川海の環境に恵まれたこの地をもっともっと観光と繋げて行ってほしいです。豊後高田の長崎鼻など素敵な取り組み佐伯も何か一人一人が協力できる取り組みをしてほしいです。自然を大切にできれば、環境も維持でき、そこへ観光に繋げば経済も上昇。あと、子ども達へも自然の中での教育ができる。私は小学校までは自然とのふれ合いが最も大切だと考えます。その中に生きる為の全てがつまっていると思うからです。その経験が社会へ出てからの知恵となり臨機応変に対応する能力へとつながる。そう考えます。本当の意味で頭の良い子を育てるなら、つめ込み学習ではなく、考える知恵の育つ教育へと変われる社会を期待します。子どもではなく一人の人間を育てる教育、一人一人時間差、成長の早さは違います。違っていいと思います。遅れていた子ほど大人になり大きく成長できるからそこを考えた教育へとなってほしい。子ども達が住みやすい佐伯となる事を楽しみにしています。
気候変動について 私の住む地域は、前は海、後ろは山、台風では波風、大雨では山からの大水、集会所は海岸の近く、津波などの高台の避難場所はありますが、建物もなく、寒さ暑さ雨等を防げません。地域的に高齢者が殆どですが、近くに指定緊急避難場所も指定避難場所もありません。他の地域にくらべて災害の施設、場所が少ないようです。今回のアンケートとは少しずれているかもしれませんが、安全、安心という保険的なものが

あってこそ安心して暮らせる毎日であり、その他の分野においても強い関心が持てるのではないでしょうか？私は今高齢の親を介護していますが、早くから避難するのも大変。急に避難するのも大変だと実感しています。
他国、他県にたよらず佐伯市独自の生き方 ・地産地消：少子化や後継者不足による荒涼とした田・畑・山が多くなっている。会社組織としてたちあげ若者の雇用場所を増やしていけば良いのでは ・自然な素材を活かした物づくり（竹・木・土・米） ・物を大事に使う：必要な物を買い、物を増やさない。個人にしろ、市もそうですが、ムダ使いをやめ生きたお金を使いたいものです。
○空き家を減らす。：他地域から若い人を呼び込み住んでもらう。 ○家の隣の畑が草が伸び放題で、近隣の人が草を刈ったら持ち主とトラブルとなる。（余計なことをしないように！！）しかし、雑草を放置されるととても迷惑である。同じような場所があるのではないか。
アンケートを記入することで、佐伯市の環境保全に対する取り組みを知り、自分自身の自然や日々の生活の中での認識を深めたり実行する良い機会になりました。個人でできるSDGsやCO_2削減への取り組みを考えて少しでも地域の環境や佐伯市の未来の為になるよう考えていこうと思います。 佐伯は今後高齢化が進み、介護人口が増えると思われます。健康寿命を伸ばし、シニアがもう少し働ける場所や使用しなくなった施設、家屋を別の形で生かせるアイデアを集め皆が住みやすい町、集まってくる町を作られたらと思います。
身近に感じる事柄でなければ目は向かない。祭りなどで目にすることで意識することはあるもののコロナ禍の現在難しい。幼少期より意識の中に根づかせていくことも大切だと感じた。
公園中の茂った雑草について一言！先日、孫を連れて行った公園は雑草がおおい茂って遊べる状態ではありませんでした。子どもが減少したせいで利用者も少なくなったせいもある・・・？しかし公園たるものいつもいかなる時も利用できなければがっかりします。ブランコ！すべり台が使える様に宜しくお願いします。
この問題とは別に新型コロナの対策をもっとしっかりやって欲しい。希望者全員に PCR 検査ができるようにして欲しい。陽性者向けの宿泊所を作ってくれたら家族感染が少しでも防げるのではなかろうかと思う。
人口もかなり減り、農業する方々も高年齢でこの先の見通しはかなり難しいと思います。おそらく畑が草でいっぱいになるでしょう困った事です。
何か1つでも実行しつづけたらいいと思います。
取組はよくわからないけど、私がもとめる事は、門司港や西大分（かんたん地区）のような整備された護岸、公園、芝、外灯などがあり、昼は学生や釣人夜はウォーキングやジョギングたまに学生がダンスの練習をやってる様な場所があったらいいなと思う
一般人である私などにはとても難しい問題だと思います。まずは個人々の考え方を変えていかないといけないと思います。子どもにかかわる仕事をしていますが、子どもやその親の年代の人意思を持ってもらいたいと思う
のら犬はいなくなった（見なくなった）が、のら猫は見かける。保護猫の CM など流しているが市としてはどのように対応しているのか。ふん害も有り、又夜中に鳴き声が響くこともある。子猫も見かけたりもして、どうしたらよいのか・・・・
・海洋汚染が心配。”浦でもつ”佐伯の歴史だが、マイクロプラスチックやつり人たちがもたらすゴミ、テグス、針 etc.流れ着いたペットボトルやビニール、プラスチックゴミ・・・とても多いと思います。年に 1～2 回のゴミひろい運動程度では到底及びません。家庭が、環境汚染を意識してどれくらい防止の努力できるか。行政による啓発を望みます。 ・また、学校教育においても”平和公害学習”他積極的に時間を設定し”総合的な学習”のメインテーマで環

境（防災を含め）取り扱っていけるよう働きかけて欲しいです。 ・休耕地が荒れ地にならないよう”借り手”を募集し、郊外型の農作業（野菜、花づくり）を推進していけたらいいですね。 ・「山」の保全は喫緊の課題ではないかと思う。番匠川水系の山のばっさいが進んでおり災害が起きやすくなっている。番匠川水系を守りたい。佐伯を洪水から救うためには必要。
空気があまりきれいではないのが心配です。こげ臭いにおいやふん尿のにおい複雑な臭気が気になります。人体に影響がなければよいのですが。汚染の状況をデータで知ることができればと思います。守るべき環境は特定なかなかできません。佐伯市は広域ですが、自然があり（空気がよければ）住みやすいのではなないかと思います。どのような所があるのかケーブル TV などで紹介してほしいです。（車がないと色々な場所に行けないので観光を含め）コロナのなか清掃や環境保全、社会福祉や医療関係の方々に感謝します。
私たちが日々の暮らしの中で出来る環境保全を知るために、情報を発信していただきたい。イラストによるわかりやすい資料で繰り返し伝えてほしい。
市民行政もそんなにしんけんに推進しているとは思えない。すごくやっている人とあまりやっていない人との差がありすぎる。
自然豊かな海の物、山の物、沢山ある佐伯、人もやさしいこの地域が続いていくためには、自然を守る、海、山を守る、そこに働く人達にもう少し手厚いサポートが必要と考えます。行政の方々の努力で佐伯の町並み、環境は守られています。どうか頑張って下さい。子ども達にこの自然を残してほしいです。
地産地消は安心、安全に生産者の顔が見える事ですばらしい取り組みだと思います。
SDGsに深くかかわらないかもしれないが、野良猫が佐伯には多い気がする。近隣の人との会話でも困る（庭にフン）話で盛り上がる。
環境の質問で、レッドデータブックが記載してありました。先日新聞で読んだのですが、河口近くに自生するはまぼうの木の事が書いてありました。うちの近くでも見かけていたのですが、防潮堤などの設置でみかけなくなりました。花のあるまちづくりもよいですが道路脇の草刈りも夏場は大変な作業です。自宅の前だけでもと思ってもとなりが空き家で草がおいしげりこう言った事も問題です。農業も行っていますが、米を耕作するだけでも購入する以上にお金がかかります。農機具の維持費などです。高齢化も進み耕作放棄地も増えています。作らなくなってしまった土地を再びもどすのは大変な事だと思います。
真の環境保全とは何か。見せかけだけの同調ではない活動とは何か。マスコミからの情報のみで動くことのあやうさ。正しい（と思われる）情報をどう受け止めるのか。
ロシア、ウクライナ紛争の影響と思われるが、日本の食材の自給率の低さには驚きます。この日本国内の事情と佐伯版SDGs、さいきオーガニックシティ創造とを農業再開発と結びつけられないでしょうか？
子育て中でも取り組める活動、こどもと取り組める仕事が当たり前な社会に憧れます。大人向け講演会等にもこども同伴できたり、子育て中（介護も）言い訳にせずハンディにせずに支え合いを肌で感じたい。自然豊かな佐伯市、例えば農業等の事業所で子連れ出勤可能なシステムや子育てや介護中にも無理なく働けて急な休みにも対応しやすい自由出勤システムがあると豊かな社会が持続するのではないかと日頃からの思いです。
アンケートの答えにはなりませんが、1 人暮らしで高齢のため環境については良くわかりませんが、自分なりに節約して生活しております。若い頃はみなさんと一緒に各種行事にも参加して活動しておりましたが、現在は参加出来ません。市民、行政、事業所のみなさんで協力して取り組んで下さいますようにお願い致します。
★指定ゴミ袋の大きさ。ハーフサイズを作って欲しい。ゴミがあまり出ないのに。ゴミ袋が大きすぎてもったいないなーと感じる。

★せっかくの街路樹や道沿いの花壇に雑草が生い茂っていることが残念に思う。 ★きれいな番匠川だが、台風や大雨で流れてきたのか川底が浅くなっていたり、川の流れが変わっていたり…。背の高い草だらけで夏の川遊びをする場所が年々少なくなっている気がします。
広い佐伯には海辺には海辺の山間には山間の文化があるがその違いを活用しきれていない。市街地に自然を持ち込むことも大事だが、今ある景観の保護に尽力してほしい。特に文化財などはその価値、存在が知られてなければ住民の減少に伴い手入れをする人もいなくなり、忘れさられてしまう。先にも書いた通り各地には今も庚申塔が点在しているし、神社や祠で地元民が寄り合いをしているところもある。そんな風にそこでしか見られない文化、風習がそれぞれの地域にたくさんある。佐伯は広いし田舎なので無闇な人口増加は見込めないが、開きなおってそうした「田舎ならでは」の部分に力を入れて活用してほしい。
質問が多すぎます。記号で答えるものにして下さい
この取組に関する知識があまりなく、又、勉強不足の為考えを書くことができません。すみません。ただ、佐伯市内は、道路が広くなり、街なみもきれいになりましたが、人口も減っているせいか、道路ぎわの草がおいしげり、空カンゴミもよく捨てられています。地区の美化デーなども人が少なく環境整備ができていません。おもに役員さんがやっているという感じです。佐伯は広いので、いろいろな地区があり、それぞれ色々な活動をしています。私も婦人会のメンバーで何かしたいと思います。その時に色々なアイデアがあり、又、続けていけるアイデアを提供していただけると助かります。
私は何より子ども達に知ってほしいです。教育こそ、私たち 1 人 1 人これらのことに意識が高まり、良い方向へと変えていく力となっていくものだと思っています。私たちは自分の体の事すら教えられてなく、何を食べても大丈夫と食に対しての関心がないのに何でオーガニックなのか。大切な事を考えていく知識が欠けた中ではなし得ていかないのではないでしょうか。うまくいかない事のひとつに私達の物事に対する意識の低さがあると思います。人は自分に関心のない事には動かない。長い目で人の意識改革を、大切な事を伝えていきながら。

２　小中学生アンケート調査結果

（１）調査概要

１）調査期間：令和４年８月（学校ごとに配布回収）

２）調査方法：小中学生アンケート調査は、市街地、山間部、海岸部に分けて調査対象を抽出した。小学生は、市街地（佐伯地区）の学校 146 人、山間部（弥生地区、直川地区）で 26 人、海岸部（米水津地区、蒲江地区）で 38 人、合計 210 人を対象に調査を行った。中学生は市街地（佐伯地区）の学校 158 人、山間部（本匠地区、宇目地区）で 14 人、海岸部（上浦地区、鶴見地区）で 22 人、合計 194 人を対象に調査を行った。基本的に出席している生徒に配布、回収したため、回収率は 100％である。

３）回答者属性

〈小学生〉

区　分			計(人)	構成比(%)
市街地	佐伯地区	渡町台小	27	12.9
		鶴岡小	27	12.9
		佐伯東小	35	16.7
		八幡小	19	9.0
		下堅田小	22	10.5
		青山小	3	1.4
		木立小	13	6.2
	小計		146	69.5
山間部	弥生地区	上野小	14	6.7
	直川地区	直川小	12	5.7
	小計		26	12..4
海岸部	米水津地区	米水津小	8	3.8
	蒲江地区	蒲江湘南小	30	14.3
	小計		38	18.1
合　計			210	100.0

〈中学生〉

区　分			計(人)	構成比(%)
市街地	佐伯地区	鶴谷中	86	44.3
		佐伯城南中	23	11.9
		彦陽中	16	8.2
		佐伯南中	33	17.0
	小計		158	81.4
山間部	本匠地区	本匠中	3	1.5
	宇目地区	宇目緑豊中	11	5.7
	小計		14	7.2
海岸部	上浦地区	東雲中	7	3.6
	鶴見地区	鶴見中	15	7.7
	小計		22	11.3
合　計			194	100.0

（2）調査結果

1）環境保全行動の実施状況

10 項目の環境保全行動の実施状況について聞いたところ、小学生では全体で６項目（前回比２項目増）について 70 パーセント以上の実施率となっている。中学生では全体の４項目（前回と同数）について 70 パーセント以上の実施率となっている。小中学生ともに実施状況が高い項目としては、「ごみのポイすてはしない」、「歯みがきのときは水を止める」などとなっている。

■ 環境保全行動の実施状況（実施率）

〈小学生〉 （%）

区　分	市街地	山間部	海岸部	計
ものを大切にしている	84.2	80.8	89.5	84.8
ごみのポイすてはしない	95.9	92.3	92.1	94.8
食べ物は残さない	51.4	53.8	50.0	51.4
買い物袋を持って行き、レジ袋を断る（または“シール”をはってもらう）	65.8	69.2	86.8	70.0
広告の裏紙を使うなど、資源を有効に使っている	52.1	57.7	65.8	55.2
見ていないテレビは消している	69.2	69.2	68.4	69.0
冷暖房は適度に調節し、なるべく使用しない	69.9	69.2	71.1	70.0
歯みがきのときは水を止める	95.2	92.3	94.7	94.8
木や花、生き物を大切にしている	80.1	88.5	78.9	81.0
まちのごみ（空きカン・空きビンなど）拾いに参加している	15.8	46.2	47.4	25.2

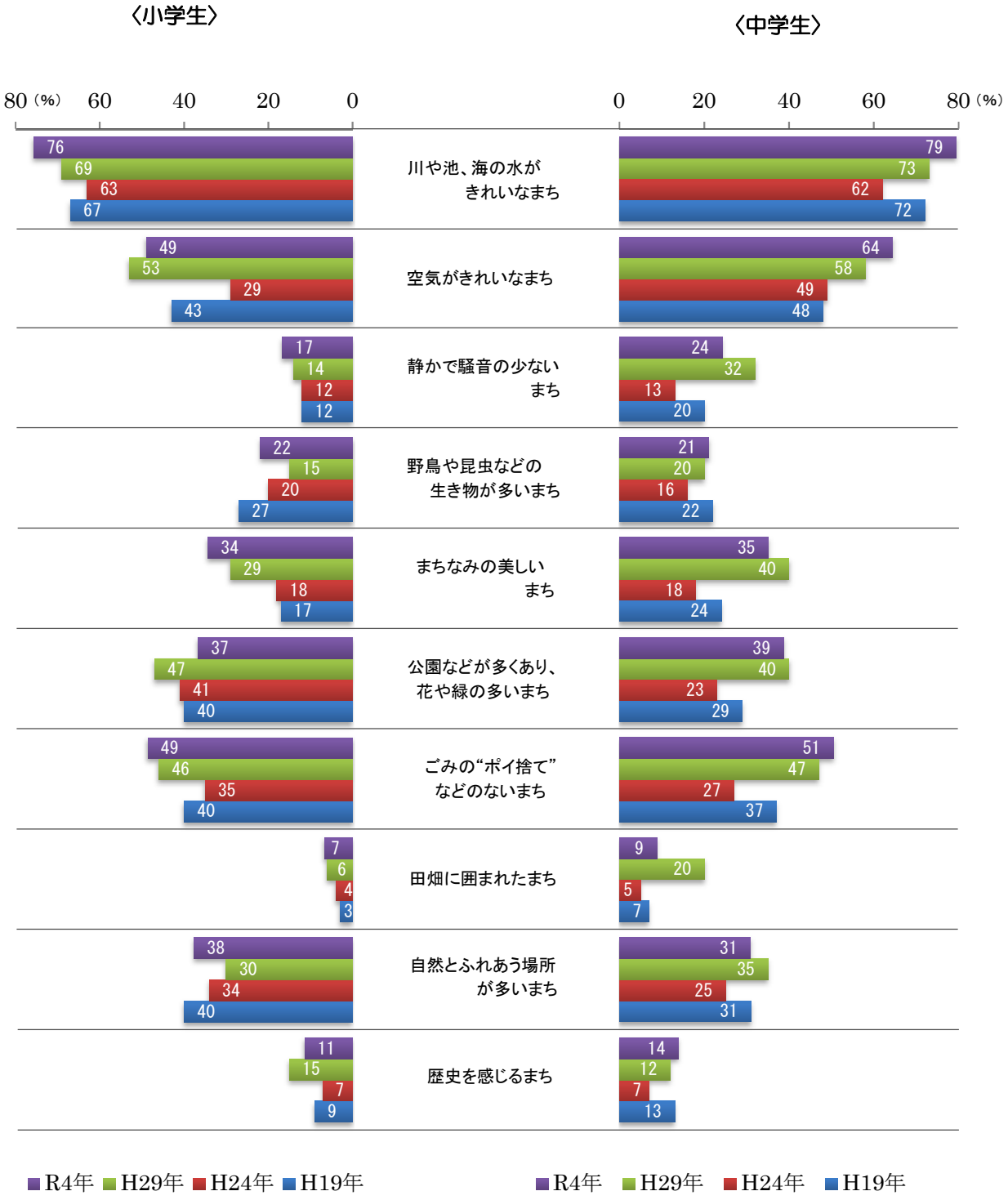
〈中学生〉 （%）

区　分	市街地	山間部	海岸部	計
ものを大切にしている	91.8	78.6	86.4	90.2
ごみのポイすてはしない	98.1	100.0	95.5	97.9
食べ物は残さない	58.2	78.6	77.3	61..9
買い物袋を持って行き、レジ袋を断る（または“シール”をはってもらう）	57.0	57.1	63.6	57.7
広告の裏紙を使うなど、資源を有効に使っている	38.6	42.9	50.0	40.2
見ていないテレビは消している	63.3	92.9	86.4	68.0
冷暖房は適度に調節し、なるべく使用しない	62.7	64.3	77.3	64.4
歯みがきのときは水を止める	93.0	92.9	100.0	93.8
木や花、生き物を大切にしている	75.3	71.4	81.8	75.8
まちのごみ（空きカン・空きビンなど）拾いに参加している	10.1	14.3	13.6	10.8

2）佐伯市の環境のあるべき姿

佐伯市の環境のあるべき姿について聞いたところ、小中学生ともに「川や池、海の水がきれいなまち」との回答が小学生 76 パーセント、中学生 79 パーセントと最も多く、次いで「空気がきれいなまち」の順となっている。

■ 佐伯市がどんなまちだったらいいと思いますか



■ 佐伯市の環境のあるべき姿（地域別）

〈小学生〉

（%）

区　分	川や池、海の水がきれいなまち	空気がきれいなまち	静かで騒音の少ないまち	野鳥や昆虫などの生き物が多いまち	まちなみの美しいまち	公園などが多くあり、花や緑の多いまち
市街地	77.4	49.3	17.8	23.3	35.6	36.3
山間部	80.8	42.3	19.2	19.2	42.3	46.2
海岸部	65.8	52.6	10.5	18.4	23.7	31.6
平　均	75.7	49.0	16.7	21.9	34.3	36.7

区　分	ごみの“ポイ捨て”などのないまち	田畑に囲まれたまち	自然とふれあう場所が多いまち	歴史を感じるまち
市街地	47.9	5.5	36.3	10.3
山間部	42.3	15.4	38.5	15.4
海岸部	55.3	5.3	42.1	13.2
平　均	48.6	6.7	37.6	11.4

〈中学生〉

（%）

区　分	川や池、海の水がきれいなまち	空気がきれいなまち	静かで騒音の少ないまち	野鳥や昆虫などの生き物が多いまち	まちなみの美しいまち	公園などが多くあり、花や緑の多いまち
市街地	77.2	63.3	21.5	19.0	34.2	34.8
山間部	85.7	78.6	50.0	21.4	57.1	50.0
海岸部	90.9	63.6	27.3	36.4	27.3	59.1
平　均	79.4	64.4	24.2	21.1	35.1	38.7

区　分	ごみの“ポイ捨て”などのないまち	田畑に囲まれたまち	自然とふれあう場所が多いまち	歴史を感じるまち
市街地	50.0	7.0	29.1	13.9
山間部	57.1	21.4	28.6	14.3
海岸部	50.0	13.6	45.5	13.6
平　均	50.5	8.8	30.9	13.9

3）身近な環境の評価

① 川・池・海のきれいさ

川・池・海のきれいさについてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、中学生ではすべての地域で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、川や池、海の水のきれいさについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 44 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 26 パーセント）を上回っているが、小中学生より大人の評価がやや厳しくなっている。

■ 川、池、海のきれいさの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	30.8	49.3	18.5	0.7
	H29 年	39.9	46.2	12.0	1.9
	H24 年	30.8	49.4	19.8	0.0
	H19 年	27.2	53.7	19.1	0.0
山間部	R4 年	65.4	30.8	3.8	0.0
	H29 年	69.2	23.0	3.9	3.9
	H24 年	41.7	50.0	4.2	4.2
	H19 年	57.4	40.4	2.1	0.0
海岸部	R4 年	36.8	52.6	10.5	0.0
	H29 年	58.8	38.2	3.0	0.0
	H24 年	52.4	31.0	16.7	0.0
	H19 年	48.6	37.8	13.5	0.0
平　均	R4 年	36.2	47.6	15.2	0.5
	H29 年	46.3	42.2	9.7	1.8
	H24 年	36.3	46.6	16.4	0.8
	H19 年	37.3	48.2	14.5	0.0

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	43.0	39.2	17.1	0.6
	H29 年	32.6	45.2	22.2	0.0
	H24 年	36.7	48.9	13.3	1.1
	H19 年	31.3	55.5	11.7	1.6
山間部	R4 年	64.3	35.7	0.0	0.0
	H29 年	59.4	34.4	6.2	0.0
	H24 年	68.3	29.3	2.4	0.0
	H19 年	61.5	26.9	9.6	1.9
海岸部	R4 年	90.9	4.5	4.5	0.0
	H29 年	50.0	28.1	21.9	0.0
	H24 年	37.2	53.5	9.3	0.0
	H19 年	16.1	52.9	31.0	0.0
平　均	R4 年	50.0	35.1	14.4	0.5
	H29 年	40.0	40.5	19.5	0
	H24 年	41.7	46.6	11.0	0.8
	H19 年	32.2	49.1	17.6	1.1

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

色がにごっている。
ときどきゴミがおちているから
川にあきかんがいっぱいあるから
いろいろ川の下がときどき悪い
他の水がとてもきたない
ごみがあるから
プラスチックやはっぽうスチロールが多い
ごみがある
川、池そうじしたほうがいい
かっぱこうえんの水
ちょっとあきかんとかがあるから
こけゴミが多い
あきかん・すいがらがあるから
ゴミなどが多いから
ゴミなどが入ってる（川）
ポイすてをする人がいるから
そうじをしないから
ゴミ等がういているから。
ゴミをよくみる
川がにごっている。
草が生えすぎている。
草が生えているから。
ゴミがながれている【他１件】
海にゴミがうかんでいるから
ゴミが入っている。海に
海の色が緑でごみがういている
ごみが流れつく
草がとてもはえている
くさやごみがまわりにある

〈中学生〉

海などにペットボトルが多いから。
海があまりきれいではない
ごみが多いから
ごみが多い
前みにいったら、すなの方にごみたくさんあったから。
にごってる
川にごみが落ちている
海ごみ

② 空気のきれいさ

空気のきれいさについてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では市街地と山間部で、中学生では山間部と海岸部で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、空気のきれいさ・においについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人割合（合計 57 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 14 パーセント）を大きく上回っているが、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

■ 空気のきれいさの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	62.3	34.9	1.4	0.7
	H29 年	61.3	36.7	0.7	1.3
	H24 年	55.8	41.9	2.3	0.0
	H19 年	58.8	34.6	6.6	0.0
山間部	R4 年	76.9	23.1	0.0	0.0
	H29 年	69.2	26.9	0.0	3.9
	H24 年	58.3	31.3	2.1	8.3
	H19 年	63.8	34.0	0	2.1
海岸部	R4 年	60.5	36.8	2.6	0.0
	H29 年	67.7	32.3	0.0	0.0
	H24 年	64.3	35.7	0.0	0.0
	H19 年	70.3	29.7	0.0	0.0
平　均	R4 年	63.8	33.8	1.4	0.5
	H29 年	63.3	34.9	0.4	1.4
	H24 年	57.6	38.9	1.9	1.5
	H19 年	61.8	33.6	4.1	0.5

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	67.7	30.4	1.3	0.6
	H29 年	69.0	27.8	2.4	0.8
	H24 年	57.8	39.4	1.1	1.7
	H19 年	51.6	45.3	0.0	3.1
山間部	R4 年	100.0	0.0	0.0	0.0
	H29 年	96.9	3.1	0.0	0.0
	H24 年	87.8	12.2	0.0	0.0
	H19 年	76.9	19.2	1.9	1.9
海岸部	R4 年	86.4	9.1	0.0	4.5
	H29 年	62.5	37.5	0.0	0.0
	H24 年	58.1	41.9	0.0	0.0
	H19 年	56.3	41.4	2.3	0.0
平　均	R4 年	72.2	25.8	1.0	1.0
	H29 年	72.6	25.2	1.6	0.6
	H24 年	62.5	35.6	0.8	1.1
	H19 年	58.1	39.0	1.1	1.9

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

家の前のらねこがいるからくさい。
ゴミをもやしてたりしている人がいる

〈中学生〉

山をみたときにちょっとくすんでいる。
へんなにおいする

③ まちの清潔さ

まちの清潔さについてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生ではすべての地域で、中学生では市街地と海岸部で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、まちなみ景観の美しさについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 33 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 28 パーセント）を上回っているが、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

■ まちの清潔さの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	36.3	53.4	6.2	3.4
	H29 年	34.2	49.4	13.3	3.1
	H24 年	29.1	59.3	11.6	0.0
	H19 年	16.9	69.1	14.0	0.0
山間部	R4 年	65.4	34.6	0.0	0.0
	H29 年	46.1	46.1	0.0	7.8
	H24 年	27.1	60.4	4.2	8.3
	H19 年	29.8	53.2	14.9	2.1
海岸部	R4 年	36.8	57.9	5.3	0.0
	H29 年	32.4	64.7	2.9	0.0
	H24 年	42.9	52.4	2.4	2.4
	H19 年	43.2	56.8	0.0	0.0
平　均	R4 年	40.0	51.9	5.2	2.4
	H29 年	35.3	51.4	10.1	3.2
	H24 年	30.9	58.4	8.8	1.9
	H19 年	24.1	63.8	11.8	0.5

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	44.3	47.5	7.6	0.6
	H29 年	35.7	52.4	11.9	0.0
	H24 年	32.2	60.6	5.6	1.7
	H19 年	23.4	64.8	10.2	1.6
山間部	R4 年	50.0	42.9	7.1	0.0
	H29 年	53.1	40.6	6.3	0.0
	H24 年	29.3	58.5	12.2	0.0
	H19 年	28.8	57.7	11.5	1.9
海岸部	R4 年	63.6	31.8	0.0	4.5
	H29 年	34.4	56.2	9.6	0.0
	H24 年	30.2	62.8	7.0	0.0
	H19 年	19.5	67.8	11.5	1.1
平　均	R4 年	46.9	45.4	6.7	1.0
	H29 年	38.4	51.1	10.5	0.0
	H24 年	31.4	60.6	6.8	1.1
	H19 年	23.2	64.4	10.9	1.5

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

いろんな所に、ゴミが落ちているから。
ゴミが道に落ちていたりするから
公えんでのゴミが多いから
ポイステされてるからきたない。
タバコのすいがらなどが落ちている
ねこやいぬのふんが多い
ごみがたくさん落ちているから。
ペットボトルがよくおちている
ごみがおちていたりする
たかいところがないから

〈中学生〉

ガムやたばこが多い
たまにポイ捨てのゴミがある
ポイ捨てがしてある
公園や道ばたに酒の空きカンが落ちていたりするから。
タバコのポイ捨て
ごみがたくさん落ちているから
たまによく分からないゴミが落ちている
ごみがおちている【他１件】
たまにゴミが落ちている
ポイすてなどがあるから
ごみが多い
きれいだけど、くさい
場所がない

④ 風景の美しさ

風景の美しさについてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では山間部で、中学生ではすべての地域で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、自然景観、農村景観の美しさについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 42 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 19 パーセント）を上回っているが、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

■ 風景の美しさの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	58.9	34.2	3.4	2.7
	H29 年	62.7	32.2	3.2	1.9
	H24 年	58.1	39.5	2.3	0.0
	H19 年	64.0	33.8	1.5	0.7
山間部	R4 年	73.1	26.9	0.0	0.0
	H29 年	46.1	46.1	3.9	3.9
	H24 年	56.3	33.3	2.1	8.3
	H19 年	66.0	27.7	0.0	6.4
海岸部	R4 年	73.7	23.7	2.6	0.0
	H29 年	79.4	20.6	0.0	0.0
	H24 年	76.2	21.4	0.0	2.4
	H19 年	81.1	16.2	0.0	2.7
平　均	R4 年	63.3	31.4	2.9	1.9
	H29 年	63.3	32.1	2.8	1.8
	H24 年	60.7	35.5	1.9	1.9
	H19 年	67.3	29.5	0.9	2.3

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	66.5	31.0	1.9	0.6
	H29 年	53.2	42.0	4.0	0.8
	H24 年	59.4	38.9	0.6	1.1
	H19 年	48.4	48.4	1.6	1.6
山間部	R4 年	92.9	7.1	0.0	0.0
	H29 年	65.6	28.1	6.3	0.0
	H24 年	61.0	34.1	4.9	0.0
	H19 年	71.2	26.9	0.0	1.9
海岸部	R4 年	86.4	9.1	0.0	4.5
	H29 年	75.0	25.0	0.0	0.0
	H24 年	79.1	20.9	0.0	0.0
	H19 年	57.5	37.9	3.4	1.1
平　均	R4 年	70.6	26.8	1.5	1.0
	H29 年	58.9	36.8	3.7	0.6
	H24 年	62.9	35.2	1.1	0.8
	H19 年	55.8	40.8	1.9	1.5

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

せまい
風景がある場所が少ない
家やアパートが多いから山などがみえない。
ビルがない　いなかすきる
ゴミが多い。
ぽいすてが多い

〈中学生〉

たてものが少ない
所どころ、山はげてる
山しかない

⑤ 緑とのふれあいの多さ

緑とのふれあいの多さについてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生ともにすべての地域で「多い」と回答した人が、「少ない」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では山間部で、中学生では市街地と海岸部で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、緑（樹木、草花）とのふれあいについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 43 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 20 パーセント）を上回っているが、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

■ 緑とのふれあいの多さの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	67.8	26.7	2.7	2.7
	H29 年	72.1	24.7	1.9	1.3
	H24 年	61.6	37.2	1.2	0.0
	H19 年	69.1	27.2	3.7	0.0
山間部	R4 年	92.3	3.8	3.8	0.0
	H29 年	84.6	11.5	0.0	3.9
	H24 年	56.3	33.3	2.1	8.3
	H19 年	80.9	17.0	0.0	2.1
海岸部	R4 年	76.3	23.7	0.0	0.0
	H29 年	76.5	23.5	0.0	0.0
	H24 年	76.2	21.4	0.0	2.4
	H19 年	70.3	29.7	0.0	0.0
平　均	R4 年	72.4	23.3	2.4	1.9
	H29 年	74.3	22.9	1.4	1.4
	H24 年	63.0	34.0	1.1	1.9
	H19 年	71.8	25.5	2.3	0.5

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	84.8	14.6	0.0	0.6
	H29 年	69.0	28.6	1.6	0.8
	H24 年	58.3	39.4	1.1	1.1
	H19 年	57.8	40.6	0.0	1.6
山間部	R4 年	85.7	14.3	0.0	0.0
	H29 年	96.9	3.1	0.0	0.0
	H24 年	80.5	19.5	0.0	0.0
	H19 年	76.9	21.2	0.0	1.9
海岸部	R4 年	90.9	4.5	0.0	4.5
	H29 年	75.0	21.9	3.1	0.0
	H24 年	74.4	25.6	0.0	0.0
	H19 年	59.8	36.8	3.4	0.0
平　均	R4 年	85.6	13.4	0.0	1.0
	H29 年	74.7	23.1	1.6	0.6
	H24 年	64.4	34.1	0.8	0.8
	H19 年	62.2	35.6	1.1	1.1

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

家ばっかり
周りに緑があまり無いから
家が多いから
公園がない

⑥ 公園の多さ

公園の多さについてどう感じているか聞いたところ、小学生ではすべての地域で、中学生では山間部と海岸部で「少ない」と回答した人が「多い」と回答した人の割合を上回っている。また、中学生の市街地で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、公園や野外レクリエーション地の充実について満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 26 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 27 パーセント）を若干下回っていて、小中学生との評価の違いがみられる。

■ 公園の多さの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	19.2	50.0	28.1	2.1
	H29 年	20.9	50.0	27.8	1.3
	H24 年	24.4	48.8	26.7	0.0
	H19 年	19.9	55.9	24.3	0.0
山間部	R4 年	7.7	50.0	38.5	3.8
	H29 年	26.9	50.0	19.2	3.9
	H24 年	10.4	64.6	16.7	8.3
	H19 年	21.3	61.7	14.9	2.1
海岸部	R4 年	2.6	65.8	31.6	0.0
	H29 年	17.7	47.0	35.3	0.0
	H24 年	26.2	50.0	19.0	4.8
	H19 年	5.4	40.5	54.1	0.0
平　均	R4 年	14.8	52.9	30.0	1.9
	H29 年	21.1	49.5	28.0	1.4
	H24 年	22.1	51.9	23.7	2.3
	H19 年	17.7	54.5	27.3	0.5

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	43.0	44.3	12.0	0.6
	H29 年	30.2	46.0	23.8	0.0
	H24 年	32.2	55.6	11.1	1.1
	H19 年	25.8	60.9	11.7	1.6
山間部	R4 年	7.1	64.3	28.6	0.0
	H29 年	9.4	50.0	40.6	0.0
	H24 年	9.8	65.9	24.4	0.0
	H19 年	1.9	55.8	40.4	1.9
海岸部	R4 年	9.1	59.1	27.3	4.5
	H29 年	15.6	62.5	21.9	0.0
	H24 年	11.6	76.7	11.6	0.0
	H19 年	10.3	70.1	19.5	0.0
平　均	R4 年	36.6	47.4	14.9	1.0
	H29 年	24.2	49.5	26.3	0.0
	H24 年	25.4	60.6	13.3	0.8
	H19 年	16.1	62.9	19.9	1.1

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

ない　公園がありません
ない【他１件】
全部こわされたから
公えんがないから
一つしかない
広いけど少ない
まわりに公園を作る土地がないから
公園が少ないし、遊具が少ない
まわりにあまり公園が少ない
家の近くの公園が１つしかない
1 つもない
あまりないから
虫がすくなくなりそうだから
家のまわりに公園がないから
近くにないから
家の近くに公園があるから
ゆうぐがない
家の周りが家ばっかり
公園の数も少ないし、ゆうぐの数も少ないから。
ないから車で 5 分くらいの公園じゃないと遊べない
遊ぼうと思ったら運動公園しかないです。
学校でしか遊べないから。
公園が 2 つぐらいしかないから
ないから。
1 つしかない、遠い。
公園がない。【他４件】
ちょっとすくない
場所がない
公園が近くにないから
近くに公園がない【他２件】
公園（遊ぶ場所）がない【他１件】
公園が近くにない
4 つくらいしかない
一つしかない
1 ちくに 1 かしょぐらいしかないから
1 つしかないから
遊具などが公園に少ないから。
つくる場所がない。
自然の方がいいと思うから

そんなに公園がないから
2 つ 3 つほどしかない。
1 こも公園がないから
こうえんがすくなくてとおくにある。
公えんはここかにないから。
がっこうくらいしかなくて悲しいので
つくれる所がないと思うから
あまり公園がない
たてられてない

〈中学生〉

家の周りに公園が少ない
かぞえるくらいしかない
ゆうぐがなくなっている
公園が全くない
あんまり近くにないから。
少ないから。【他１件】
近所にない
本当すくない
１個しかない
一部にまとまっているから
一部に集中しているから
周辺にないから。
近くに公園が２つしかないから。
公園は少ないと思うから。
公園少ないから
近所に公園がない
ないから【他１件】
なにもない
公園少ない
子どもが少ない
少ない
お金がない
近くに公園がないから

⑦ 水や水辺とのふれあいの多さ

水や水辺とのふれあいについてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生すべての地域で「多い」と回答した人が、「少ない」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では山間部で、中学生では市街地と海岸部で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、水や水辺とのふれあいについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 33 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合を（合計 19 パーセント）を上回っているが、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

■ 水や水辺とのふれあいの多さの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	43.2	47.3	4.8	4.1
	H29 年	43.7	43.1	10.1	3.1
	H24 年	40.7	56.4	2.3	0.6
	H19 年	40.4	51.5	7.4	0.7
山間部	R4 年	65.4	34.6	0.0	0.0
	H29 年	46.1	50.0	0.0	3.9
	H24 年	31.3	58.3	0.0	10.4
	H19 年	59.6	34.0	2.1	4.3
海岸部	R4 年	52.6	47.4	0.0	0.0
	H29 年	55.9	38.2	0.0	5.9
	H24 年	59.5	35.7	2.4	2.4
	H19 年	43.2	51.4	5.4	0.0
平　均	R4 年	47.6	45.7	3.3	2.9
	H29 年	45.9	43.1	7.3	3.7
	H24 年	42.0	53.4	1.9	2.7
	H19 年	45.0	47.7	5.9	1.4

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	58.2	39.9	0.6	1.3
	H29 年	39.7	56.3	4.0	0.0
	H24 年	34.4	60.6	3.3	1.7
	H19 年	38.3	53.9	4.7	3.1
山間部	R4 年	50.0	50.0	0.0	0.0
	H29 年	50.0	46.9	3.1	0.0
	H24 年	53.7	46.3	0.0	0.0
	H19 年	50.0	42.3	3.8	3.8
海岸部	R4 年	81.8	13.6	0.0	4.5
	H29 年	62.5	34.4	0.0	3.1
	H24 年	53.5	46.5	0.0	0.0
	H19 年	43.7	52.9	3.4	0.0
平　均	R4 年	60.3	37.6	0.5	1.5
	H29 年	45.2	51.0	3.2	0.6
	H24 年	40.5	56.1	2.3	1.1
	H19 年	42.3	51.3	4.1	2.2

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

少ない
佐伯には水とふれあえない。（場所がない）
川しかない
川とか海があまりないから
あまりない
川や海とかにあまり行かないから

〈中学生〉

まわりに水がない

⑧ 歴史的な感じ（ふんい気）

歴史的な感じ（ふんい気）についてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生すべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では市街地と山間部で、中学生ではすべての地域で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、歴史や伝統に関するまちの雰囲気について満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 30 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 16 パーセント）を上回っているが、小中学生より大人の評価がやや厳しくなっている。

■ 歴史的な感じ（ふんい気）の評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	26.7	65.1	5.5	2.1
	H29 年	24.7	63.9	10.1	1.3
	H24 年	30.8	57.0	11.0	1.2
	H19 年	19.9	71.3	8.1	0.7
山間部	R4 年	34.6	61.5	3.8	0.0
	H29 年	23.1	73.0	0.0	3.9
	H24 年	16.7	68.8	6.3	8.3
	H19 年	34.0	61.7	0.0	4.3
海岸部	R4 年	18.4	81.6	0.0	0.0
	H29 年	47.1	47.1	2.9	2.9
	H24 年	35.7	59.5	0.0	4.8
	H19 年	18.9	73.0	8.1	0.0
平　均	R4 年	26.2	67.6	4.3	1.4
	H29 年	28.0	62.4	7.8	1.8
	H24 年	29.0	59.5	8.4	3.1
	H19 年	22.7	69.5	6.4	1.4

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	43.7	51.9	3.8	0.6
	H29 年	28.6	66.6	4.8	0.0
	H24 年	26.7	65.6	6.7	1.1
	H19 年	24.2	68.0	6.3	1.6
山間部	R4 年	28.6	64.3	7.1	0.0
	H29 年	6.3	87.5	6.2	0.0
	H24 年	24.4	73.2	2.4	0.0
	H19 年	11.5	75.0	11.5	1.9
海岸部	R4 年	45.5	27.3	22.7	4.5
	H29 年	21.9	71.9	6.2	0.0
	H24 年	11.6	74.4	11.6	2.3
	H19 年	12.6	81.6	4.6	1.1
平　均	R4 年	42.8	50.0	6.2	1.0
	H29 年	23.7	71.0	5.3	0.0
	H24 年	23.9	68.2	6.8	1.1
	H19 年	18.0	73.8	6.7	1.5

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

昔ながらの家とか、店とか、町なみとかがまったくないから。（それはそれで・・・）
れきし的ではあまりないから
こわれそうでいやだ
歴史的な感じを作ろうとしていないから。
そんなになかったから

〈中学生〉

家しかない
歴史的な建物は少ないから
歴史で特に印象に残る物などがないから。
ない
よくわからない
ふんい気を感じたことがないから。
新しい家があるから。
あまりないかんばんなど立っていない。
ないから
れきしてきなのがない
思いつかない
近代的

⑨ 生き物とのふれあいの多さ

生き物とのふれあいの多さについてどう感じているか聞いたところ、前回と同様に小中学生すべての地域で「多い」と回答した人が、「少ない」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では山間部と海岸部で、中学生では市街地と海岸部で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、野鳥や昆虫とのふれあいについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計 33 パーセント）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計 14 パーセント）を上回っているが、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

■ 生き物とのふれあいの多さの評価

〈小学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	49.3	44.5	3.4	2.1
	H29 年	56.3	39.2	0.7	3.8
	H24 年	53.5	41.9	4.7	0.0
	H19 年	66.2	29.4	4.4	0.0
山間部	R4 年	69.2	30.8	0.0	0.0
	H29 年	42.3	53.8	0.0	3.9
	H24 年	43.8	47.9	0.0	8.3
	H19 年	70.2	25.5	0.0	4.3
海岸部	R4 年	60.5	39.5	0.0	0.0
	H29 年	58.9	35.3	2.9	2.9
	H24 年	57.1	35.7	0.0	7.1
	H19 年	62.2	35.1	0.0	2.7
平　均	R4 年	53.8	41.9	2.4	1.4
	H29 年	55.0	40.4	2.8	1.8
	H24 年	52.3	42.0	3.1	2.7
	H19 年	66.4	29.5	2.7	1.4

〈中学生〉 （%）

区　分		良い（多い）	どちらともいえない	悪い（少ない）	無回答
市街地	R4 年	54.4	43.7	1.3	0.6
	H29 年	42.1	54.8	3.1	0.0
	H24 年	37.2	58.3	3.3	1.1
	H19 年	34.4	58.6	4.7	2.3
山間部	R4 年	57.1	35.7	7.1	0.0
	H29 年	59.4	40.6	0.0	0.0
	H24 年	46.3	53.7	0.0	0.0
	H19 年	46.2	48.1	3.8	1.9
海岸部	R4 年	68.2	27.3	0.0	4.5
	H29 年	40.6	56.3	3.1	0.0
	H24 年	32.6	58.1	7.0	2.3
	H19 年	42.5	55.2	2.3	0.0
平　均	R4 年	56.2	41.2	1.5	1.0
	H29 年	44.8	52.6	2.6	0.0
	H24 年	37.9	57.6	3.4	1.1
	H19 年	39.3	55.4	3.7	1.5

■ 悪い（少ない）と回答した理由

〈小学生〉

虫きもいから
生き物があまりいない
動物園がないから

〈中学生〉

前、住んでいた所とは少ないから。
そもそもペット以外無理
周にいないから。

４）環境に関する言葉の認知度

環境に関する言葉の認知度で、知っていると回答した割合が高かったものとしては、小学生では「リサイクル」、「下水道」、「地球の温暖化」の順となっている。中学生では「リサイクル」、「地球の温暖化」、「再生可能エネルギー」の順となっている。認知度の低い言葉としては「レッドデータブック」、「ゼロカーボン」が、小中学生ともに低くなっている。

■ 環境に関することばの認知度

〈小学生〉 （%）

区　分	R4年				H29 年			
	市街地	山間部	海岸部	計	市街地	山間部	海岸部	計
再生可能エネルギー	42.5	61.5	57.9	47.6	72.8	57.7	73.5	72.0
リサイクル	95.2	100.0	100.0	96.7	96.8	88.5	100.0	97.7
エコマーク、グリーンマーク	56.8	53.8	68.4	58.6	73.4	50.0	58.8	69.3
レッドデータブック	2.7	19.2	13.2	6.7	8.2	7.7	8.8	8.3
酸性雨	16.4	38.5	18.4	19.5	28.5	15.4	20.6	25.7
下水道	87.7	92.3	97.4	90.0	94.3	69.2	79.4	89.9
ダイオキシン	9.6	26.9	21.1	13.8	10.1	0.0	11.8	9.2
地球の温暖化	87.7	84.6	92.1	88.1	79.8	46.2	76.5	75.7
太陽光発電	69.9	84.6	84.2	74.3	93.0	80.8	85.3	91.7
脱炭素	17.8	30.8	34.2	22.4	－	－	－	－
ゼロカーボン	5.5	23.1	13.2	9.0	－	－	－	－
持続可能な開発目標（SDGs）	52.7	61.5	57.9	54.8	－	－	－	－

〈小学生〉 （%）

区　分	H24 年				H19 年			
	市街地	山間部	海岸部	計	市街地	山間部	海岸部	計
再生可能エネルギー	86.0	81.3	88.1	85.5	65.4	72.3	54.1	65.0
リサイクル	98.8	87.5	85.7	94.7	97.8	100.0	97.3	98.2
エコマーク、グリーンマーク	87.8	68.8	81.0	83.2	91.9	93.6	91.9	92.3
レッドデータブック	8.1	6.3	11.9	8.4	5.1	0.0	2.7	3.6
酸性雨	20.9	8.3	21.4	18.7	33.8	19.1	27.0	29.5
下水道	91.3	77.1	83.3	87.4	94.1	97.9	89.2	94.1
ダイオキシン	29.1	18.8	21.4	26.0	58.8	44.7	37.8	52.3
地球の温暖化	92.4	81.3	88.1	89.7	91.2	93.6	89.2	91.4
太陽光発電	97.1	87.5	88.1	93.9	88.2	89.4	81.1	87.3
脱炭素	－	－	－	－	－	－	－	－
ゼロカーボン	－	－	－	－	－	－	－	－
持続可能な開発目標（SDGs）	－	－	－	－	－	－	－	－

〈中学生〉 （%）

区　分	R4年				H29 年			
	市街地	山間部	海岸部	計	市街地	山間部	海岸部	計
再生可能エネルギー	94.9	100.0	100.0	95.9	94.4	96.9	100.0	95.8
リサイクル	99.4	100.0	100.0	99.5	97.6	100.0	100.0	98.4
エコマーク、グリーンマーク	79.7	85.7	90.9	81.4	90.5	96.9	96..9	92.6
レッドデータブック	7.6	0.0	0.0	6.2	4.8	9.4	6.3	5.8
酸性雨	66.5	78.6	72.7	68.0	76.2	93.8	59.4	76.3
下水道	93.0	92.9	86.4	92.3	94.4	93.8	96.9	94.7
ダイオキシン	17.7	28.6	13.6	18.0	44.4	78.1	43.8	50.0
地球の温暖化	98.1	100.0	90.9	97.4	99.2	96.9	100.0	99.0
太陽光発電	92.4	100.0	90.9	92.8	94.4	100.0	100.0	96.3
脱炭素	35.4	57.1	27.3	36.1	－	－	－	－
ゼロカーボン	14.6	14.3	9.1	13.9	－	－	－	－
持続可能な開発目標（SDGs）	91.8	100.0	86.4	91.8	－	－	－	－

〈中学生〉 （%）

区　分	H24 年				H19 年			
	市街地	山間部	海岸部	計	市街地	山間部	海岸部	計
再生可能エネルギー	90.6	100.0	93.0	92.4	80.5	88.5	79.3	81.6
リサイクル	93.3	100.0	95.3	94.7	96.1	98.1	89.7	94.4
エコマーク、グリーンマーク	87.2	87.8	97.7	89.0	86.7	94.2	79.3	85.8
レッドデータブック	8.9	12.2	4.7	8.7	7.8	15.4	4.6	8.2
酸性雨	74.4	90.2	74.4	76.9	80.5	92.3	75.9	81.3
下水道	85.6	97.6	90.7	88.3	86.7	94.2	83.9	87.3
ダイオキシン	79.4	95.1	69.8	80.3	88.3	96.2	85.1	88.8
地球の温暖化	91.1	95.1	95.3	92.4	93.8	94.2	88.5	92.1
太陽光発電	89.4	97.6	93.0	91.3	82.8	80.8	80.5	81.6
脱炭素	－	－	－	－	－	－	－	－
ゼロカーボン	－	－	－	－	－	－	－	－
持続可能な開発目標（SDGs）	－	－	－	－	－	－	－	－

５）自由意見

① 大人にやめて欲しい環境に悪いこと

〈小学生〉

主な意見(概要)	意見件数
ゴミ、タバコ、ペットボトルのポイ捨てをやめてほしい	107
川や海にゴミを捨てないでほしい	20
車で大きな音をだすのをやめてほしい	7
草をちゃんと刈ってほしい	5
交通ルールを守ってほしい、飲酒運転をしないでほしい	4
人がたくさんいるときにタバコをすわないでほしい	3
道につばやガムをはくのをやめてほしい	3
電気をつけっぱなしにしないでほしい	3
ゴミを燃やさないでほしい	2
木を切らないでほしい	2
ガソリンから電気自動車（エコカー）にかえる	2
立ちしょんをやめてほしい	2
レジぶくろを何まいもとらないでほしい	1
ゴミぶくろを大切にしてほしい	1
あるきスマホをやめてほしい	1
よっぱらいをしないでほしい	1
犬のさんぽをしているとき犬がうんちをしたら拾ってほしい	1
あいさつをかえしてくれない　朝から大声でうたわないでほしい	1

〈中学生〉

主な意見(概要)	意見件数
ゴミ、タバコ、ペットボトルのポイ捨てをやめてほしい	124
タバコは人がいない所で吸ってほしい	19
川や海にゴミを捨てないでほしい	9
かんだガムを道に捨てないでほしい	5
バイクの音がうるさい。車で大音量を出さないでほしい	4
交通ルールを守ってほしい。飲酒運転をしないでほしい	2
紙つかわずデジタル化してほしい	2
立ちしょんをやめてほしい	2
火力発電・原子力発電	1
あいさつをする人が少ない	1

② 佐伯市の環境を守るためにあなたができること

〈小学生〉

区　分	主な意見(概要)	意見件数
ごみ問題・環境美化	ごみを拾う・ごみ箱に捨てる	23
	ごみのポイ捨てをしない・	13
	レジ袋をもらわずに、買い物袋を持っていく。	7
	ごみの分別、リサイクルをする	5
	町をきれいにする	3
	地域、学校のクリーン活動（ボランティア活動）に参加する	2
	佐伯市が一番きれいな町になるよう、清掃活動をしたい	1
	ポイ捨てをしないように呼び掛ける（注意）	1
自然	食べ残しをしない	6
	電気、水、物を節約する・大切にする	5
	植物を大切にする	2
	自然を大切にする	1

〈中学生〉

区　分	主な意見(概要)	意見件数
ごみ問題・環境美化	ごみのポイ捨てをしない・	29
	ごみを拾う・ごみ箱に捨てる	18
	レジ袋をもらわずに、買い物袋を持っていく。	12
	地域、学校のクリーン活動（ボランティア活動）に参加する	12
	ごみの分別、リサイクルをする	7
自然	電気、水、物を節約する・大切にする	7
	食べ残しをしない	2
	植物を大切にする	1

③ 佐伯市の環境を守るために市役所にお願いしたいこと

〈小学生〉

区　分	主な意見(概要)	意見件数
ごみ問題・環境美化	ごみを捨てないよう呼び掛けてほしい	4
	ポイ捨て・ごみ捨て禁止のポスター、看板を作ってほしい・設置してほしい	3
	いろいろな所にごみ箱を設置してほしい	2
	ポイ捨てをやめさせてほしい	2
公園・自然	公園を作ってほしい・噴水がある公園を作ってほしい・遊具を増やしてほしい	28
	海・川・池をきれいにしてほしい	7
	自然を増やしてほしい	3
	雑草の手入れをしてほしい	1
その他	遊園地・ショッピングモール等を増やしてほしい	6
	電車やバスを増やしてほしい	2

〈中学生〉

区　分	主な意見(概要)	意見件数
ごみ問題・環境美化	いろいろな所にごみ箱を設置してほしい	10
	環境問題に関する講演会等をしてほしい	2
	ポイ捨て・ごみ捨て禁止のポスター、看板を作ってほしい・設置してほしい	1
	喫煙スペースを設置する	1
公園・自然	公園を作ってほしい	4
	海・川・池をきれいにしてほしい	4
	雑草の手入れをしてほしい	4
	水辺を増やしてほしい	1
	花や木を大切にすること	1
	公園や川に柵をつけてほしい	1
その他	ボランティアへの参加の呼びかけ、活動を行ってほしい	4
	動物と触れ合える場所がほしい	1
	イベントを増やしてほしい	2
	もっとインターネットを活用してほしい	1
	防災対策をしてほしい	1

３　高校生アンケート調査結果

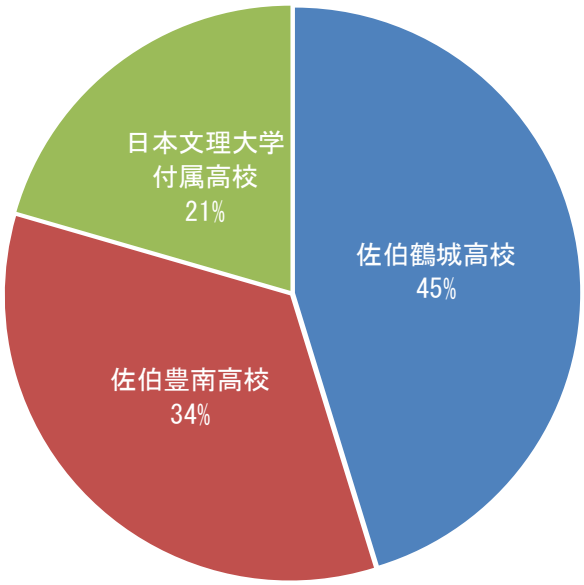
（１）調査概要

１）調査期間：令和４年８月 22 日～９月７日（学校ごとに配布回収）

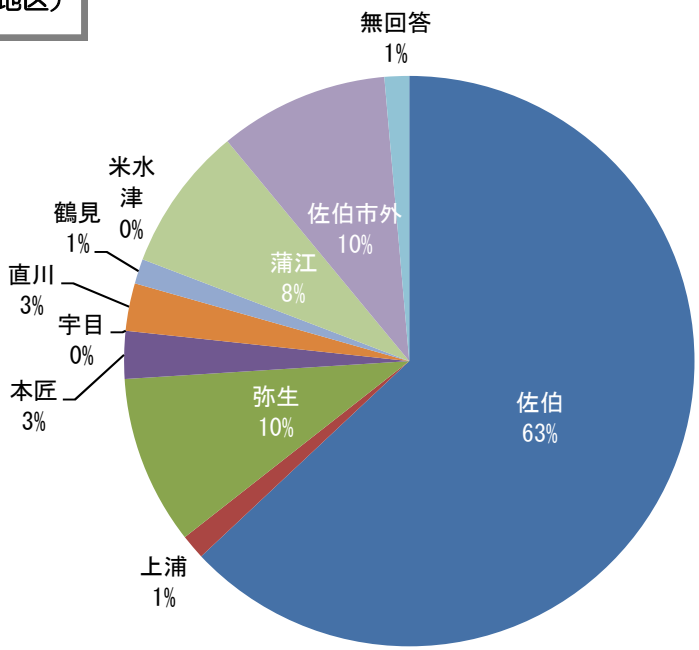
２）調査方法：佐伯市内の高校３校（県立２校、私立１校）すべて、各学校１クラスを対象に調査を行った。基本的に出席している生徒に配布、回収したため回収率は 100%（計 73 人）である。

（２）回答者の属性

学校名



住まい（地区）



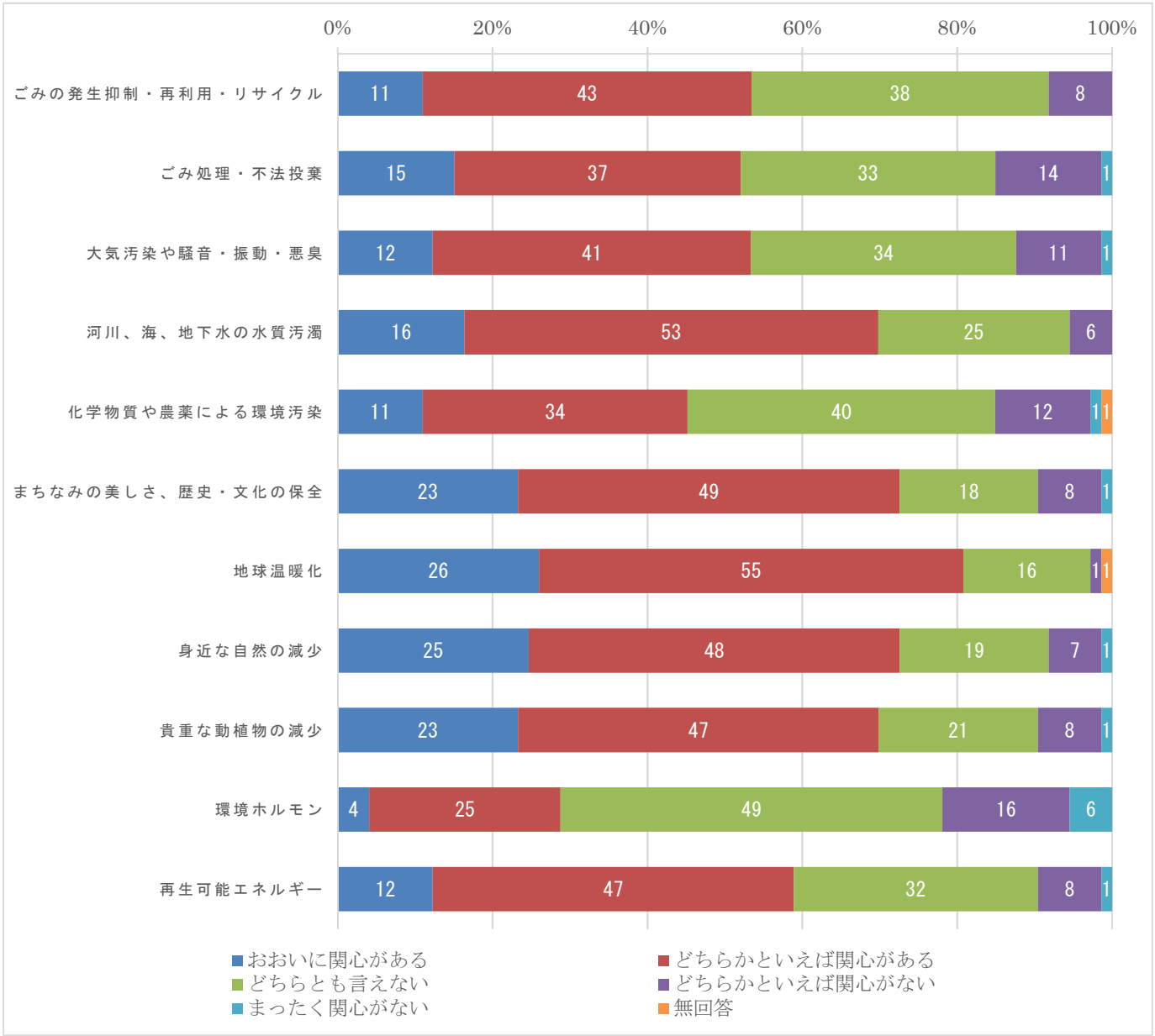
（3）調査結果

1）環境問題への関心

11 項目の環境問題について関心の度合いについて聞いたところ、11 項目全てについて「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が、「どちらかと言えば関心がない」又は「全く関心がない」と回答した人の割合を上回っている。

また、「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が 60 パーセント以上となっている項目は、11 項目の内、５項目であった。（H29 年６項目・H24 年６項目・H19 年８項目）

■ 環境に関することがらについての関心度

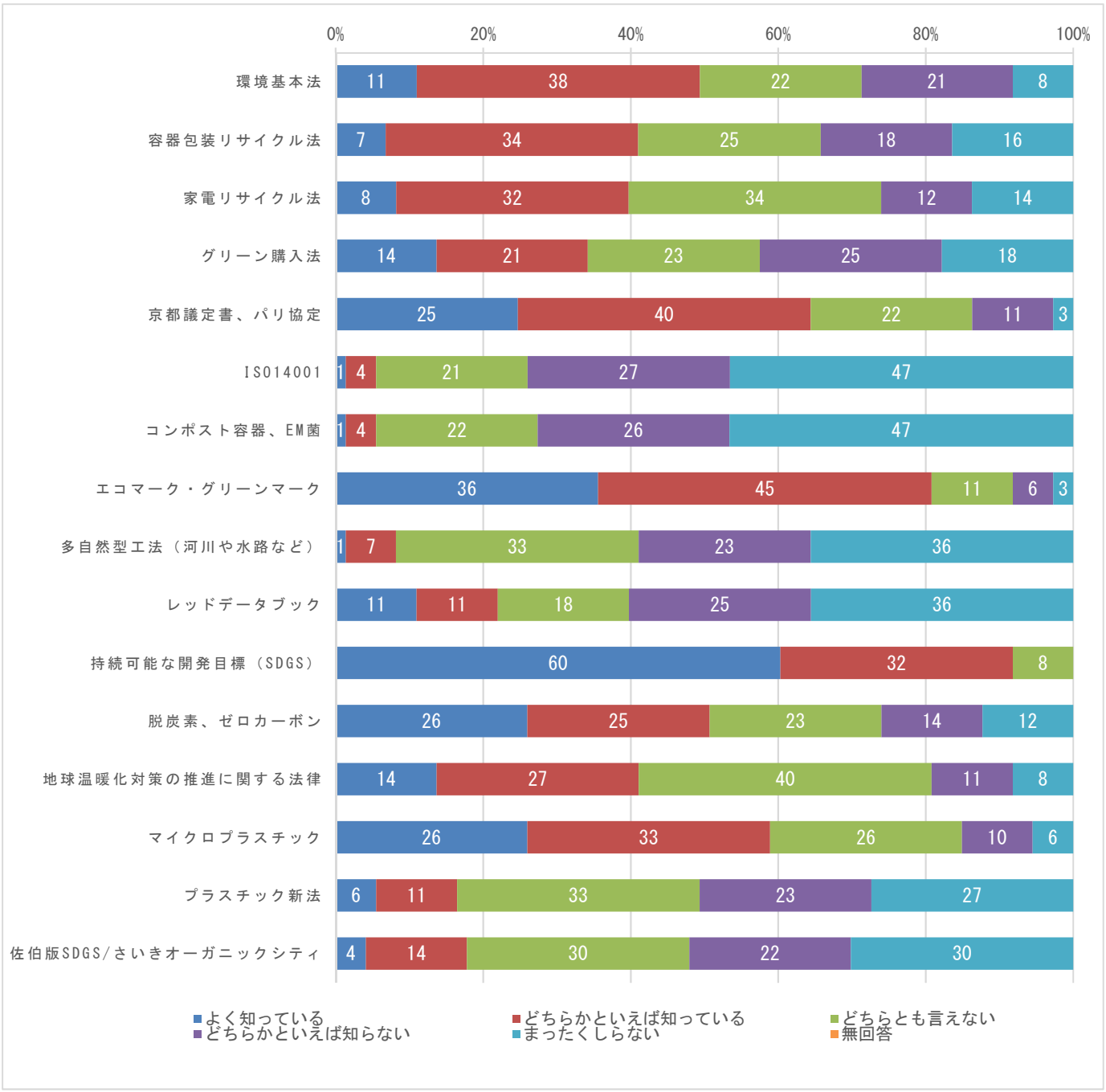


2）環境用語の認知度

16 項目の環境に関する用語について認知度を聞いたところ、９項目について「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人の割合が、「どちらかといえば知らない」又は「まったく知らない」と回答した人の割合を上回っている。

また、「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人の割合が高い項目としては、「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」、「エコマーク・グリーンマーク」、「京都議定書、パリ協定」の順となっている。

■ 環境用語についての認知度



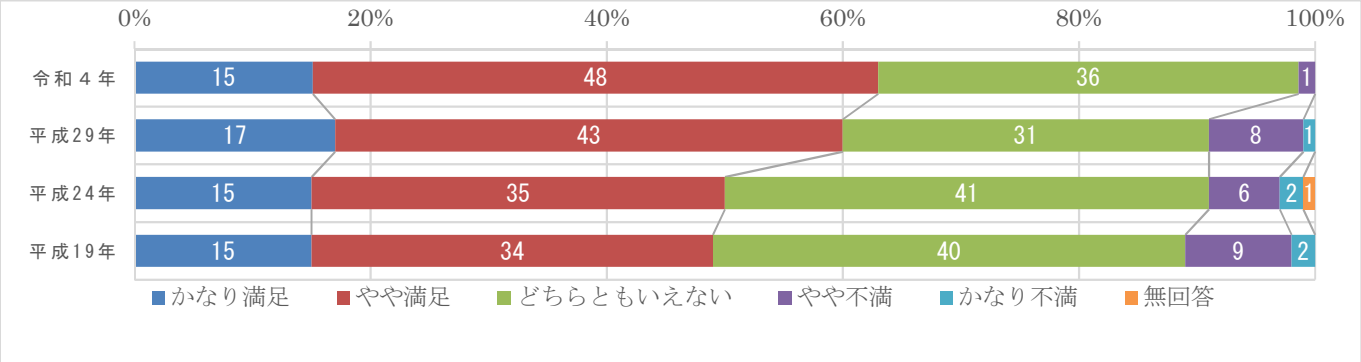
３）身近な環境の満足度

（%）

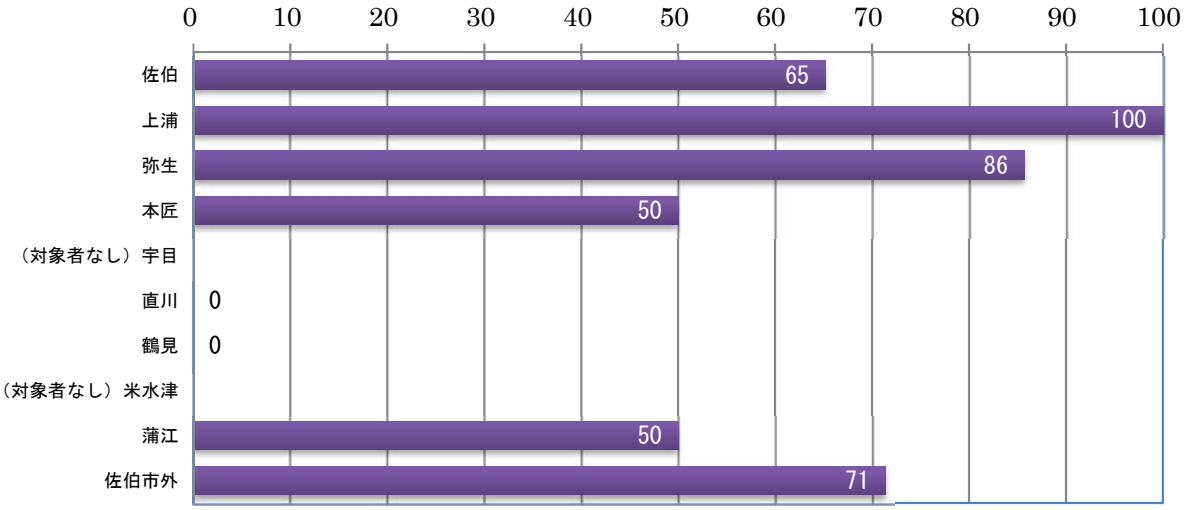
① 自然景観、農村景観の美しさ

自然景観、農村景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 63 パーセント（前回比３ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計１パーセント（前回比８ポイント減）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」が最も高く、次いで「弥生」、「佐伯市外」の順となっている。

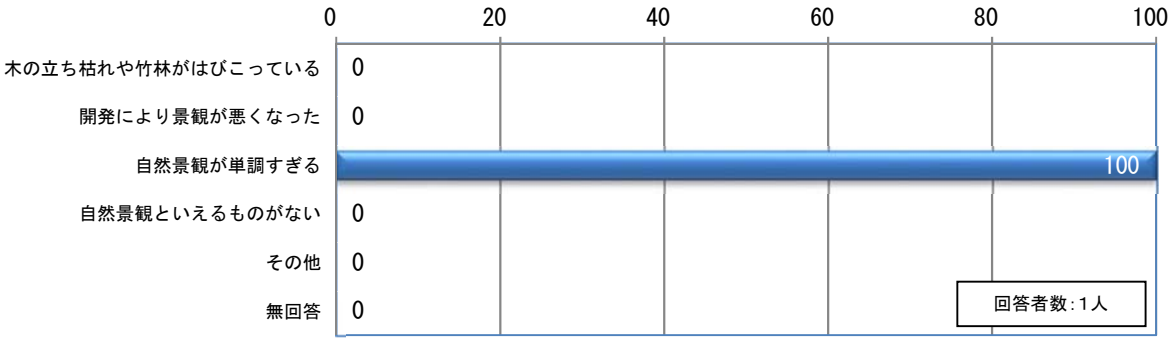
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



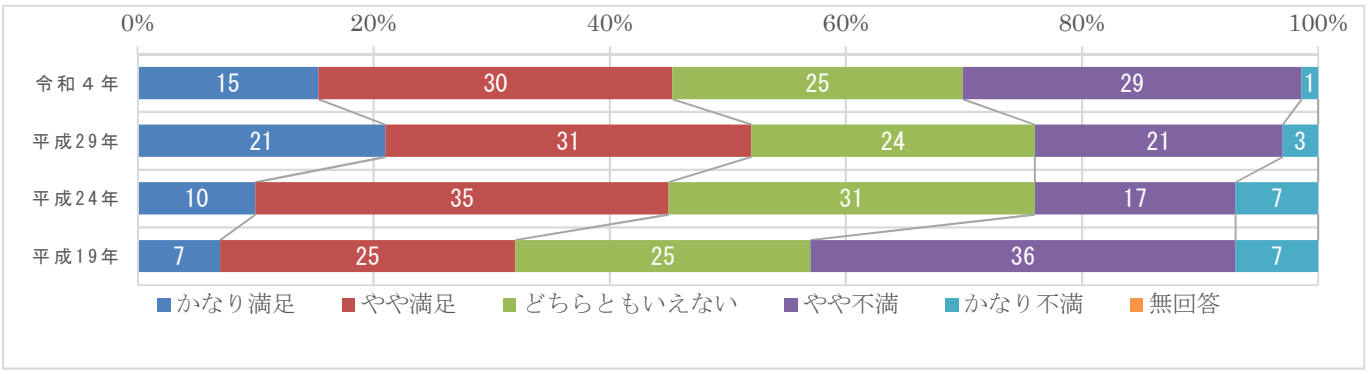
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



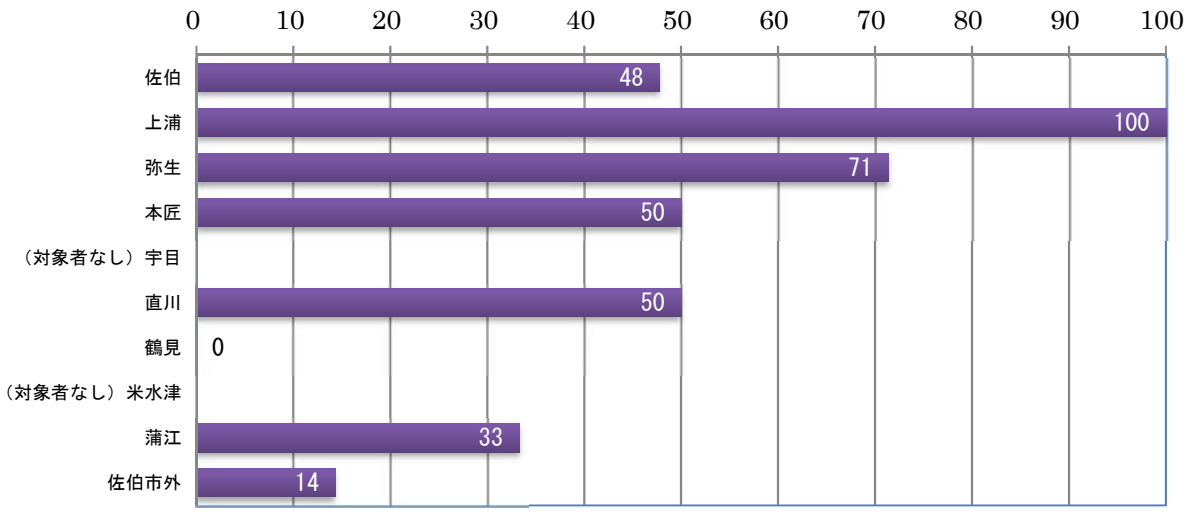
② 川や池、海の水のきれいさ

川や池、海の水のきれいさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 45 パーセント（前回比 7 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 30 パーセント（前回比 6 ポイント増）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」が最も高く、次いで「弥生」、「本匠」と「直川」が同率で続いている。

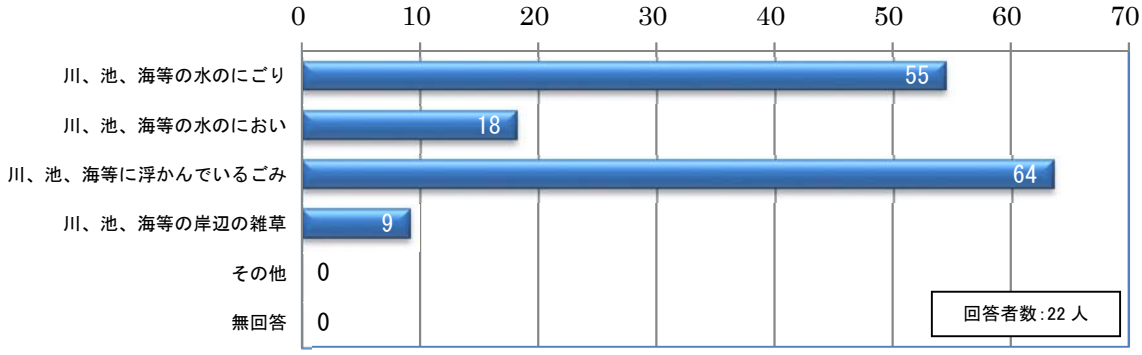
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



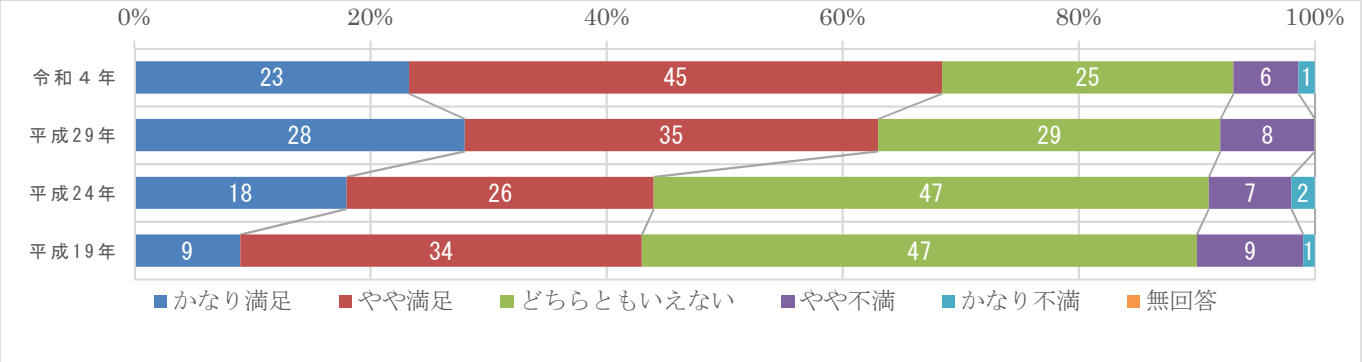
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



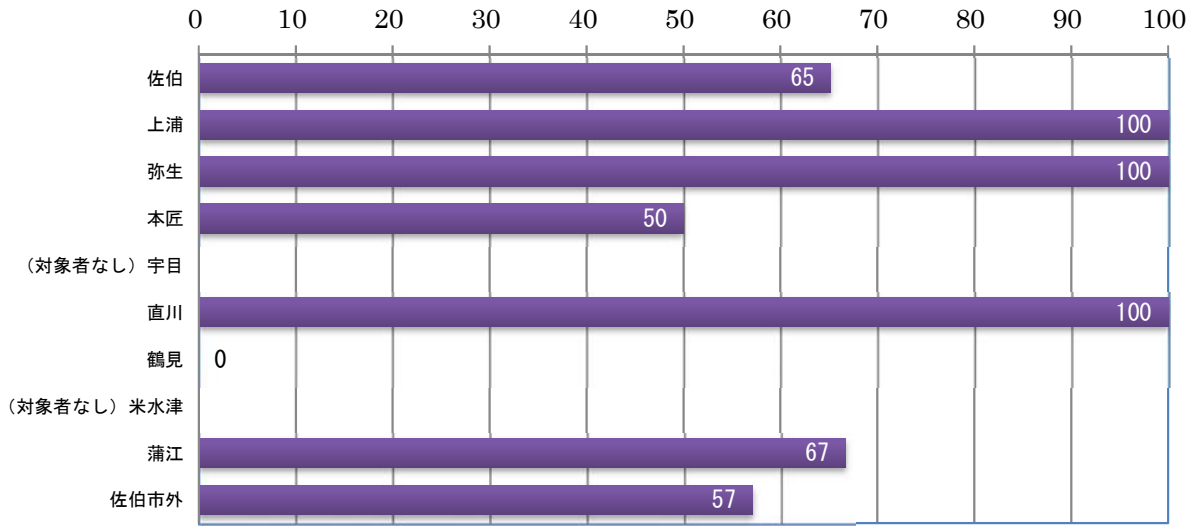
③ 緑（樹木、草花）とのふれあい

緑とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 68 パーセント（前回比５ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計７パーセント（前回比１ポイント減）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」、「弥生」、「直川」が同率で最も高くなっている。

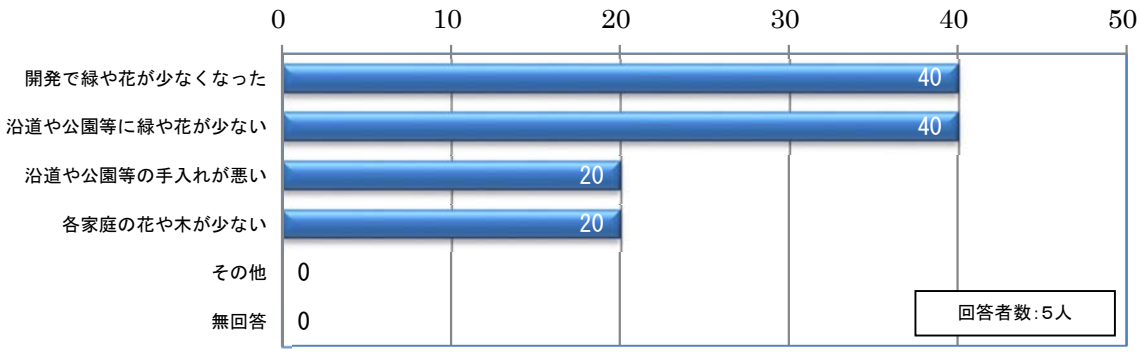
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



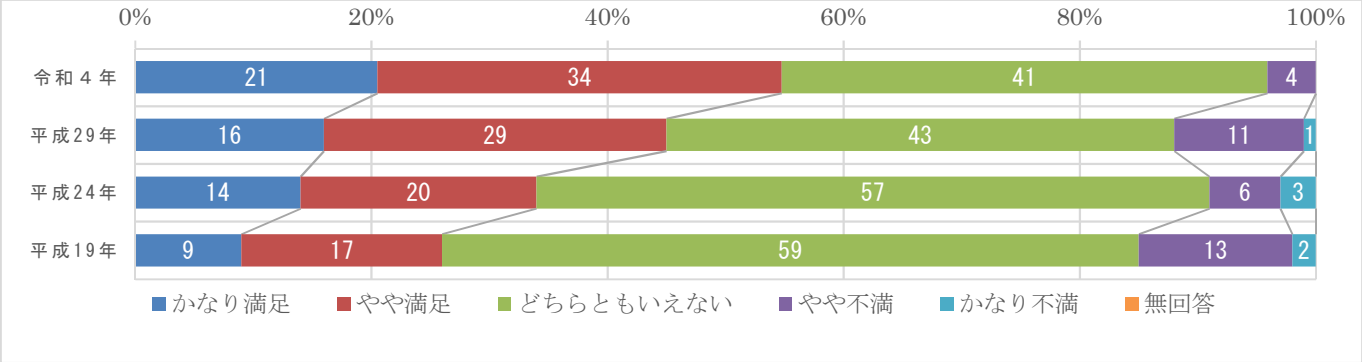
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



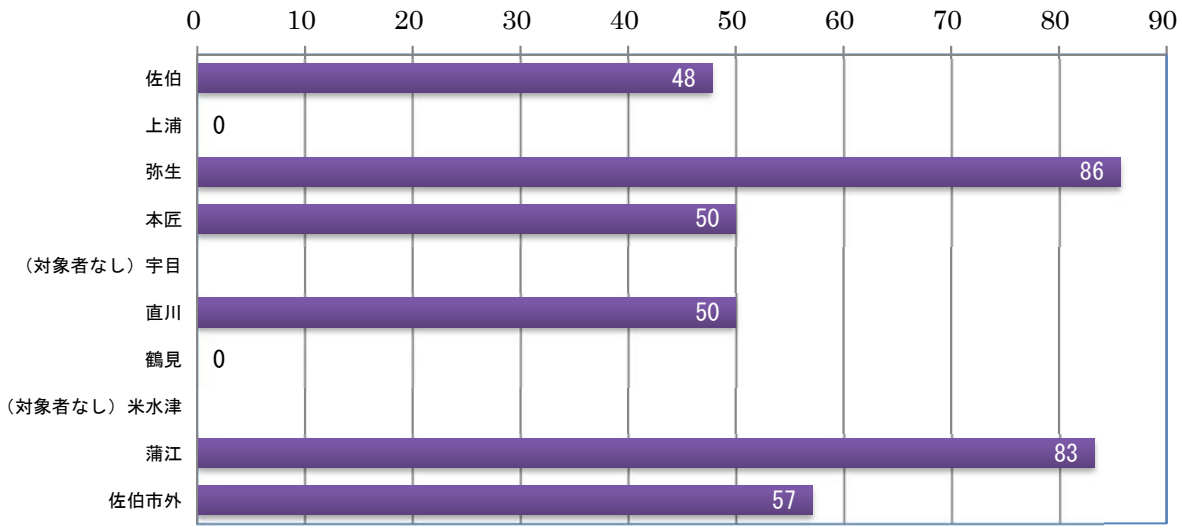
④ 野鳥や昆虫とのふれあい

野鳥や昆虫とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 55 パーセント（前回比 10 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計４パーセント（前回比８ポイント減）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「弥生」が最も高く、次いで「蒲江」、「佐伯市外」の順となっている。

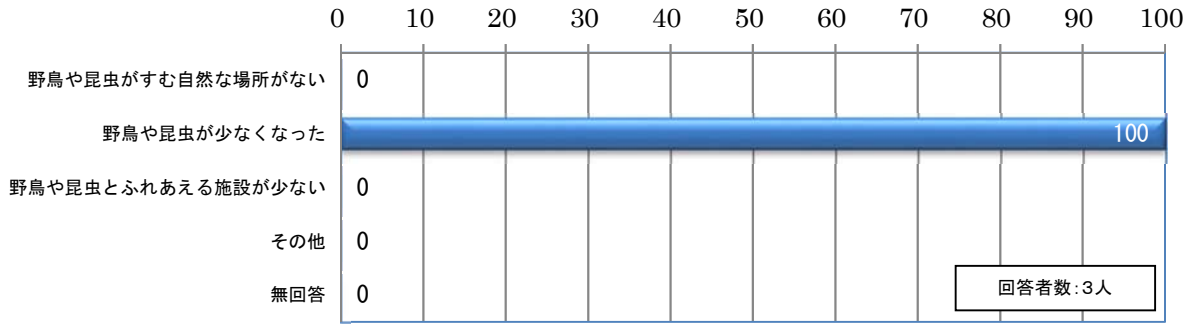
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



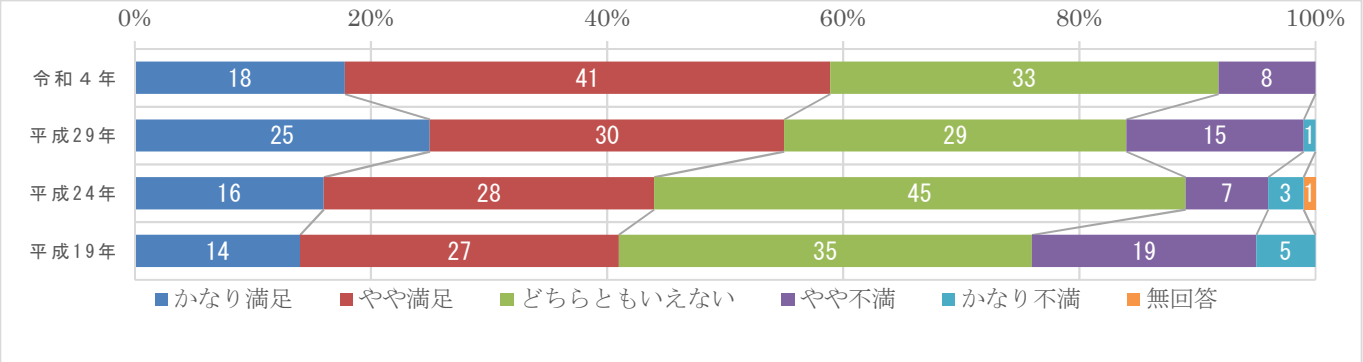
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



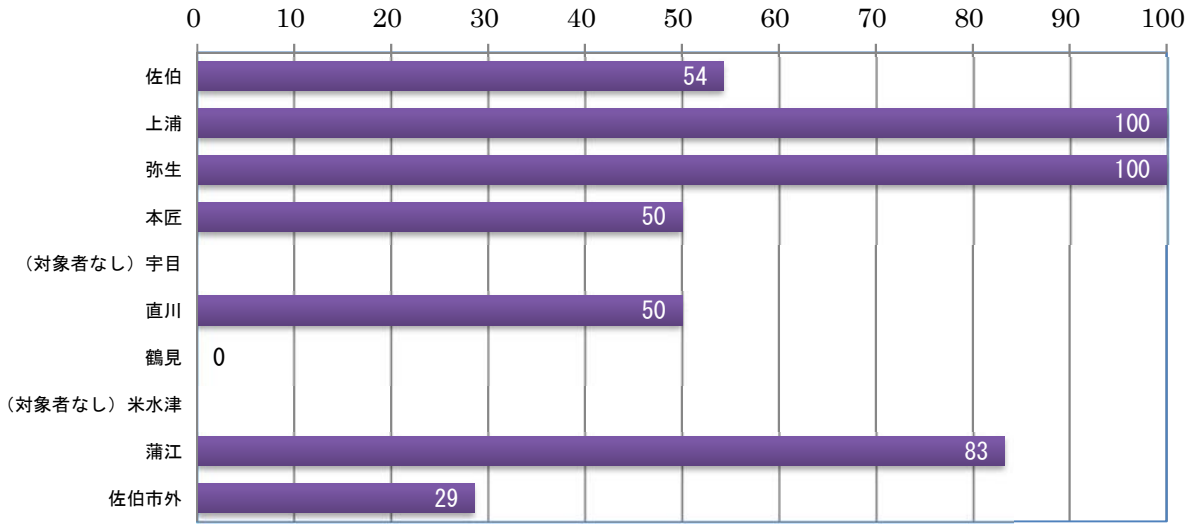
⑤ 水や水辺とのふれあい

水や水辺とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 59 パーセント（前回比４ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計８パーセント（前回比８ポイント減）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」、「弥生」が同率で最も高く、次いで「蒲江」の順となっている。

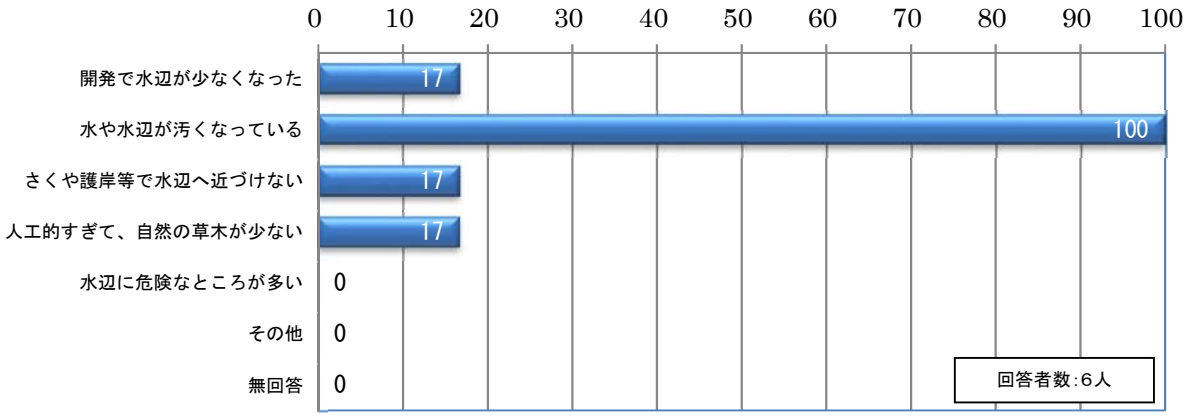
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



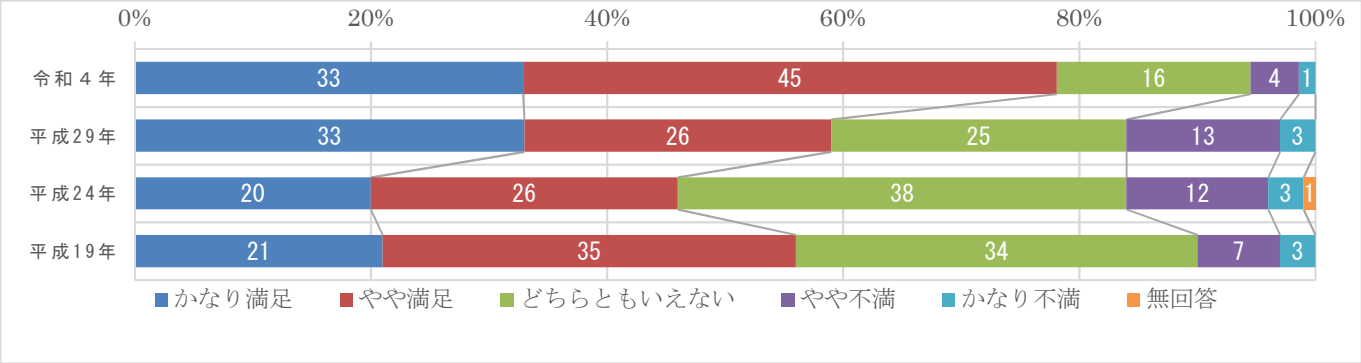
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



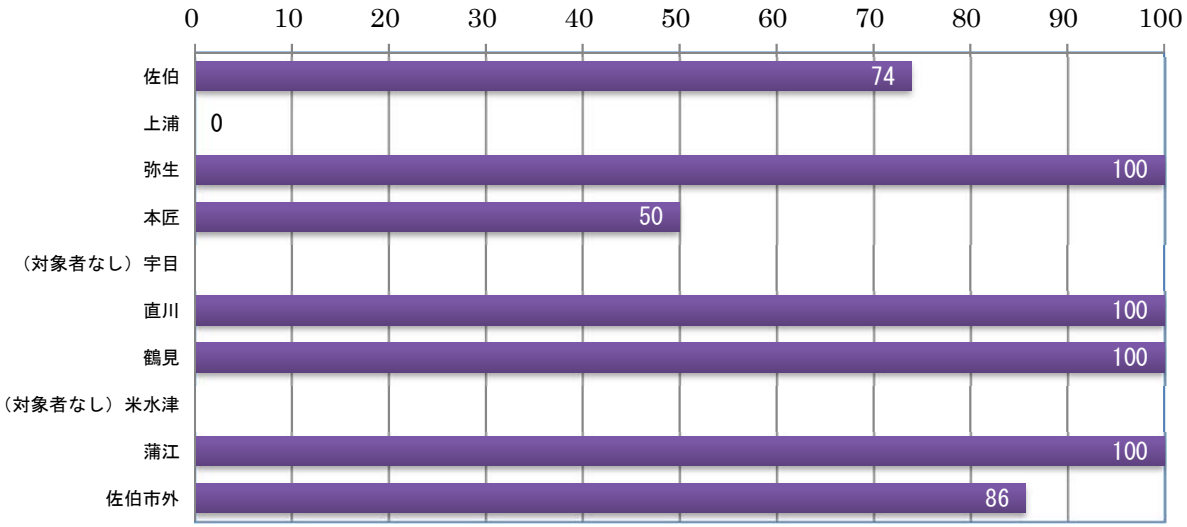
⑥ 空気のきれいさ・におい

空気のきれいさ・においについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 78 パーセント（前回比 19 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計５パーセント（前回比 11 ポイント減）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「弥生」、「直川」、「鶴見」、「蒲江」が同率で最も高くなっている。

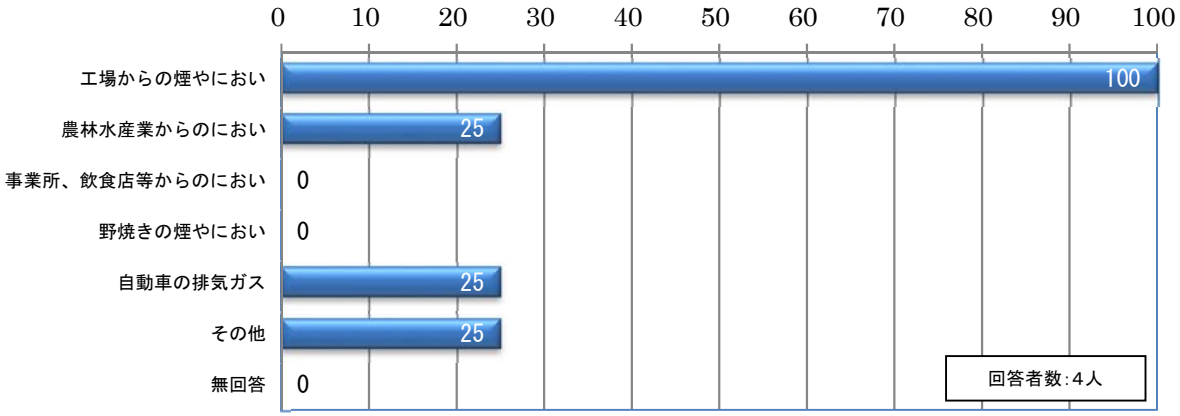
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



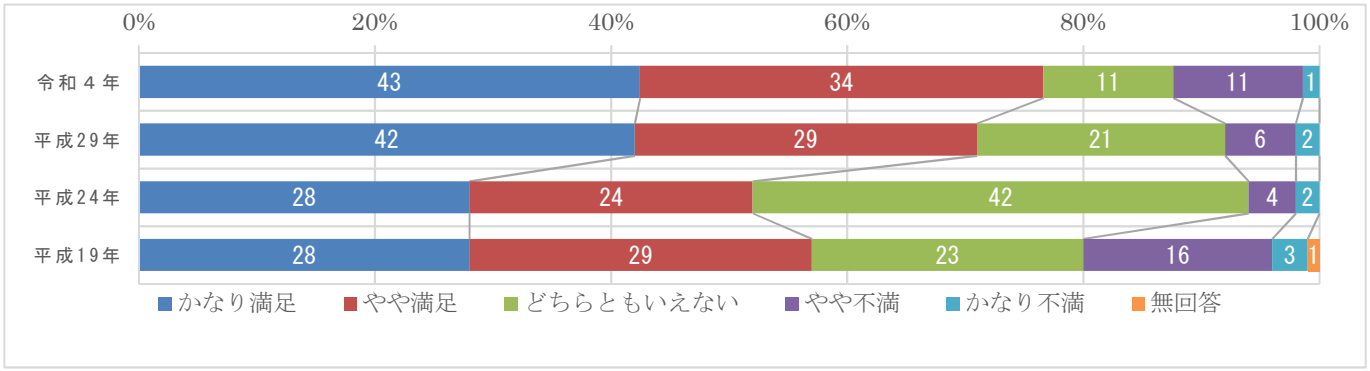
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



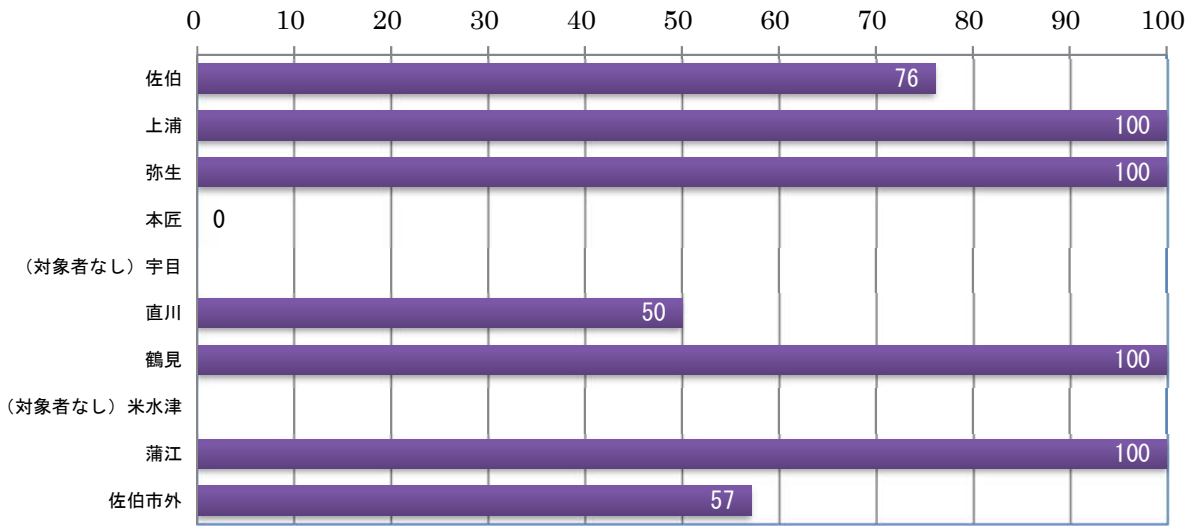
⑦ 周辺の静けさ

周辺の静けさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 77 パーセント（前回比 6 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 12 パーセント（前回比 4 ポイント増）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」、「弥生」、「鶴見」、「蒲江」が同率で最も高くなっている。

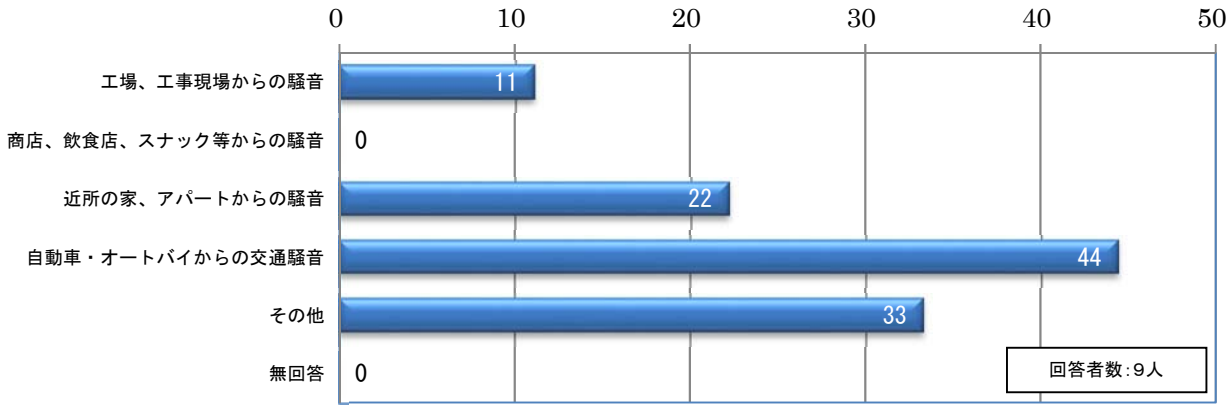
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



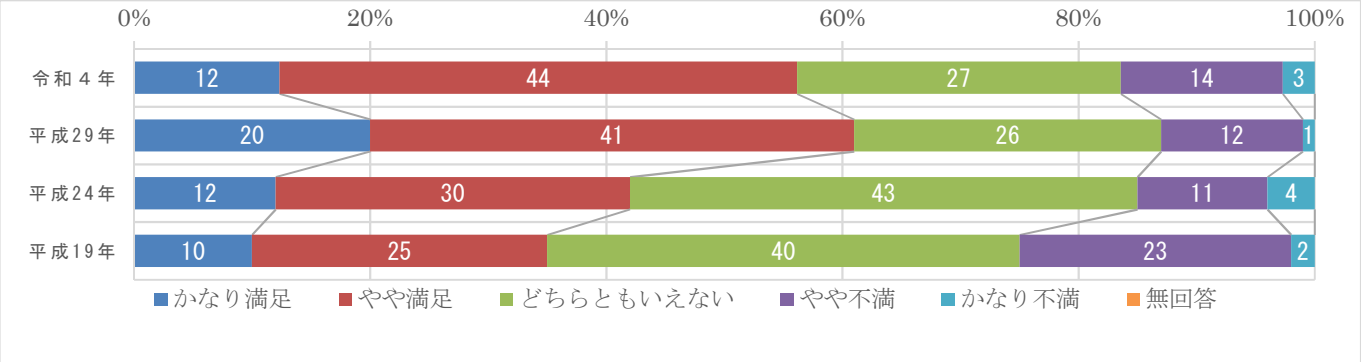
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



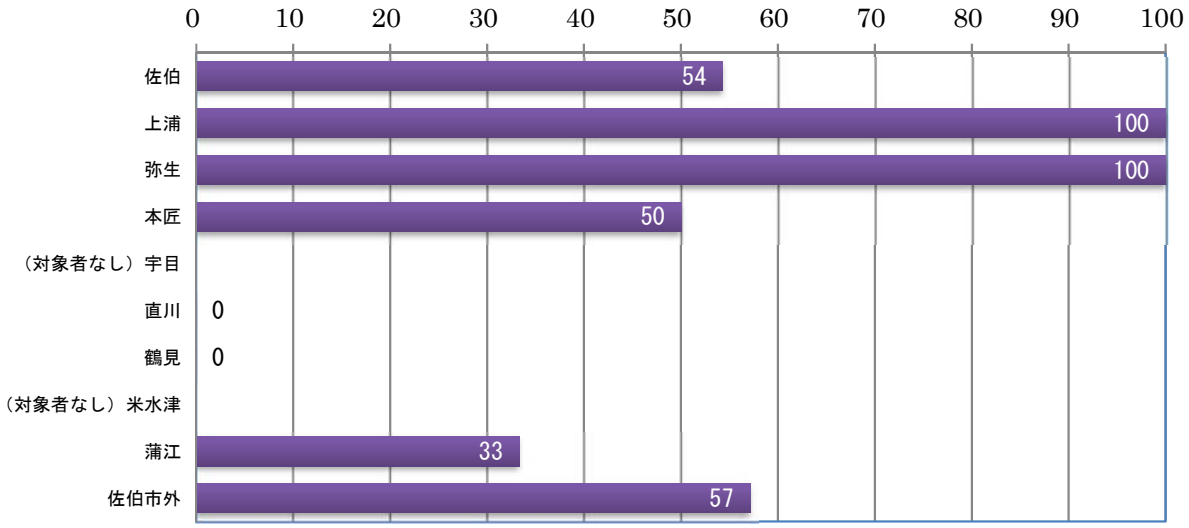
⑧ まちなみ景観の美しさ

まちなみ景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 56 パーセント（前回比５ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 17 パーセント（前回比４ポイント増）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」、「弥生」が同率で最も高く、次いで「佐伯市外」の順となっている。

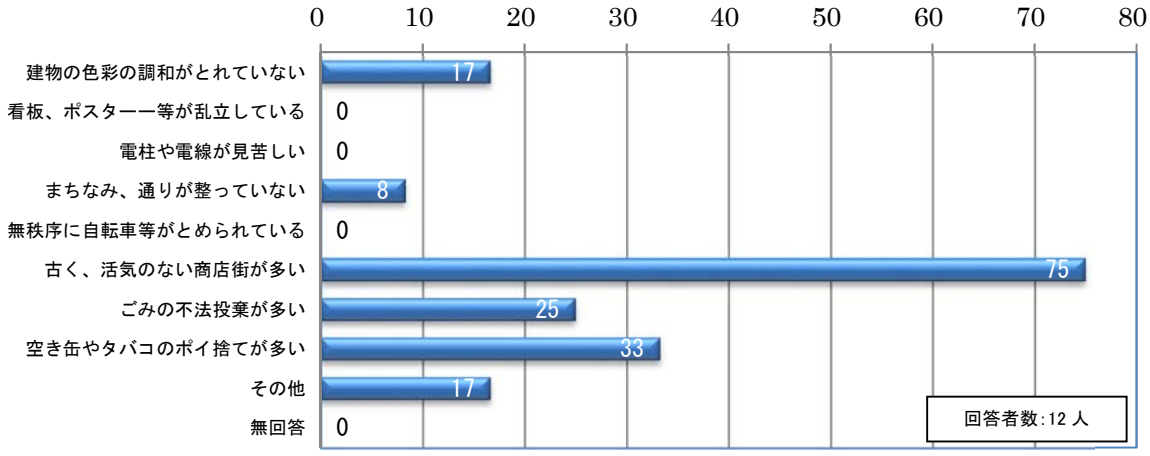
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



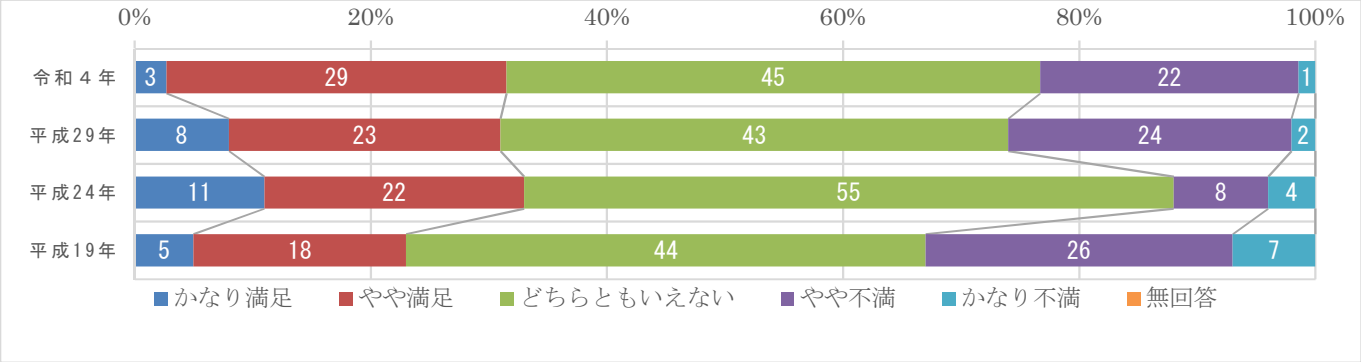
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



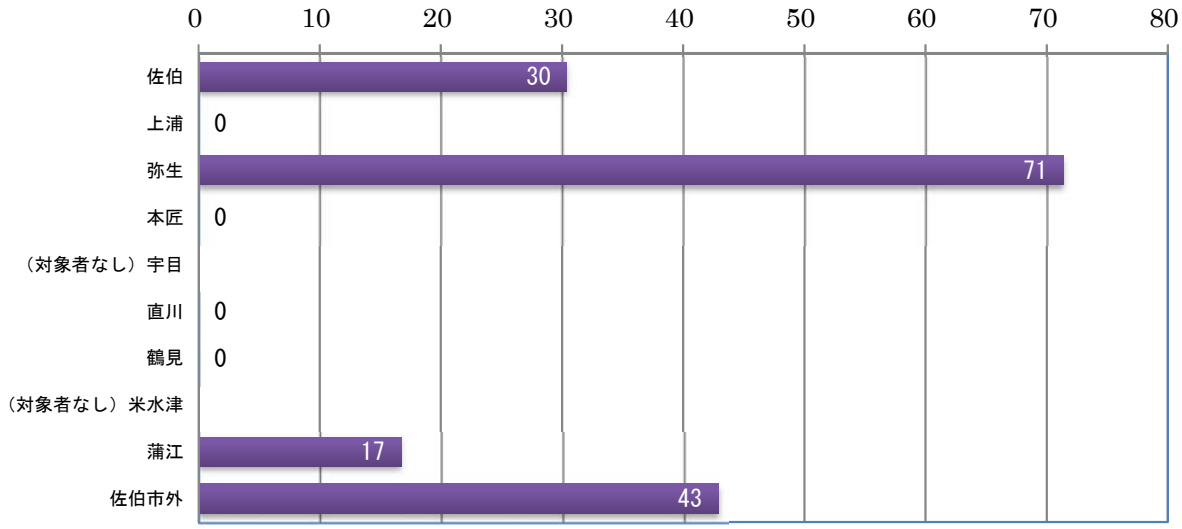
⑨ 公園や野外レクリエーション地の充実

公園や野外レクリエーション地の充実について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 32 パーセント（前回比１ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計 23 パーセント（前回比３ポイント減）を上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「弥生」が最も高く、次いで「佐伯市外」、「佐伯」の順となっている。

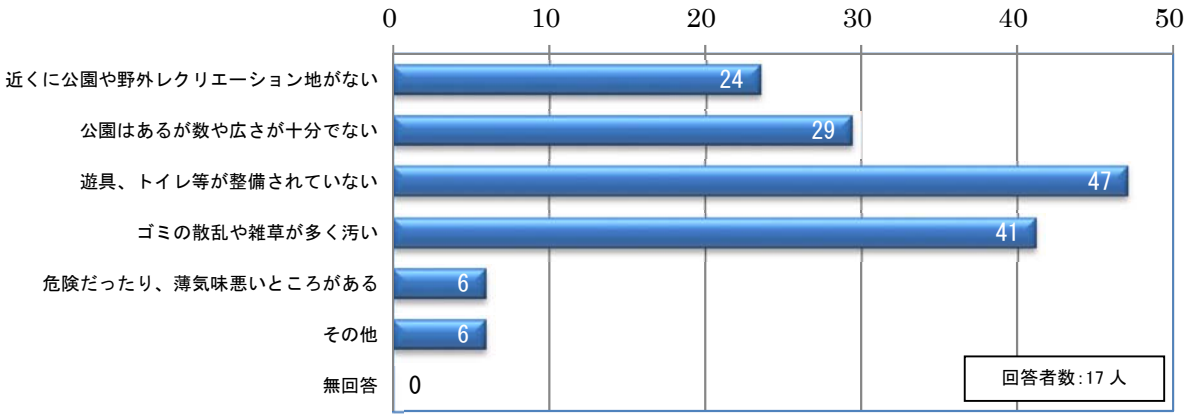
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



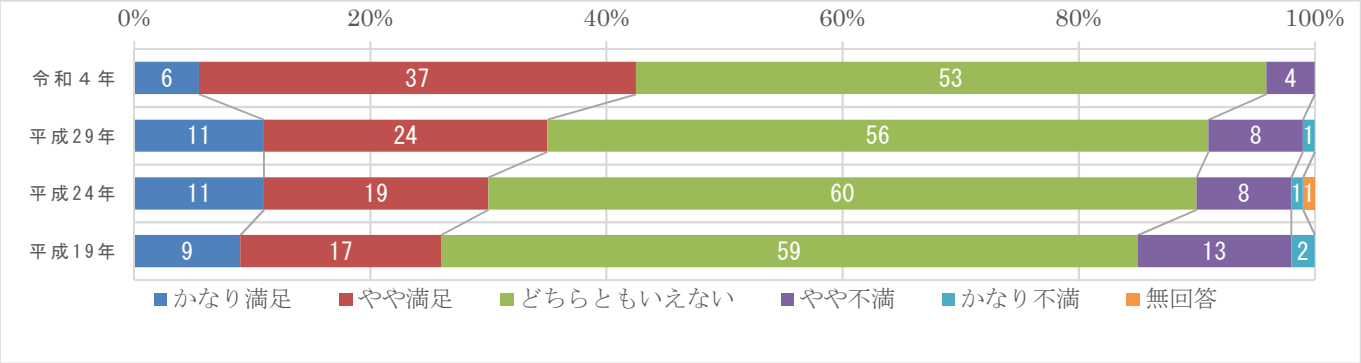
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



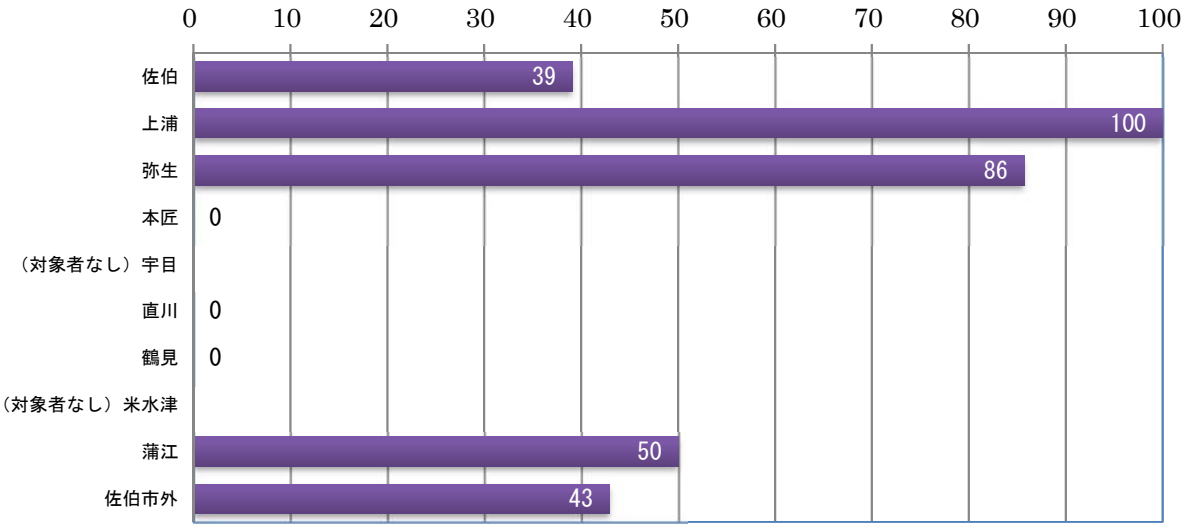
⑩ 文化財、遺跡等の保存・整備状況

文化財、遺跡等の保存・整備状況について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 43 パーセント（前回比８ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計４パーセント（前回比５ポイント減）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」が最も高く、次いで「弥生」、「蒲江」の順となっている。

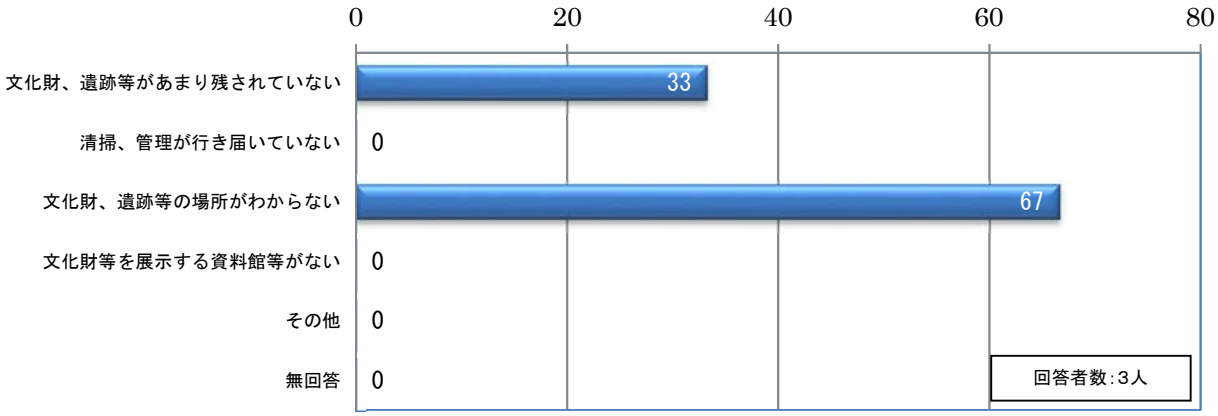
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



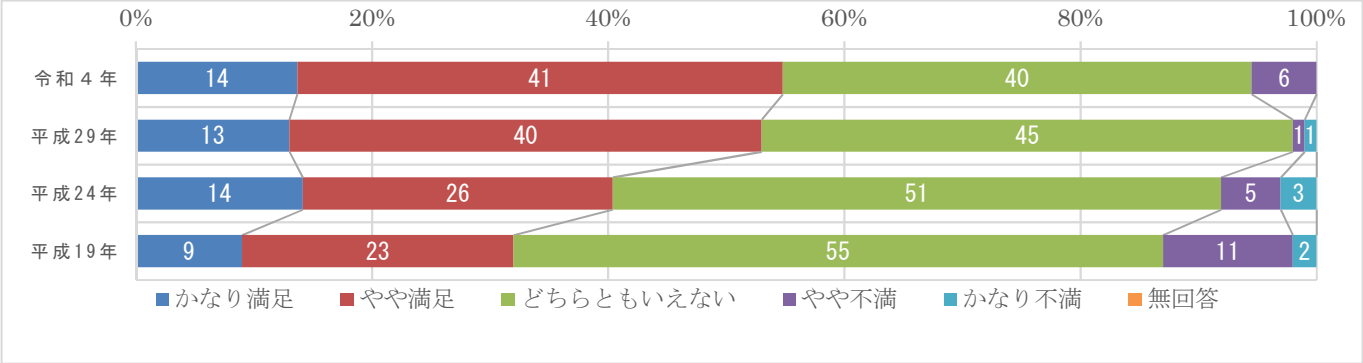
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



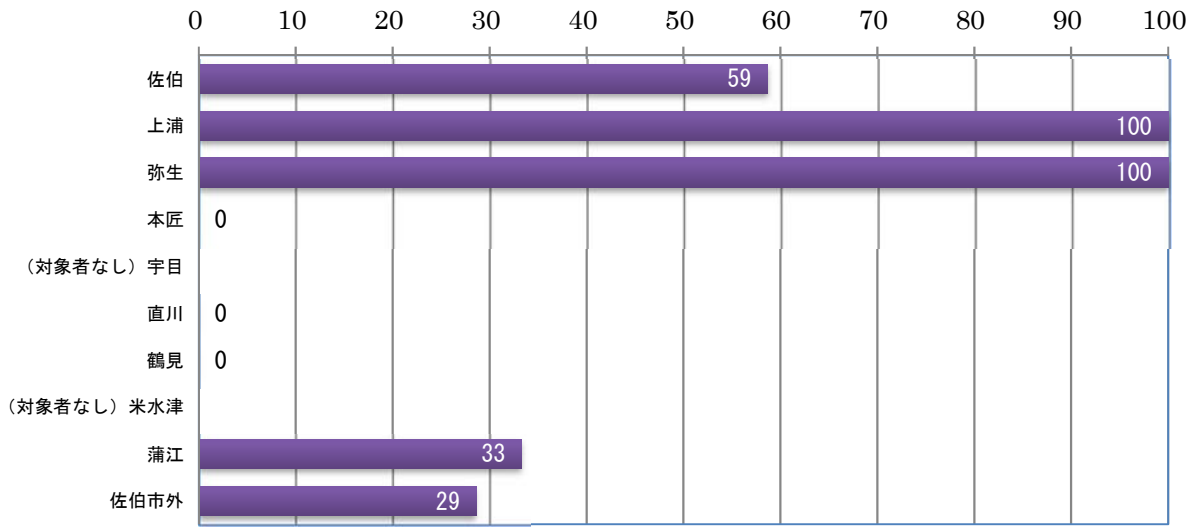
⑪ 歴史や伝統に関するまちの雰囲気

歴史や伝統に関するまちの雰囲気について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 55 パーセント（前回比２ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計６パーセント（前回比４ポイント増）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」、「弥生」が同率で最も高く、次いで「佐伯」の順となっている。

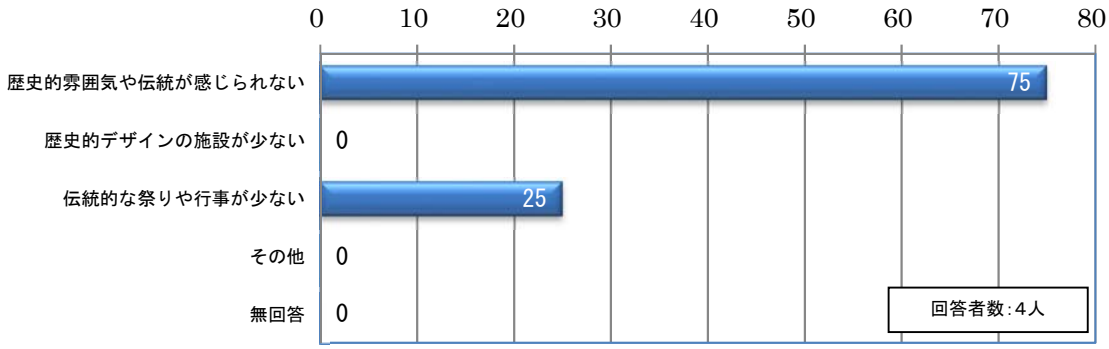
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



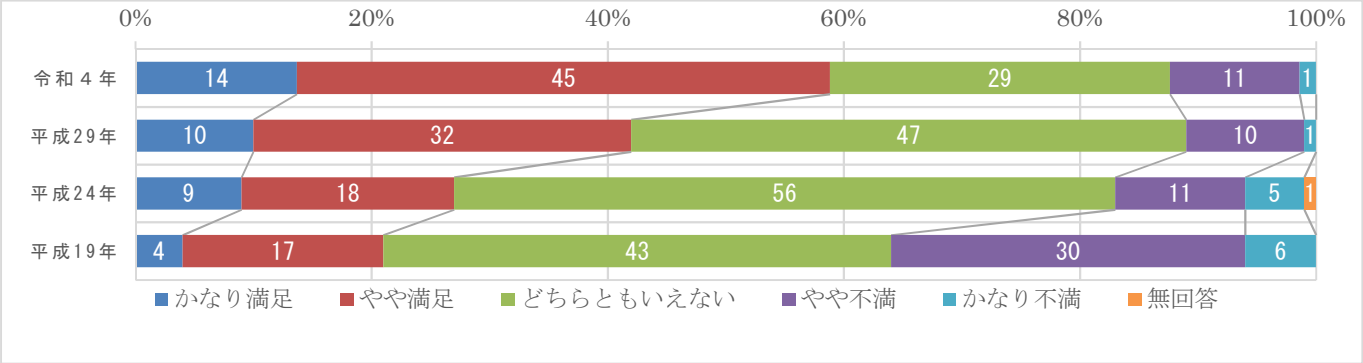
■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



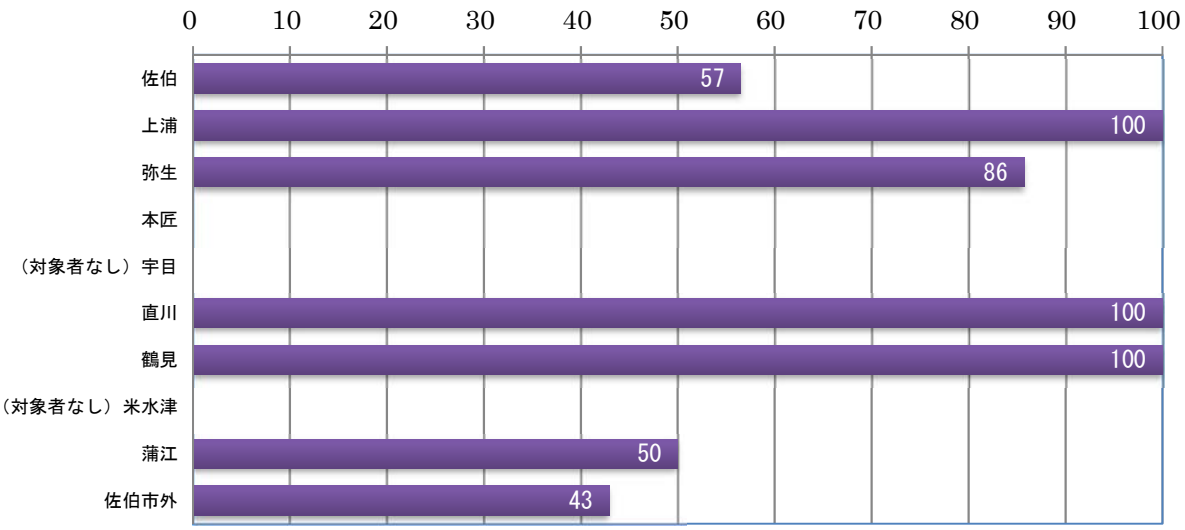
⑫ 市民の環境に関するモラル（道徳）

市民の環境に関するモラル（道徳）について聞いたところ、全体では「やや悪い」又は「かなり悪い」と回答した人が合計 59 パーセント（前回比 17 ポイント増）で、「かなり良い」又は「やや良い」と回答した人の合計 12 パーセント（前回比 1 ポイント増）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり良い」又は「やや良い」と回答した人の割合は、「上浦」、「直川」、「鶴見」が同率で最も高くなっている。

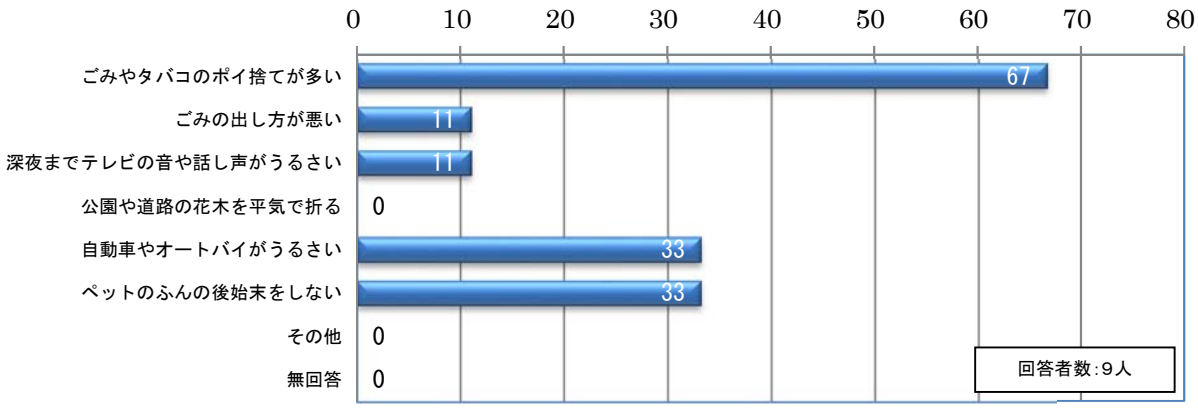
■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



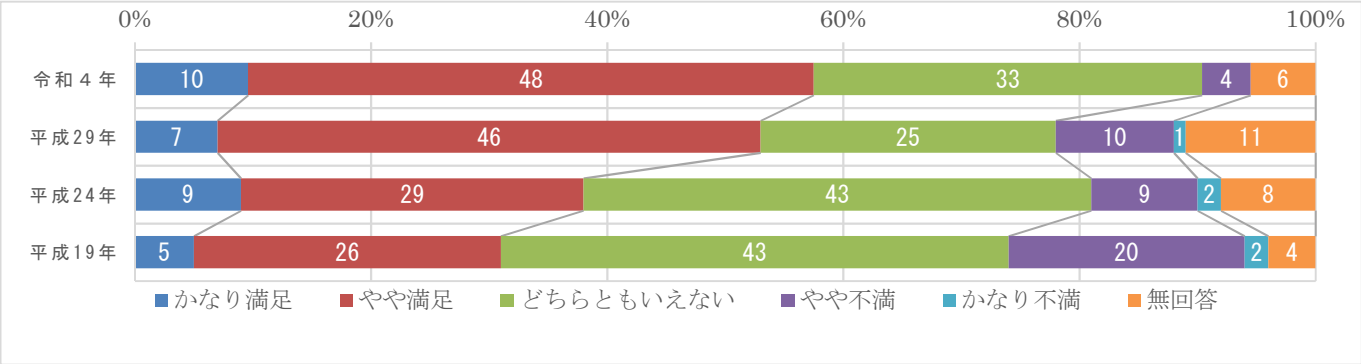
■ 不満の原因（やや悪い、かなり悪いと回答した人）



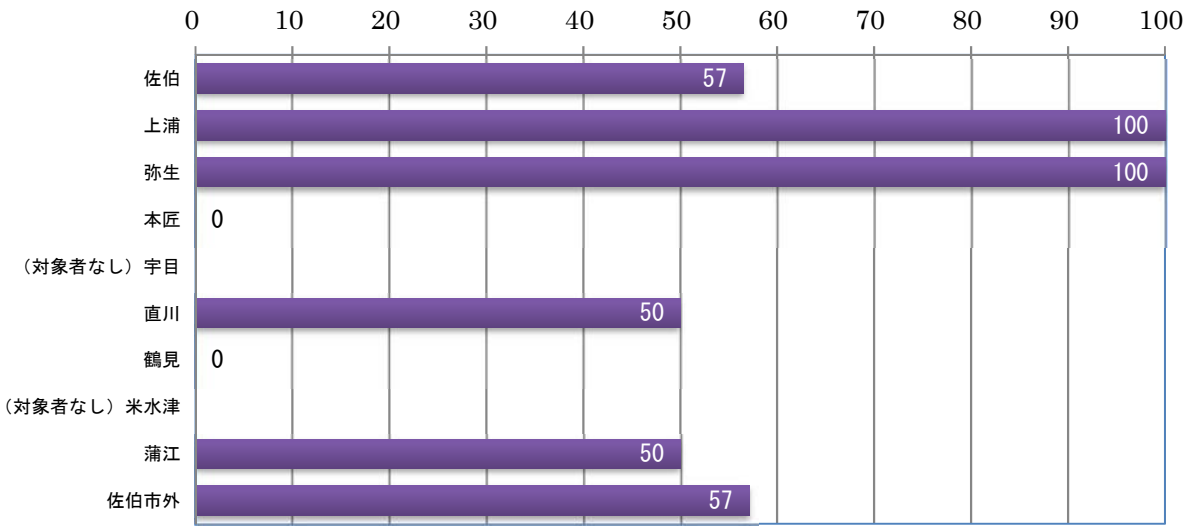
⑬ ①～⑫を総合した身近な環境全体

1）～12）の満足度の結果をふまえ、総合的な環境満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計 58 パーセント（前回比５ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の合計４パーセント（前回比７ポイント減）を大きく上回っている。住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」、「弥生」が同率で最も高く、次いで「佐伯」、「佐伯市外」が同率で続いている。

■ 満足度



■住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

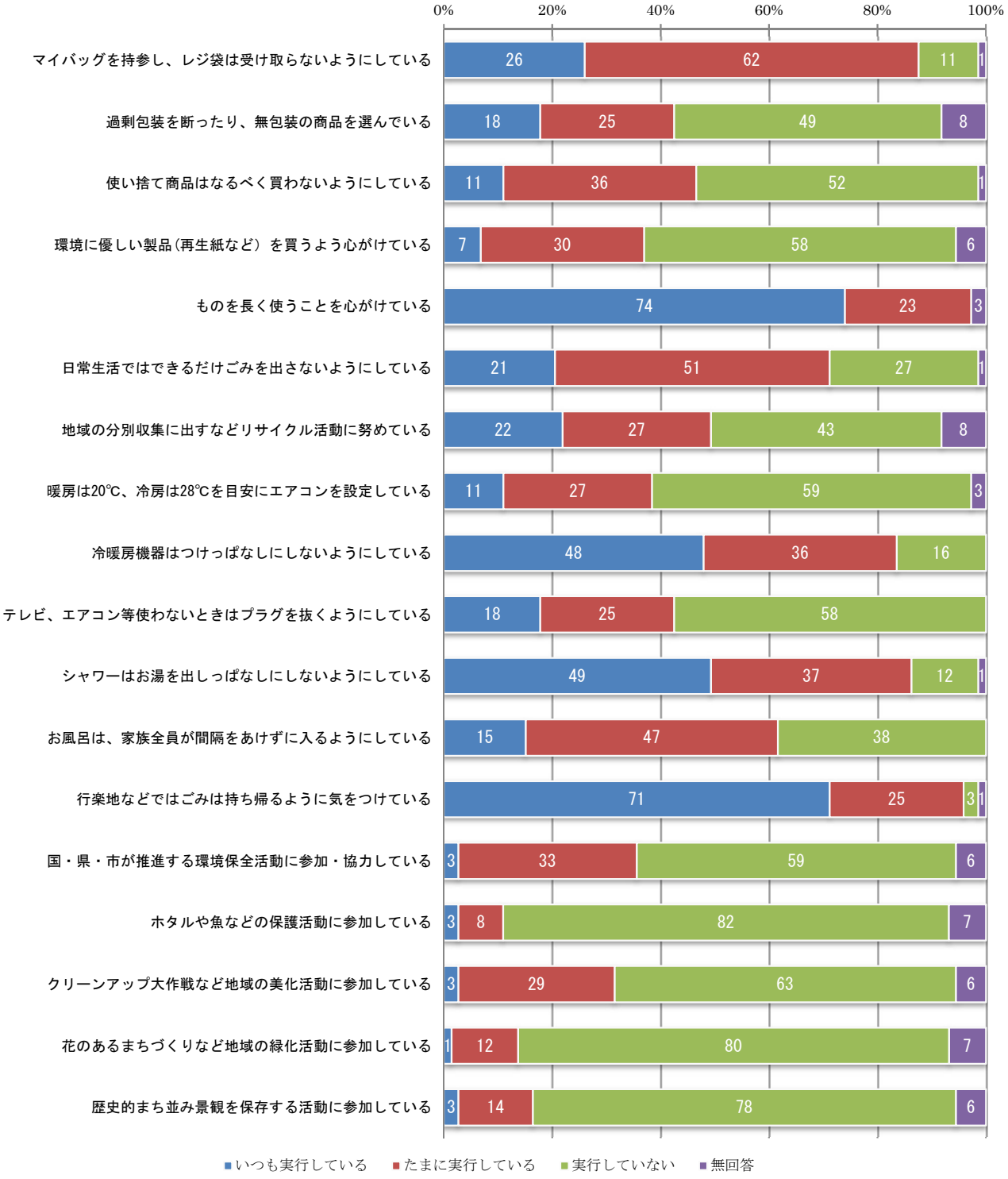


4）環境保全行動の実施状況、意向

① 現状

18 項目について環境保全行動の実施状況について聞いた結果、「いつも実行している」、「たまに実行している」あわせて 80 パーセント以上は５項目となっている。実施状況が低い項目としては、「花のあるまちづくりなど地域の緑化活動に参加している」、「国・県・市が推進する環境保全活動に参加・協力している」、「ホタルや魚などの保護活動に参加している」など地域や団体、行政と関わりの深い活動について、実施状況が低くなっている。

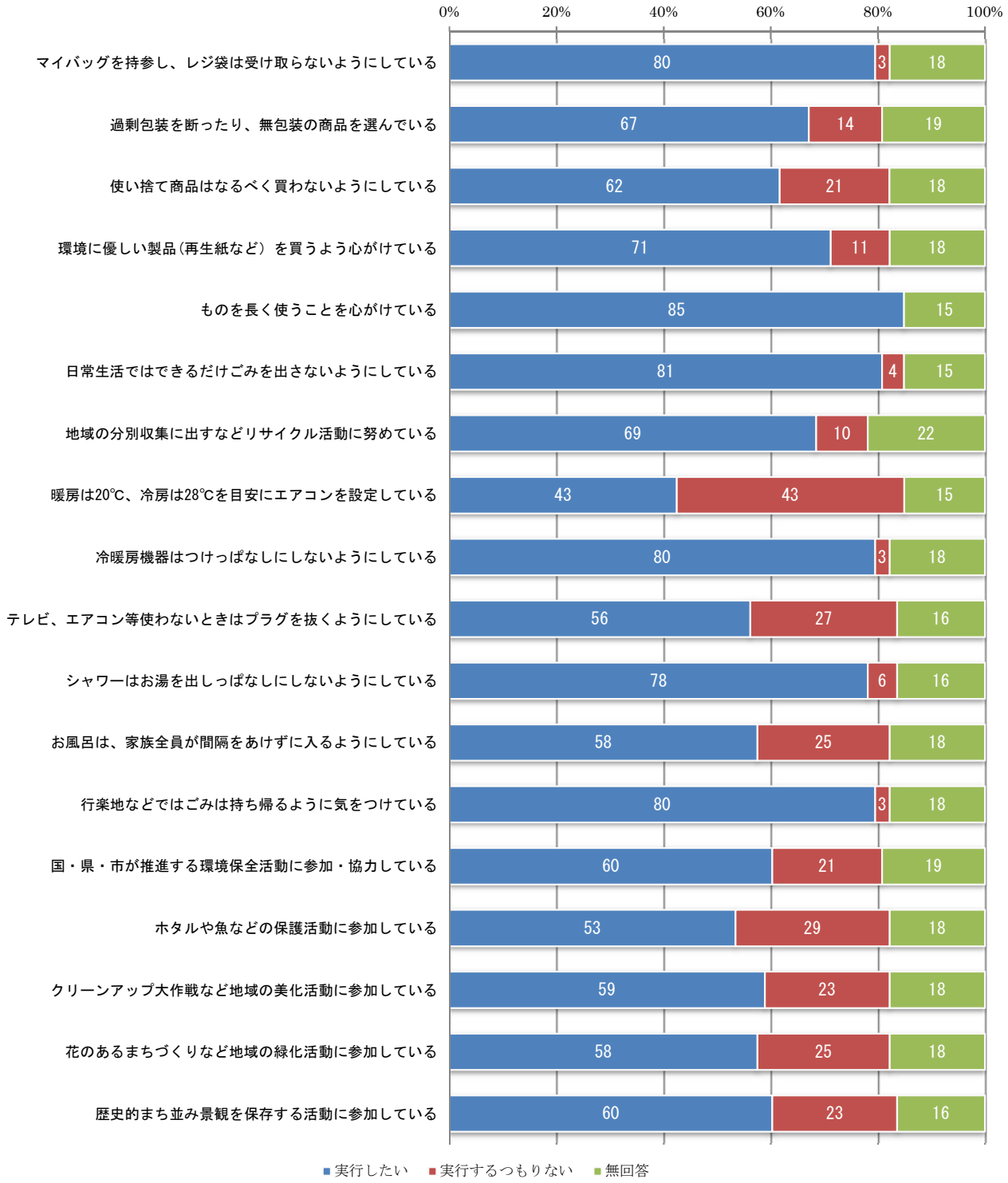
■ 環境保全行動の実施状況



② 今後

18 項目について環境保全行動の今後の実施可能性について聞いた結果、「実行したい」が 60 パーセント以上は 12 項目となっている。今後、普及・啓発や情報の提供により環境保全活動が広がる可能性を期待している。

■ 環境保全行動についての今後の意向



5）ごみの減量意向

今後のごみ減量の可能性について聞いたところ、全体では「現在より削減可能」と回答した人が合計 68.5 パーセント（前回比 2.9 ポイント増）で、「平均削減率」は 16.1 パーセント（前回比 0.7 ポイント減）となっている。

■ どの程度なら達成できるか （%）

区　分	現在より削減可能	削減は難しい	無回答	回答数（人）
佐　伯	73.9	23.9	2.2	46
上　浦	100.0	0.0	0.0	1
弥　生	71.4	28.6	0.0	7
本　匠	0.0	100.0	0.0	2
宇　目	－	－	－	－
直　川	50.0	50.0	0.0	2
鶴　見	100.0	0.0	0.0	1
米水津	－	－	－	－
蒲　江	50.0	50.0	0.0	6
佐伯市外	71.4	28.6	0.0	7
令和4年計	68.5	28.8	2.7	73
平成 29 年計	65.6	31.2	3.2	122
平成 24 年計	52.2	37.1	10.7	159
平成 19 年計	58.6	37.5	3.9	126

■ 現在より何%削減できるか

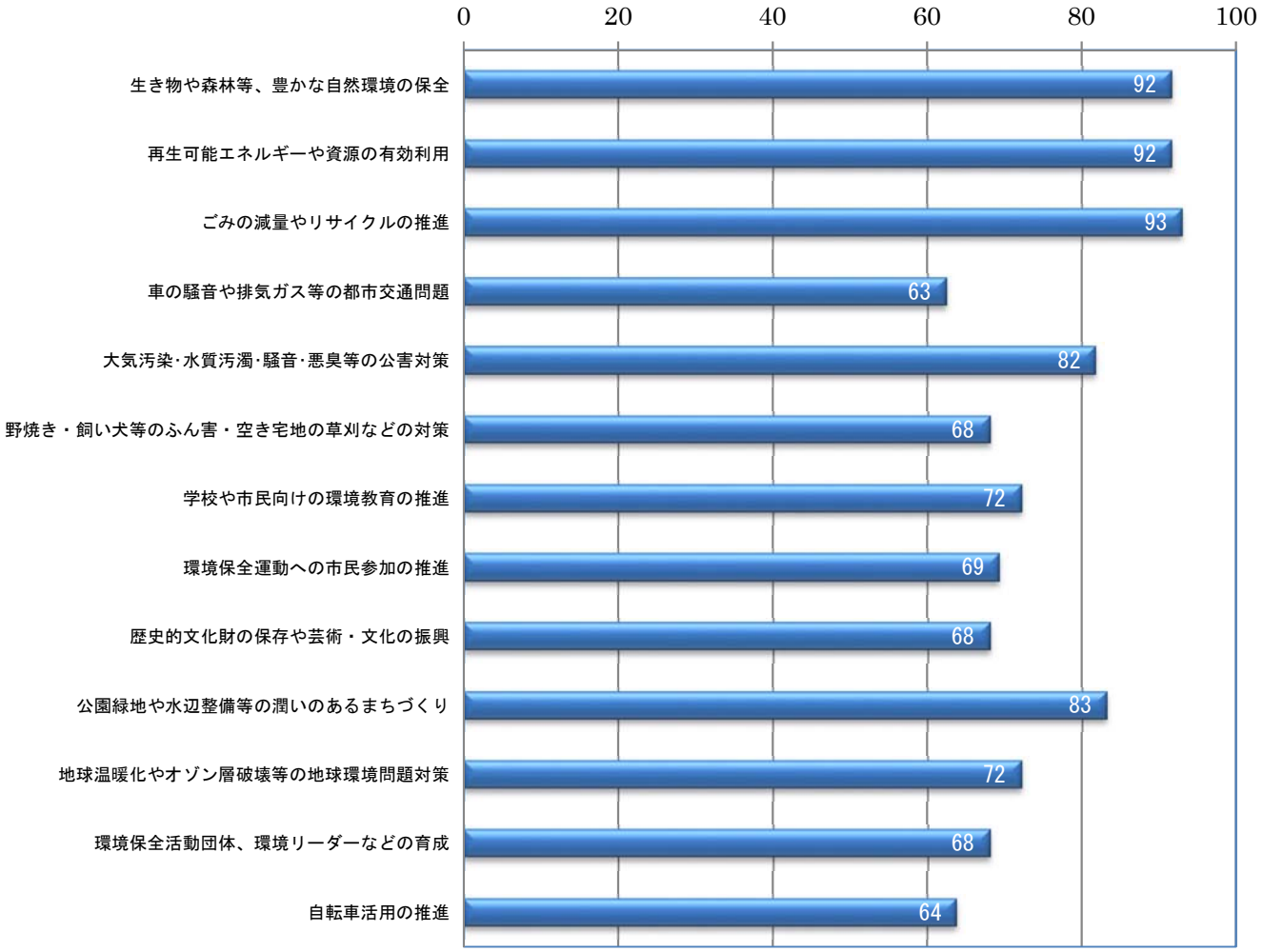
区　分	平均削減率（%）			
	R4年	平成 29 年	平成 24 年	平成 19 年※
佐　伯	16.0	15.6	12.6	
上　浦	20.0	13.3	－	
弥　生	17.0	18.3	8.7	
本　匠	－	10.0	10.0	
宇　目	－	10.0	0.0	
直　川	20.0	30.0	50.0	
鶴　見	2.0	15.0	10.0	
米水津	－	0.0	34.1	
蒲　江	16.7	32.5	19.5	
佐伯市外	17.0	16.3	20.0	
合　計	16.1	16.8	14.2	12.8

※平成 19 年は地域毎のデータなし

6）市の施策について

佐伯市の環境を守り、より良いものにしていくための市の施策ついて聞き、「特に重要」又は「重要」と回答している人の割合を以下に示す。全体では「ごみの減量やリサイクルの推進」を重要と回答した割合が大きく、「生き物や森林等、豊かな自然環境の保全」、「再生可能エネルギーや資源の有効利用」、が続いていて、前回とほぼ同じ傾向である。

■ **施策の重要度**：（特に重要又は重要と回答した人の割合）



（%）

■ **施策の重要度（地域別）**：特に重要又は重要と回答した人の割合

（%）

区　分		生き物や森林の保全等、豊かな自然環境の保全	省エネルギーや資源の有効利用	ごみの減量やリサイクルの推進	車の騒音や排気ガス等の都市交通問題	大気汚染･水質汚濁･騒音･悪臭等の公害対策	野焼き･飼い犬等のふん害･空き宅地の草刈などの対策
佐伯	令和4年	91.1	93.3	93.3	71.1	86.7	77.8
	平成 29 年	88.9	87.7	90.1	72.8	82.7	84.0
	平成 24 年	83.7	77.9	80.8	67.3	77.9	73.1
	平成 19 年	86.1	84.7	87.5	77.8	86.1	63.9
上浦	令和4年	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	平成 29 年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平成 24 年	－	－	－	－	－	－
	平成 19 年	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0
弥生	令和4年	100.0	100.0	100.0	57.1	71.4	42.9
	平成 29 年	100.0	94.1	82.4	88.2	94.1	70.6
	平成 24 年	83.8	72.2	83.3	72.2	77.8	83.3
	平成 19 年	94.7	94.7	84.2	84.2	84.2	78.9
本匠	令和4年	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	平成 29 年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平成 24 年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平成 19 年	－	－	－	－	－	－
宇目	令和4年	－	－	－	－	－	－
	平成 29 年	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	平成 24 年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平成 19 年	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3
直川	令和4年	100.0	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0
	平成 29 年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平成 24 年	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0
	平成 19 年	75.0	50.0	75.0	75.0	75.0	75.0
鶴見	令和4年	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
	平成 29 年	75.0	75.0	100.0	25.0	75.0	75.0
	平成 24 年	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	100.0
	平成 19 年	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0
米水津	令和4年	－	－	－	－	－	－
	平成 29 年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平成 24 年	75.0	100.0	100.0	50.0	75.0	50.0
	平成 19 年	75.0	75.0	50.0	25.0	75.0	25.0
蒲江	令和4年	100.0	83.3	100.0	83.3	100.0	83.3
	平成 29 年	83.3	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0
	平成 24 年	68.2	72.7	59.1	68.2	68.2	50.0
	平成 19 年	100.0	81.3	100.0	68.8	68.8	43.8
佐伯市外	令和4年	100.0	100.0	100.0	42.9	71.4	57.1
	平成 29 年	60.0	60.0	100.0	100.0	100.0	80.0
	平成 24 年	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0
	平成 19 年	100.0	60.0	100.0	0.0	80.0	0.0
合計	令和4年	91..7	91.7	93.1	62.5	81.9	68.1
	平成 29 年	89.3	88.5	90.2	75.4	84.4	82.0
	平成 24 年	79.9	74.8	78.0	66.0	74.2	69.2
	平成 19 年	89.1	83.6	87.5	71.9	82.0	60.2

（%）

区　分		学校や市民向けの環境教育の推進	環境保全運動への市民参加の推進	歴史的文化財の保存や芸術・文化の振興	公園緑地や水辺整備等の潤いのあるまちづくり	地球温暖化や酸性雨、オゾン層破壊等の地球環境問題対策	環境保全活動団体、環境リーダーなどの育成	自転車活用の推進
佐伯	令和4年	71.1	68.9	73.3	84.4	71.1	73.3	66.7
	平成29年	75.3	69.1	69.1	81.5	84.0	69.1	－
	平成24年	61.5	61.5	63.5	76.0	72.1	62.5	－
	平成19年	61.1	45..8	52.8	79.2	81.9	51.4	－
上浦	令和4年	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	平成29年	75.0	75.0	75.0	75.0	100.0	75.0	－
	平成24年	－	－	－	－	－	－	－
	平成19年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－
弥生	令和4年	85.7	71.4	100.0	85.7	71.4	57.1	57.1
	平成29年	76.5	70.6	70.6	88.2	82.4	76.5	－
	平成24年	61.1	66.7	61.1	66.7	66.7	66.7	－
	平成19年	63.2	84.2	73.7	89.5	94.7	78.9	－
本匠	令和4年	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	平成29年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－
	平成24年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－
	平成19年	－	－	－	－	－	－	－
宇目	令和4年	－	－	－	－	－	－	－
	平成29年	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	－
	平成24年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－
	平成19年	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	－
直川	令和4年	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0
	平成29年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－
	平成24年	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	－
	平成19年	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	－
鶴見	令和4年	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	平成29年	100.0	25.0	25.0	100.0	75.0	75.0	－
	平成24年	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	66.7	－
	平成19年	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0	33.3	－
米水津	令和4年	－	－	－	－	－	－	－
	平成29年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－
	平成24年	50.0	50.0	50.0	75.0	75.0	50.0	－
	平成19年	25.0	25.0	0.0	50.0	75.0	25.0	－
蒲江	令和4年	83.3	83.3	33.3	83.3	100.0	66.7	100.0
	平成29年	100.0	100.0	83.3	83.3	83.3	66.7	－
	平成24年	31.8	50.0	45.5	50.0	54.5	54.5	－
	平成19年	50.0	43.8	56.3	56.3	87.5	50.0	－
佐伯市外	令和4年	85.7	100.0	85.7	85.7	85.7	85.7	71.4
	平成 29 年	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	－
	平成 24 年	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	－
	平成 19 年	0.0	20.0	60.0	40.0	100.0	60.0	－
合計	令和4年	72.2	69.4	68.1	83.3	72.2	68.1	63.9
	平成29年	77.9	69.7	68.9	83.6	83.6	70.5	－
	平成24年	58.5	58.5	59.7	68.6	67.9	60.4	－
	平成19年	56.3	52.3	55.5	73.4	84.4	55.5	－

7）自由意見

みんなにもっと知ってもらうこと。SNSの活用
佐伯鶴城のSSHの取り組みと協力してより良い町づくりにしていくと良いと思います。佐伯市のために私たち高校生もできることがあれば協力したいです。
まず今日、このアンケートをするまで上記にあるような内容を聞いたことがありませんでした。まずはそこからだと思います。上記のような取り組みを佐伯市全体とは言いませんが、1 人でも多くの人が知ることのできる場を設けてみるといいのではないでしょうか。
どれほど市が頑張って活動した所で、市民が何か行動を起こさなければ、佐伯市の環境保全は実現しないと思うので市民に向けての環境についての説明会などをしたらいいと考える。
よけいな建物を壊す→自然を増やす
脱炭素、ゼロカーボンの仕組みの説明
佐伯市民全員の協力
鹿児島や熊本の市街地には、多くの植物が歩道、道路、中央分離たいなどに植えられているのに対し、佐伯にはあまり多く見られない！！（財政的に難しいかもしれないが、多くの改善よちがある）コスモタウンの片側二車線道路の歩道か中央分離たいなどには、木か低木を植えるスペースが多くあるため有効だと考えます。また、手入れが簡単な植物を植えることで、トータル的に予算を減らすことが可能になるかもしれません。
佐伯市に住んでいないので、何がどのように行われているかはよく分かりませんが、「社会面」で子ども食堂の存在やどういうものなのかを、より多くの人に知ってもらい、食事があまりできない子どもたちを救えるようにしてほしいと思います。
より多くの人が「佐伯版SDGs」や「さいきオーガニックシティ」のことを知って、1 人 1 人が環境にやさしい行動をするようになれば良いと思う。

４　事業所アンケート調査結果

（１）調査概要

１）調査期間：令和４年８月 12 日発送（８月１日～８月 31 日：配布回収）

２）調査方法：郵送法

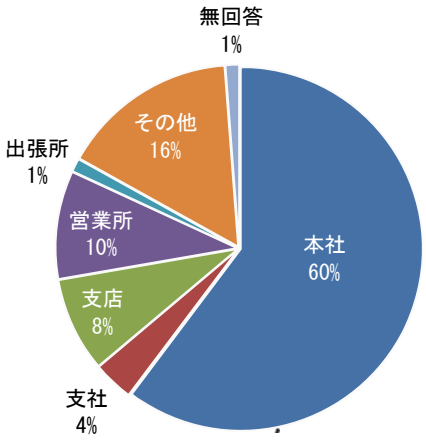
３）調査対象：産業大分類ごとに市の事業所数等を勘案して、200 事業所を抽出した。なお、産業大分類ごとに、最低２事業所を抽出した（公務は除く）。

４）調査項目：過去の調査との比較のため、設問内容は基本的に変えていないが、佐伯版ＳＤＧｓの推進によるさいきオーガニックシティの実現に関する設問を追加した。

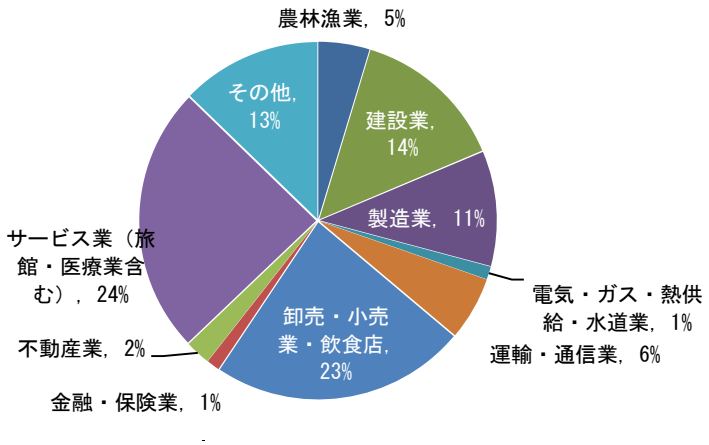
５）回収率　：※令和４年　41.5%（83 件/200 件）前回比 8.5 ポイント（17 件）減
※平成 29 年　50.0%（100 件/200 件）前回比 6.5 ポイント（13 件）増
※平成 24 年　43.5%（87 件/200 件）前回比 1.5 ポイント（3 件）増
※平成 19 年　42.0%（84 件/200 件）

（２）回答者の属性

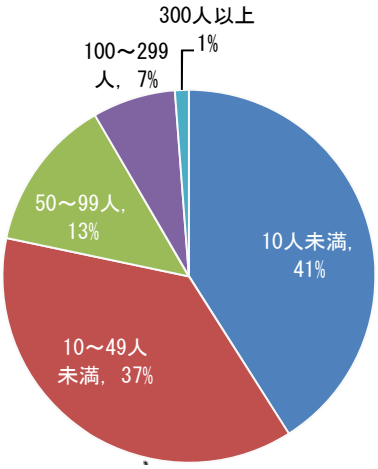
事業形態



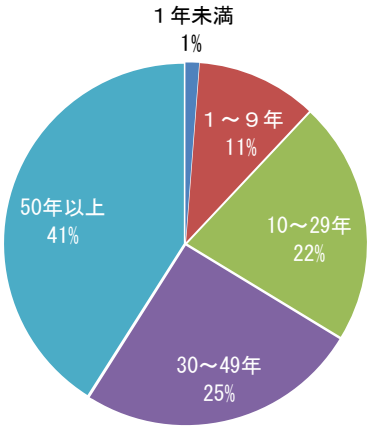
業　種



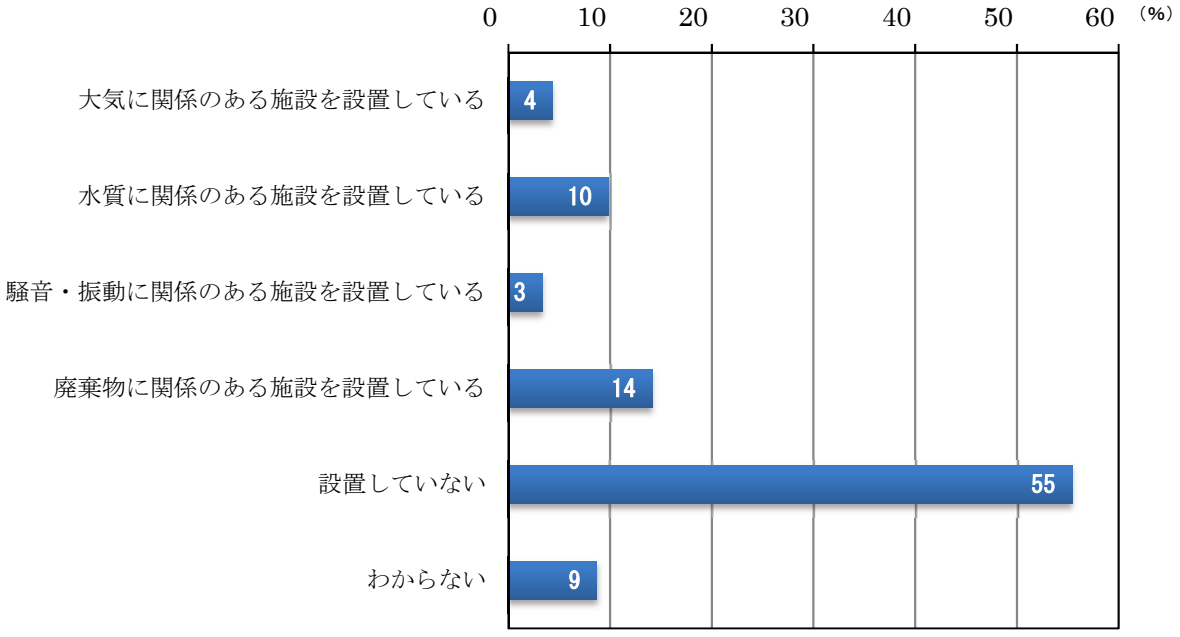
社員数



経営年数



公害関係の届出が必要な施設の設置状況



（3）調査結果

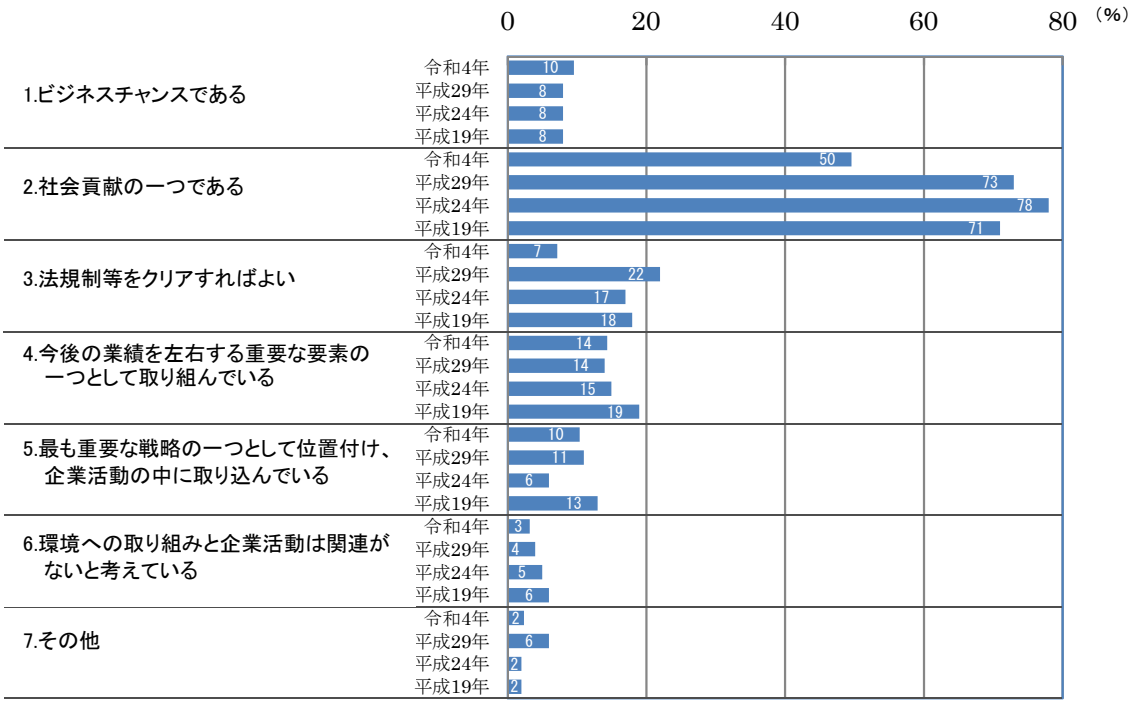
1）環境保全対策の取組状況と今後の意向

① 環境への取組と企業活動のあり方

佐伯市内の事業所において、環境への取り組みと企業活動のあり方について聞いたところ、全体では「社会貢献の一つである」との回答が、過去の調査と同様に最も多く、「今後の業績を左右する重要な要素の一つとして取り組んでいる」、「ビジネスチャンスである」等が続いている。

従業員規模別にみたところ、従業員数の多寡に限らず「社会貢献の一つ」と位置付けているようである。

■ 企業の環境への取組と企業活動のあり方についてどう思うか（複数回答）



■ 企業の環境への取組と企業活動のあり方について（業種別、社員数別）　（%）

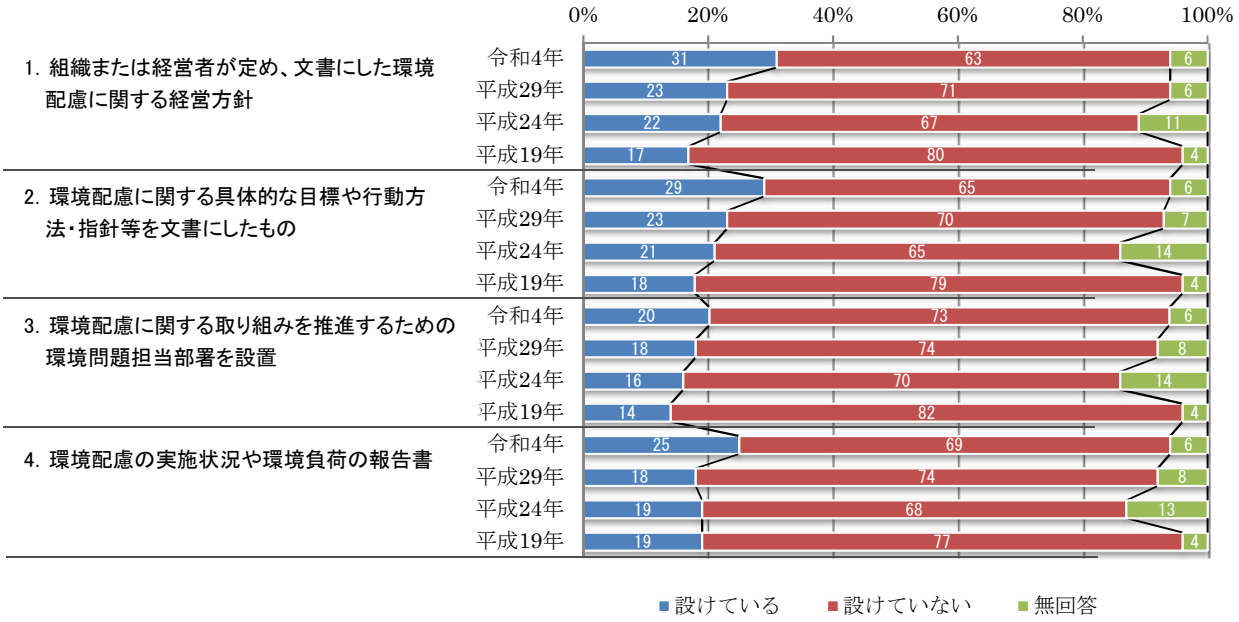
区　分		ビジネスチャンスである	社会貢献の一つである	法規制等をクリアすればよい	今後の業績を左右する重要な要素の一つとして取り組んでいる	最も重要な戦略の一つとして位置づけ、取り込んでいる	環境への取り組みと企業活動は関連がないと考えている	その他	無回答
業種	農林漁業	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	建設業	7.1	57.1	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0
	製造業	0.0	36.4	18.2	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸･通信業	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	卸売･小売業、飲食店	12.5	56.3	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	6.3
	サービス業(旅館、医療業含む)	11.4	40.0	17.1	11.4	2.9	8.6	5.7	2.9
	その他	13.0	52.2	0.0	21.7	8.7	0.0	4.3	0.0
社員数	10 人未満	10.0	52.0	6.0	14.0	8.0	0.0	4.0	6.0
	10～49 人	12.2	49.0	4.1	16.3	12.2	4.1	0.0	2.0
	50～99 人	0.0	42.9	28.6	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0
	100～299 人	9.1	45.5	0.0	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0
	300 人以上	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計		10.0	50.0	7.0	14.0	10.0	3.0	2.0	3.0

② 環境配慮の方針

佐伯市内の事業所において、環境配慮方針や指針等を作成しているかどうか、環境問題担当の部署を設置しているかどうか、環境配慮の報告書等を作成しているかどうか、それぞれ聞いたところ、全項目で、「設けている」との回答が過去の調査より増加している。

現在の状況

■ 現在、環境配慮に関する計画や組織を設けているか



■ 計画や組織の設置状況（業種別、社員数別）

1. 組織または経営者が定め、文書にした環境配慮に関する経営方針 （%）

区 分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	25.0	50.0	25.0
	建設業	9.1	90.9	0.0
	製造業	62.5	37.5	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	70.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	19.0	66.7	14.3
	その他	57.1	42.9	0.0
社員数	10 人未満	29.4	64.7	5.9
	10～49 人	25.8	64.5	9.7
	50～99 人	18.2	81.8	0.0
	100～299 人	83.3	16.7	0.0
	300 人以上	100.0	0.0	0.0
計		31.0	63.0	6.0

2．環境配慮に関する具体的な目標や行動方法・指針等を文書にしたもの　（%）

区　分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	25.0	50.0	25.0
	建設業	9.1	90.9	0.0
	製造業	50.0	50.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	70.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	71.4	14.3
	その他	57.1	42.9	0.0
社員数	10 人未満	29.4	64.7	5.9
	10～49 人	22.6	67.7	9.7
	50～99 人	18.2	81.8	0.0
	100～299 人	66.7	33.3	0.0
	300 人以上	100.0	0.0	0.0
計		29.0	66.0	6.0

3．環境配慮に関する取組を推進するための環境問題担当部署を設置　（%）

区　分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	0.0	75.0	25.0
	建設業	18.2	81.8	0.0
	製造業	37.5	62.5	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	70.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.8	81.0	14.3
	その他	42.9	57.1	0.0
社員数	10 人未満	20.6	73.5	5.9
	10～49 人	19.4	71.0	9.7
	50～99 人	9.1	90.9	0.0
	100～299 人	50.0	50.0	0.0
	300 人以上	0.0	100.0	0.0
計		20.0	73.0	6.0

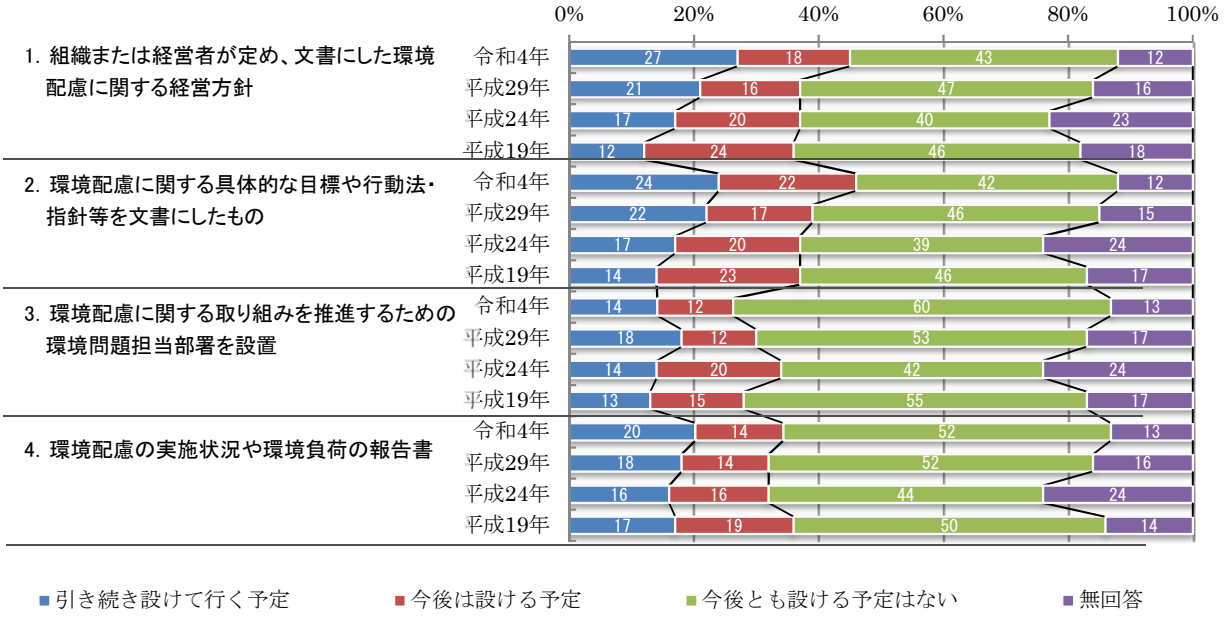
4．環境配慮の実施状況や環境負荷の報告書　（%）

区　分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	25.0	50.0	25.0
	建設業	18.2	81.8	0.0
	製造業	37.5	62.5	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	10.0	85.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	19.0	66.7	14.3
	その他	57.1	42.9	0.0
社員数	10 人未満	17.6	76.5	5.9
	10～49 人	25.8	64.5	9.7
	50～99 人	27.3	72.7	0.0
	100～299 人	50.0	50.0	0.0
	300 人以上	100.0	0.0	0.0
計		25.0	69.0	6.0

今後の予定

佐伯市内の事業所において、環境配慮方針や指針等を作成するかどうか、環境問題担当の部署を設置するかどうか、環境配慮の報告書等を作成するかどうか、それぞれ今後の予定を聞いたところ、「3. 環境配慮に関する取り組みを推進するための環境問題担当部署を設置」を除く３項目で、「引き続き設けていく予定」との回答が過去の調査より増加している。

■ 環境配慮に関する計画や組織についての今後の予定



■ 今後の予定（業種別、社員数別）

1. 組織または経営者が定め、文書にした環境配慮に関する経営方針 （%）

区 分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	25.0	0.0	50.0	25.0
	建設業	27.3	27.3	45.5	0.0
	製造業	37.5	12.5	25.0	25.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸･通信業	25.0	0.0	75.0	0.0
	卸売･小売業、飲食店	20.0	25.0	45.0	10.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	19.0	14.3	47.6	19.0
	その他	35.7	21.4	35.7	7.1
社員数	10 人未満	23.5	11.8	52.9	11.8
	10～49 人	25.8	29.0	32.3	12.9
	50～99 人	18.2	18.2	63.6	0.0
	100～299 人	50.0	0.0	16.7	33.3
	300 人以上	100.0	0.0	0.0	0.0
計		27.0	18.0	43.0	12.0

2．環境配慮に関する具体的な目標や行動方法・指針等を文書にしたもの　（%）

区　分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	25.0	0.0	50.0	25.0
	建設業	27.3	27.3	45.5	0.0
	製造業	25.0	25.0	25.0	25.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	25.0	50.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.0	25.0	45.0	10.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	14.3	52.4	19.0
	その他	35.7	28.6	28.6	7.1
社員数	10 人未満	23.5	11.8	52.9	11.8
	10～49 人	22.6	32.3	32.3	12.9
	50～99 人	18.2	27.3	54.5	0.0
	100～299 人	33.3	16.7	16.7	33.3
	300 人以上	100.0	0.0	0.0	0.0
計		24.0	22.0	42.0	12.0

3．環境配慮に関する取組を推進するための環境問題担当部署を設置　（%）

区　分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	75.0	25.0
	建設業	27.3	9.1	63.6	0.0
	製造業	12.5	12.5	50.0	25.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	25.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.0	0.0	65.0	15.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.8	19.0	57.1	19.0
	その他	21.4	21.4	50.0	7.1
社員数	10 人未満	14.7	8.8	64.7	11.8
	10～49 人	16.1	12.9	54.8	16.1
	50～99 人	9.1	9.1	81.8	0.0
	100～299 人	16.7	16.7	33.3	33.3
	300 人以上	0.0	100.0	0.0	0.0
計		14.0	12.0	60.0	13.0

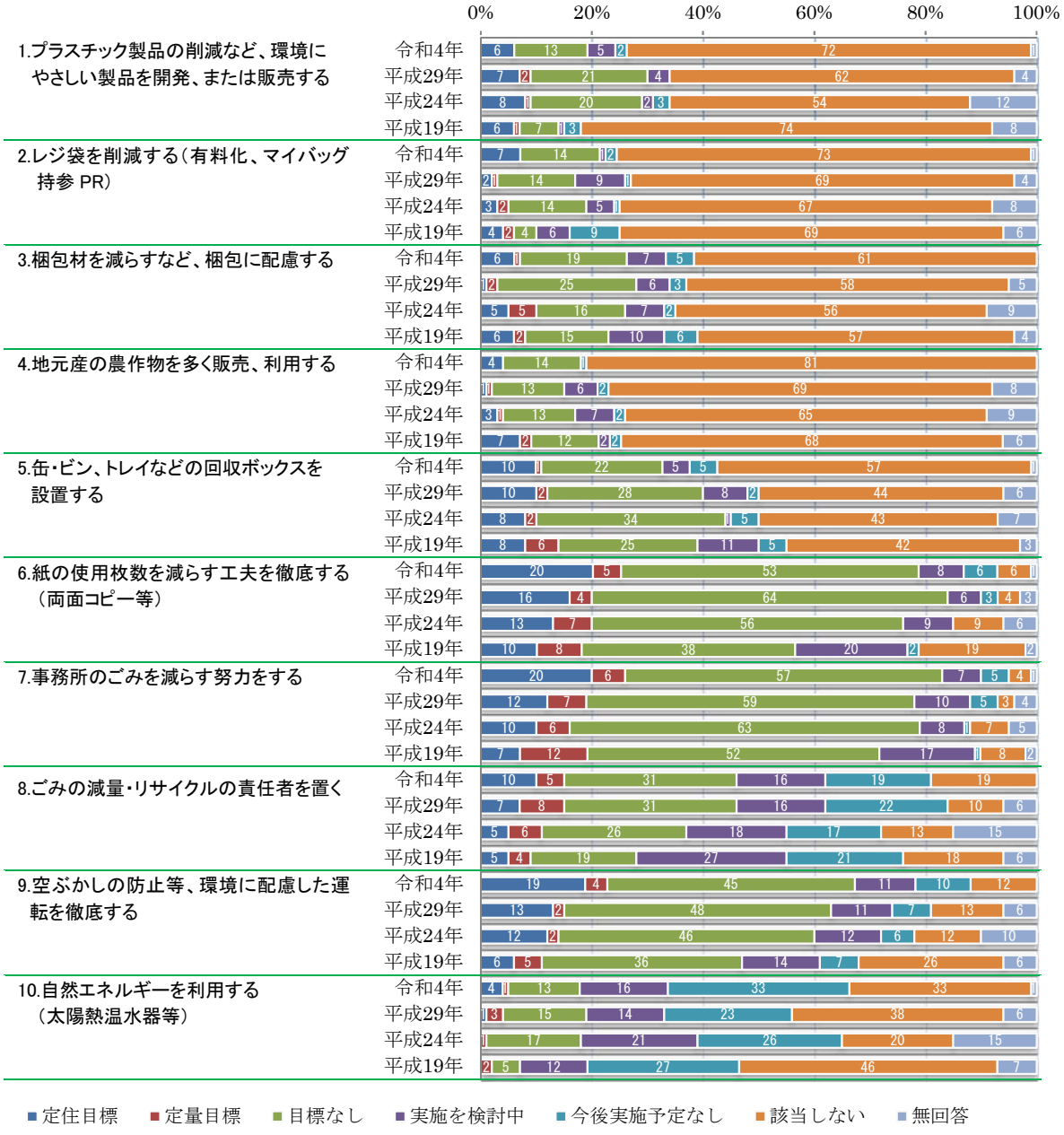
4．環境配慮の実施状況や環境負荷の報告書　（%）

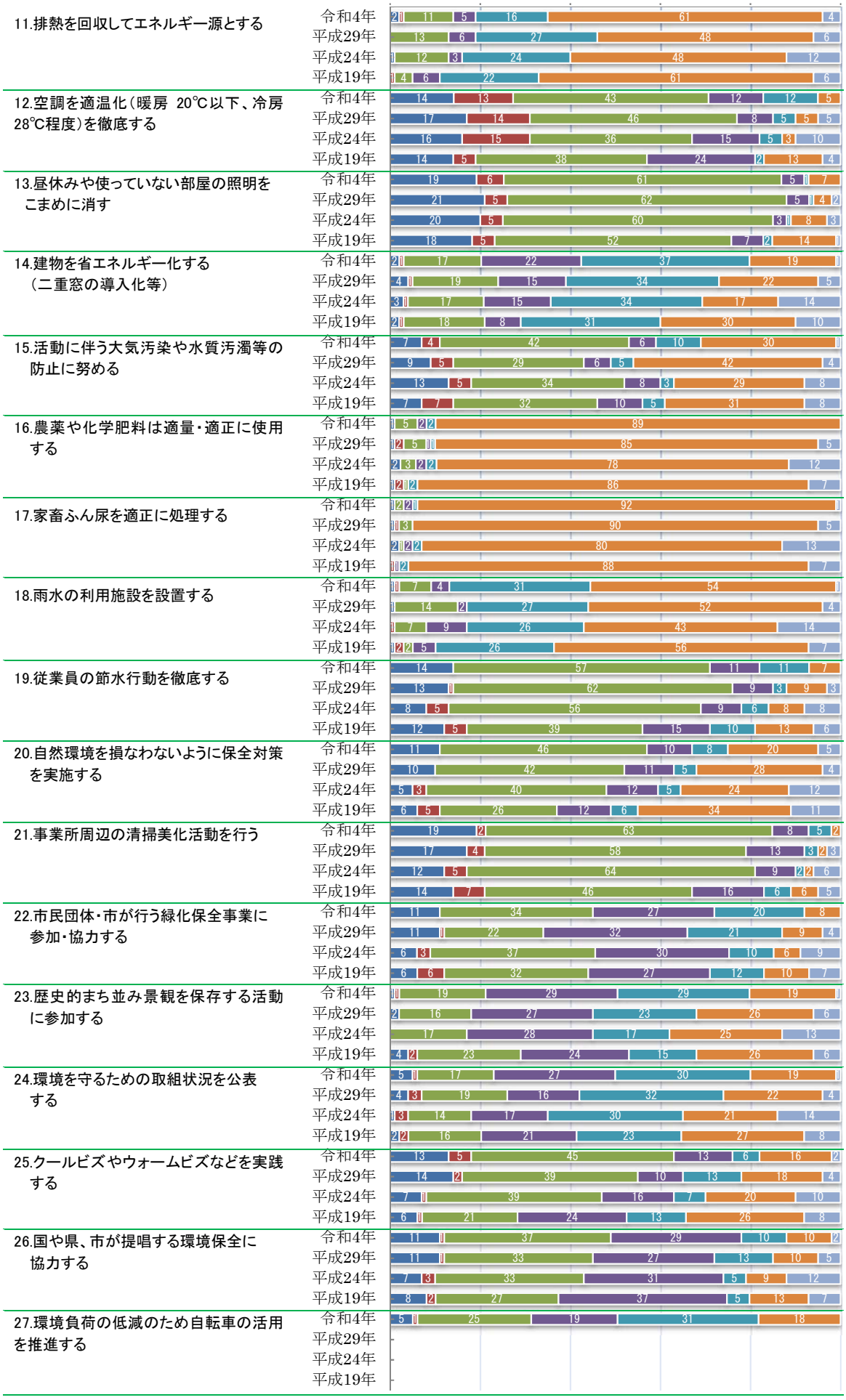
区　分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	25.0	0.0	50.0	25.0
	建設業	27.3	27.3	45.5	0.0
	製造業	12.5	12.5	50.0	25.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	25.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	10.0	10.0	65.0	15.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	19.0	14.3	47.6	19.0
	その他	35.7	14.3	42.9	7.1
社員数	10 人未満	14.7	17.6	55.9	11.8
	10～49 人	22.6	12.9	48.4	16.1
	50～99 人	27.3	9.1	63.6	0.0
	100～299 人	16.7	16.7	33.3	33.3
	300 人以上	100.0	0.0	0.0	0.0
計		20.0	14.0	52.0	13.0

2）環境保全活動の実施状況

佐伯市の事業所について環境保全活動の実施状況について聞いたところ、13 項目で「実施している」との回答が 40 パーセントを超えている。特に、「6. 紙の使用枚数を減らす工夫を徹底する（両面コピー等）」（78%）、「７. 事務所のごみを減らす努力をする」（83%）、「9. 空ぶかしの防止等、環境に配慮した運転を徹底する」（68%）、「12. 空調の適温化（暖房 20℃以下、冷房 28℃程度）を徹底する」（70%）、「13. 昼休みや使っていない部屋の照明をこまめに消す」（86%）、「19. 従業員の節水行動を徹底する」（71%）、「21. 事務所周辺の清掃美化活動を行う」（84%）、「25. クールビズやウォームビズなどを実践する」（63%）の８項目の回答が 60 パーセントを超えている。「今後実施予定なし」の回答が 30 パーセントを超える項目としては、「10. 自然エネルギーを利用する（太陽熱温水器等）」（33%）、「14. 建物を省エネルギー化する（二重窓の導入化等）」（37%）、「18. 雨水の利用施設を設置する」（31%）、「24. 環境を守るための取組状況を公表する」（30%）、「27. 環境負荷を低減するため自転車の活用を推進する」（31%）の５項目となっている。

■ 環境保全活動の取組状況




11.排熱を回収してエネルギー源とする
令和4年 2 11 5 16 61 4
平成29年 13 6 27 48 6
平成24年 12 3 24 48 12
平成19年 4 6 22 61 6
12.空調を適温化（暖房 20℃以下、冷房28℃程度）を徹底する
令和4年 14 13 43 12 12 5
平成29年 17 14 46 8 5 5 5
平成24年 16 15 36 15 5 3 10
平成19年 14 5 38 24 2 13 4
13.昼休みや使っていない部屋の照明をこまめに消す
令和4年 19 6 61 5 7
平成29年 21 5 62 5 4 2
平成24年 20 5 60 3 8 3
平成19年 18 5 52 7 2 14
14.建物を省エネルギー化する（二重窓の導入化等）
令和4年 2 17 22 37 19
平成29年 4 19 15 34 22 5
平成24年 3 17 15 34 17 14
平成19年 2 18 8 31 30 10
15.活動に伴う大気汚染や水質汚濁等の防止に努める
令和4年 7 4 42 6 10 30
平成29年 9 5 29 6 5 42 4
平成24年 13 5 34 8 3 29 8
平成19年 7 7 32 10 5 31 8
16.農薬や化学肥料は適量・適正に使用する
令和4年 5 2 2 89
平成29年 2 5 85 5
平成24年 2 3 2 2 78 12
平成19年 2 2 86 7
17.家畜ふん尿を適正に処理する
令和4年 2 2 92
平成29年 3 90 5
平成24年 2 2 2 80 13
平成19年 2 88 7
18.雨水の利用施設を設置する
令和4年 7 4 31 54
平成29年 14 2 27 52 4
平成24年 7 9 26 43 14
平成19年 2 2 5 26 56 7
19.従業員の節水行動を徹底する
令和4年 14 57 11 11 7
平成29年 13 62 9 3 9 3
平成24年 8 5 56 9 6 8 8
平成19年 12 5 39 15 10 13 6
20.自然環境を損なわないように保全対策を実施する
令和4年 11 46 10 8 20 5
平成29年 10 42 11 5 28 4
平成24年 5 3 40 12 5 24 12
平成19年 6 5 26 12 6 34 11
21.事業所周辺の清掃美化活動を行う
令和4年 19 2 63 8 5 2
平成29年 17 4 58 13 3 2 3
平成24年 12 5 64 9 2 2 6
平成19年 14 7 46 16 6 6 5
22.市民団体・市が行う緑化保全事業に参加・協力する
令和4年 11 34 27 20 8
平成29年 11 22 32 21 9 4
平成24年 6 3 37 30 10 6 9
平成19年 6 6 32 27 12 10 7
23.歴史的まち並み景観を保存する活動に参加する
令和4年 19 29 29 19
平成29年 2 16 27 23 26 6
平成24年 17 28 17 25 13
平成19年 4 2 23 24 15 26 6
24.環境を守るための取組状況を公表する
令和4年 5 17 27 30 19
平成29年 4 3 19 16 32 22 4
平成24年 3 14 17 30 21 14
平成19年 2 2 16 21 23 27 8
25.クールビズやウォームビズなどを実践する
令和4年 13 5 45 13 6 16 2
平成29年 14 2 39 10 13 18 4
平成24年 7 39 16 7 20 10
平成19年 6 21 24 13 26 8
26.国や県、市が提唱する環境保全に協力する
令和4年 11 37 29 10 10 2
平成29年 11 33 27 13 10 5
平成24年 7 3 33 31 5 9 12
平成19年 8 2 27 37 5 13 7
27.環境負荷の低減のため自転車の活用を推進する
令和4年 5 25 19 31 18
平成29年
平成24年
平成19年
定住目標
定量目標
目標なし
実施を検討中
今後実施予定なし
該当しない
無回答

■ 環境保全活動の実施状況（業種別）

1．プラスチック品の削減など環境にやさしい製品を開発する、または販売する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	90.9	0.0
	製造業	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	0.0	15.0	10.0	0.0	55.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.8	0.0	9.5	9.5	4.8	71.4	0.0
	その他	7.1	0.0	21.4	0.0	0.0	71.4	0.0
計		6.0	0.0	13.0	5.0	2.0	72.0	1.0

2．レジ袋を削減する（有料化、マイバッグ（袋）の持参 PR,マイバッグ（袋）を持参した人への特典など）

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	建設業	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	72.7	0.0
	製造業	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	0.0	20.0	0.0	0.0	65.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.8	0.0	14.3	4.8	0.0	71.4	4.8
	その他	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	78.6	0.0
計		7.0	0.0	14.0	1.0	2.0	73.0	1.0

3．梱包材を減らすなど、製品・商品の梱包に配慮する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	90.9	0.0
	製造業	0.0	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.0	0.0	15.0	15.0	5.0	45.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.8	0.0	19.0	4.8	0.0	71.4	0.0
	その他	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0
計		6.0	1.0	19.0	7.0	5.0	61.0	0.0

4．輸送エネルギーの少ない地元産の農作物を多く販売、または利用する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	建設業	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	81.8	0.0
	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	70.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	23.8	0.0	0.0	76.2	0.0
	その他	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	92.9	0.0
計		4.0	0.0	14.0	0.0	1.0	81.0	0.0

5. 店舗に缶・ビン、紙パック、トレイなどの回収ボックスを設置する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	建設業	0.0	0.0	18.2	18.2	9.1	54.5	0.0
	製造業	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	75.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.0	5.0	30.0	5.0	5.0	35.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	0.0	9.5	0.0	9.5	61.9	4.8
	その他	7.1	0.0	21.4	0.0	0.0	71.4	0.0
計		10.0	1.0	22.0	5.0	5.0	57.0	1.0

6. 紙の使用枚数を減らす工夫を徹底する（両面コピーなど）

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	18.2	0.0	54.5	18.2	9.1	0.0	0.0
	製造業	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.0	0.0	55.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	4.8	47.6	9.5	4.8	14.3	4.8
	その他	21.4	0.0	64.3	0.0	14.3	0.0	0.0
計		20.0	5.0	53.0	8.0	6.0	6.0	1.0

7. 事業所のごみを減らすよう努力する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	9.1	9.1	54.5	9.1	9.1	9.1	0.0
	製造業	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	5.0	50.0	15.0	5.0	0.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	4.8	52.4	4.8	9.5	9.5	4.8
	その他	21.4	0.0	78.6	0.0	0.0	0.0	0.0
計		20.0	6.0	57.0	7.0	5.0	4.0	1.0

8. ごみの減量・リサイクルの責任者（担当者）を置く

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	建設業	9.1	0.0	45.5	9.1	27.3	9.1	0.0
	製造業	0.0	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	5.0	20.0	20.0	25.0	15.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	9.5	4.8	19.0	14.3	14.3	38.1	0.0
	その他	7.1	0.0	50.0	14.3	7.1	21.4	0.0
計		10.0	5.0	31.0	16.0	19.0	19.0	0.0

9. 社用車の空ぶかしの防止等、環境に配慮した運転の仕方を徹底する （%）

区 分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	建設業	18.2	0.0	54.5	0.0	18.2	9.1	0.0
	製造業	12.5	0.0	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	15.0	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	23.8	0.0	28.6	19.0	4.8	23.8	0.0
	その他	14.3	0.0	78.6	0.0	0.0	7.1	0.0
計		19.0	4.0	45.0	11.0	10.0	12.0	0.0

10. 自然エネルギーを利用する（太陽熱温水器、太陽光発電、風力発電等） （%）

区 分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	建設業	9.1	0.0	9.1	9.1	36.4	36.4	0.0
	製造業	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	25.0	12.5
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	10.0	0.0	10.0	20.0	30.0	30.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	14.3	9.5	33.3	42.9	0.0
	その他	0.0	0.0	14.3	21.4	35.7	28.6	0.0
計		4.0	1.0	13.0	16.0	33.0	33.0	1.0

11. 排熱を回収してエネルギー源とする （%）

区 分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	72.7	0.0
	製造業	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
	卸売・小売業、飲食店	5.0	0.0	5.0	0.0	15.0	75.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	14.3	4.8	9.5	71.4	0.0
	その他	0.0	0.0	14.3	7.1	21.4	57.1	0.0
計		2.0	1.0	11.0	5.0	16.0	61.0	4.0

12. 空調の適温化（暖房 20℃以下、冷房 28℃程度）を徹底する （%）

区 分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	63.6	0.0	18.2	9.1	0.0
	製造業	12.5	25.0	37.5	0.0	12.5	12.5	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.0	15.0	30.0	25.0	10.0	0.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	19.0	38.1	14.3	9.5	4.8	0.0
	その他	14.3	0.0	42.9	14.3	21.4	7.1	0.0
計		14.0	13.0	43.0	12.0	12.0	5.0	0.0

13. 昼休みや使っていない部屋の照明をこまめに消す

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	72.7	0.0	9.1	9.1	0.0
	製造業	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	10.0	55.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	23.8	4.8	52.4	4.8	0.0	14.3	0.0
	その他	21.4	0.0	64.3	14.3	0.0	0.0	0.0
計		19.0	6.0	61.0	5.0	1.0	7.0	0.0

14. 建物を省エネルギー化する（二重窓の導入、高気密・高断熱化等）

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	27.3	0.0	36.4	27.3	0.0
	製造業	0.0	0.0	25.0	37.5	25.0	0.0	12.5
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	5.0	0.0	10.0	15.0	45.0	25.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	14.3	28.6	33.3	23.8	0.0
	その他	0.0	0.0	21.4	14.3	42.9	21.4	0.0
計		2.0	1.0	17.0	22.0	37.0	19.0	1.0

15. 事業所活動に伴う大気汚染や水質汚濁等の公害の防止に努める

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	建設業	0.0	0.0	36.4	18.2	18.2	27.3	0.0
	製造業	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	5.0	0.0	45.0	5.0	15.0	30.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	9.5	0.0	28.6	9.5	4.8	47.6	0.0
	その他	14.3	0.0	42.9	0.0	14.3	28.6	0.0
計		7.0	4.0	42.0	6.0	10.0	30.0	1.0

16. 農薬や化学肥料は適量・適正に使用する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	建設業	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	81.8	0.0
	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	85.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	95.2	0.0
	その他	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	92.9	0.0
計		1.0	0.0	5.0	2.0	2.0	89.0	0.0

17. 家畜ふん尿を適正に処理する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	建設業	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	81.8	0.0
	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	90.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	90.5	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
計		1.0	0.0	2.0	2.0	1.0	92.0	1.0

18. 雨水の利用施設を設置する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	9.1	9.1	18.2	54.5	0.0
	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	0.0	5.0	25.0	65.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.8	0.0	9.5	0.0	33.3	52.4	0.0
	その他	0.0	0.0	21.4	7.1	21.4	50.0	0.0
計		1.0	1.0	7.0	4.0	31.0	54.0	1.0

19. 従業員の節水行動を徹底する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	0.0	54.5	9.1	18.2	18.2	0.0
	製造業	12.5	0.0	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	0.0	60.0	15.0	5.0	5.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	23.8	0.0	52.4	9.5	4.8	9.5	0.0
	その他	14.3	0.0	57.1	14.3	7.1	7.1	0.0
計		14.0	0.0	57.0	11.0	11.0	7.0	0.0

20. 自然環境を損なわないように保全対策を実施する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	建設業	0.0	0.0	36.4	18.2	27.3	18.2	0.0
	製造業	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	25.0	25.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	0.0	55.0	10.0	10.0	10.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	9.5	0.0	42.9	9.5	4.8	28.6	4.8
	その他	14.3	0.0	42.9	0.0	7.1	35.7	0.0
計		11.0	0.0	46.0	10.0	8.0	20.0	5.0

21. 事業所周辺の清掃美化活動を行う

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	63.6	9.1	9.1	9.1	0.0
	製造業	12.5	0.0	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	5.0	45.0	15.0	10.0	0.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	28.6	0.0	61.9	0.0	4.8	4.8	0.0
	その他	21.4	0.0	71.4	7.1	0.0	0.0	0.0
計		19.0	2.0	63.0	8.0	5.0	2.0	0.0

22. 市民団体・市が行う緑化保全活動（花いっぱい運動など）に参加・協力する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	建設業	9.1	0.0	36.4	36.4	18.2	0.0	0.0
	製造業	0.0	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	0.0	30.0	25.0	20.0	10.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	0.0	23.8	23.8	19.0	19.0	0.0
	その他	7.1	0.0	57.1	14.3	14.3	7.1	0.0
計		11.0	0.0	34.0	27.0	20.0	8.0	0.0

23. 歴史的まち並み景観を保存する活動に参加する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	18.2	36.4	18.2	18.2	0.0
	製造業	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	5.0	0.0	20.0	20.0	40.0	15.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	14.3	33.3	19.0	28.6	4.8
	その他	0.0	0.0	28.6	28.6	21.4	21.4	0.0
計		1.0	1.0	19.0	29.0	29.0	19.0	1.0

24. 環境を守るための取組状況を公表する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	9.1	18.2	36.4	27.3	0.0
	製造業	12.5	0.0	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	5.3	0.0	15.8	26.3	31.6	21.1	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.5	0.0	0.0	31.8	31.8	27.3	4.5
	その他	7.1	0.0	35.7	28.6	14.3	14.3	0.0
計		5.0	1.0	17.0	27.0	30.0	19.0	1.0

25. クールビズやウォームビズなどを実践する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	18.2	18.2	36.4	18.2	0.0
	製造業	12.5	12.5	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	15.0	10.0	40.0	10.0	0.0	20.0	5.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	0.0	52.4	9.5	4.8	14.3	4.8
	その他	21.4	0.0	57.1	14.3	0.0	7.1	0.0
計		13.0	5.0	45.0	13.0	6.0	16.0	2.0

26. 国や県、市が提唱する環境保全活動に協力する

（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	36.4	45.5	9.1	0.0	0.0
	製造業	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	10.0	0.0	35.0	25.0	20.0	10.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	14.3	0.0	38.1	19.0	4.8	19.0	4.8
	その他	14.3	0.0	57.1	21.4	0.0	7.1	0.0
計		11.0	1.0	37.0	29.0	10.0	10.0	2.0

27. 環境負荷の低減のため自転車の活用を推進する

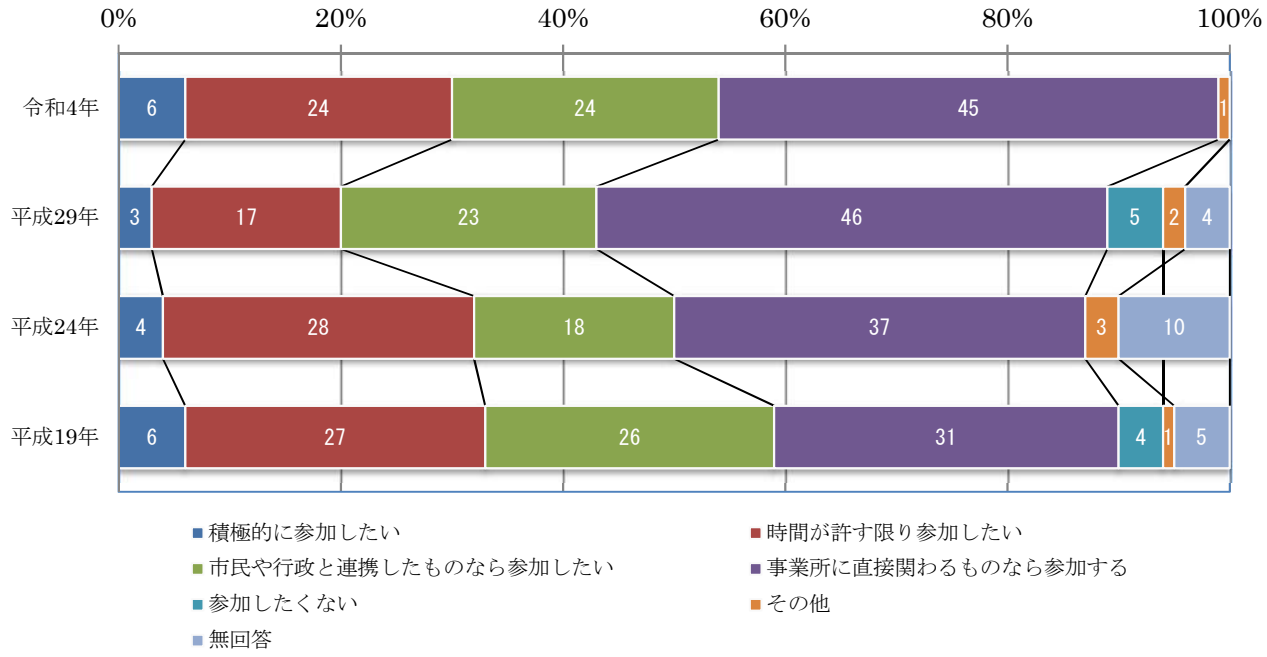
（%）

区　分		実施している（定性目標）	実施している（定量目標）	実施している（目標なし）	実施を検討中	今後実施予定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	建設業	0.0	9.1	18.2	36.4	18.2	18.2	0.0
	製造業	12.5	0.0	12.5	25.0	50.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	5.0	0.0	25.0	20.0	30.0	20.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	9.5	0.0	23.8	9.5	33.3	23.8	0.0
	その他	0.0	0.0	42.9	7.1	42.9	7.1	0.0
計		5.0	1.0	25.0	19.0	31.0	18.0	0.0

3）環境保全活動への参加意向

環境保全活動への参加意向について聞いたところ、「積極的に参加したい」又は「時間が許す限り参加したい」と回答した事業所は 30 パーセント（前回比 10 ポイント増）、「市民や行政と連携したものなら参加したい」、「事業所に直接関わるものなら参加する」があわせて 69 パーセント（前回と同率）、「参加したくない」と回答した事業者は０パーセント（前回比５ポイント減）となっている。事業規模が大きい事業所ほど参加意向が高くなっている。

■ 地域活動にどの程度参加したいか



■ 地域活動への参加意向（業種別、社員数別）

（%）

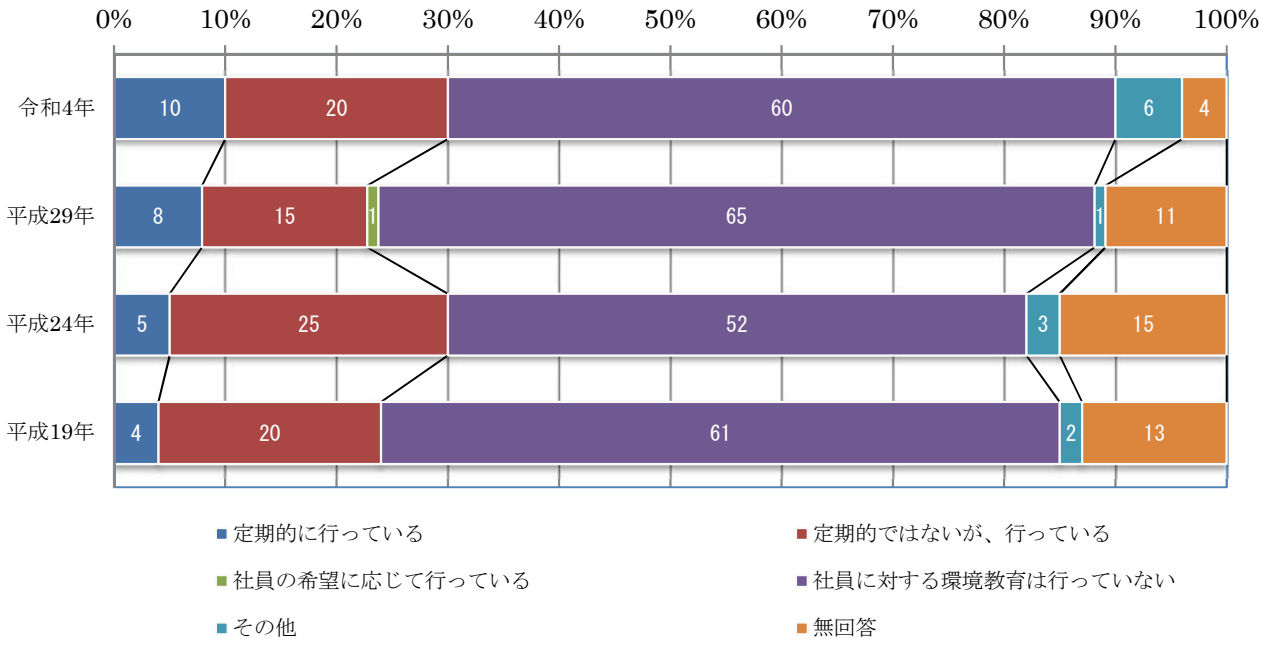
区　分		会合や行事などに積極的に参加したい	時間などが許す限り参加したい	市民や行政と連携したものであれば参加したい	事業所に直接関わる問題ならば参加する	参加したくない	その他	無回答
業種	農林漁業	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	9.1	45.0	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0
	製造業	0.0	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸･通信業	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	卸売･小売業、飲食店	5.0	25.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	ｻｰﾋﾞｽ業(旅館、医療業含む)	0.0	23.8	14.3	57.1	0.0	4.8	0.0
	その他	21.4	7.1	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0
社員数	10 人未満	8.8	20.6	17.6	52.9	0.0	0.0	0.0
	10～49 人	6.5	22.6	32.3	35.5	0.0	3.2	0.0
	50～99 人	0.0	27.3	9.1	63.6	0.0	0.0	0.0
	100～299 人	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	300 人以上	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
計		6.0	24.0	24.0	45.0	0.0	1.0	0.0

4）環境教育の実施状況

① 取組状況

従業員の環境教育の実施状況について聞いたところ、「行っている」と回答した事業所があわせて 30 パーセント（前回比 7 ポイント増）、「行っていない」と回答した事業所が 60 パーセント（前回比 5 ポイント減）となっている。従業員規模別にみたところ、従業員数が少ない事業所ほど社員に対する環境教育を行っていない傾向がある。

■ 環境配慮に関する社員教育にどのように取り組んでいるか



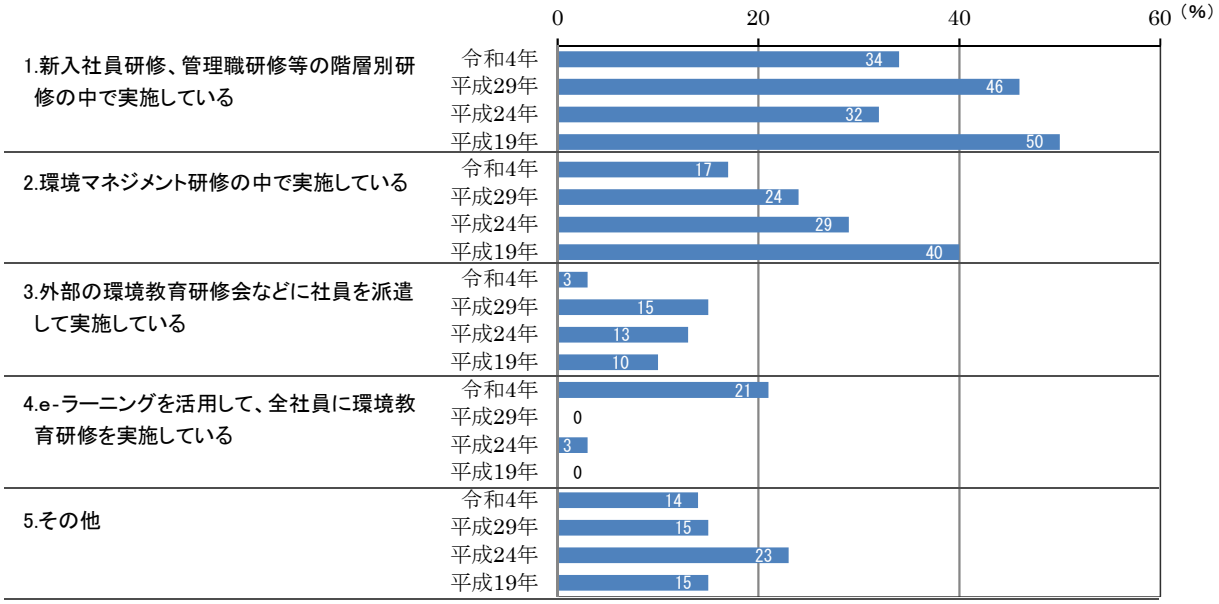
■ 社員教育の取組状況（業種別、社員数別）　（%）

区　分		定期的に行っている	定期的ではないが、行っている	社員の希望に応じて行っている	社員に対する環境教育は行っていない	その他	無回答
業種	農林漁業	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	27.3	0.0	63.6	0.0	9.1
	製造業	25.0	12.5	0.0	62.5	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0
	卸売･小売業、飲食店	10.0	20.0	0.0	65.0	5.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	19.0	0.0	61.9	14.3	4.8
	その他	28.6	21.4	0.0	42.9	7.1	0.0
社員数	10 人未満	5.9	17.6	0.0	52.9	14.7	8.8
	10～49 人	9.7	25.8	0.0	64.5	0.0	0.0
	50～99 人	9.1	18.2	0.0	72.7	0.0	0.0
	100～299 人	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0
	300 人以上	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
計		10.0	20.0	0.0	60.0	6.0	4.0

② 取組方法

①で社員教育を行っている事業所に対して、どの様な形で環境教育を行っているか聞いたところ、「1. 新入社員研修、管理職研修等の階層別研修の中で実施している」という回答が 34 パーセント（前回比 12 ポイント減）、「2. 環境マネジメント研修の中で実施」が 17 パーセント（前回比 7 ポイント減）となっている。「4. e-ラーニングを活用して、全社員に環境教育研修を実施している」が 21 パーセント（前回比 21 ポイント増）となっておりインターネットを中心とする IT 技術を活用した教育システムの普及が進んでいる。

■ 環境教育をどのような形で行っているか（複数回答）



■ 取組の内容（業種別、社員数別）

（%）

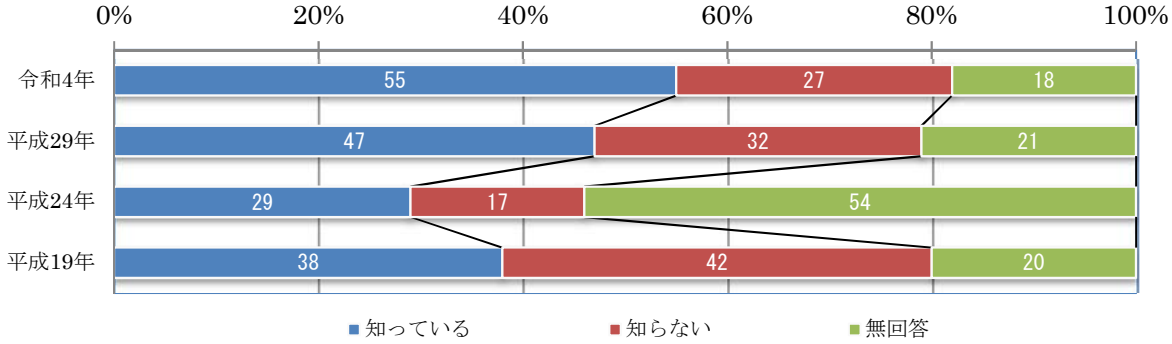
区 分		新入社員研修、管理職研修等の階層別研修の中で実施している	環境マネジメント研修の中で実施している	外部の環境教育研修会などに社員を派遣して実施している	e-ラーニングを活用して、全社員に環境教育研修を実施している	その他	無回答
業種	農林漁業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	製造業	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸･通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	卸売･小売業、飲食店	16.7	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	その他	42.9	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0
社員数	10 人未満	18.2	18.2	0.0	18.2	18.2	27.3
	10～49 人	36.4	18.2	9.1	18.2	18.2	0.0
	50～99 人	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	100～299 人	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	300 人以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計		34.0	17.0	3.0	21.0	14.0	10.0

5）環境マネジメントシステムについて

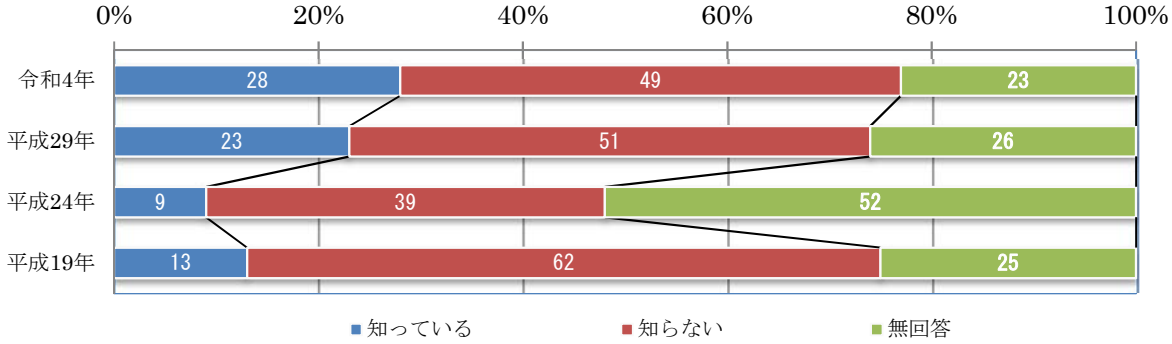
① 認知度

環境マネジメントシステムについて聞いたところ、認知度について「知っている」と回答した事業所は、ISO14001 が 55 パーセント（前回比８ポイント増）、エコアクション 21 が 28 パーセント（前回比５ポイント増）となっている。ISO14001、エコアクション 21 ともに無回答の割合が３ポイント減少している。

■ ＩＳＯ14001 の認知度



■ エコアクション２１の認知度



■ 認知度（業種別、社員数別）

●ISO14000 規格の取得 （%）

区 分		知っている	知らない	無回答
業種	農林漁業	50.0	0.0	50.0
	建設業	54.5	18.2	27.3
	製造業	87.5	12.5	0.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	35.0	50.0	15.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	57.1	19.0	23.8
	その他	71.4	14.3	14.3
社員数	10 人未満	44.1	41.2	14.7
	10～49 人	58.1	19.4	22.6
	50～99 人	63.6	18.2	18.2
	100～299 人	100.0	0.0	0.0
	300 人以上	0.0	0.0	100.0
計		55.0	27.0	18.0

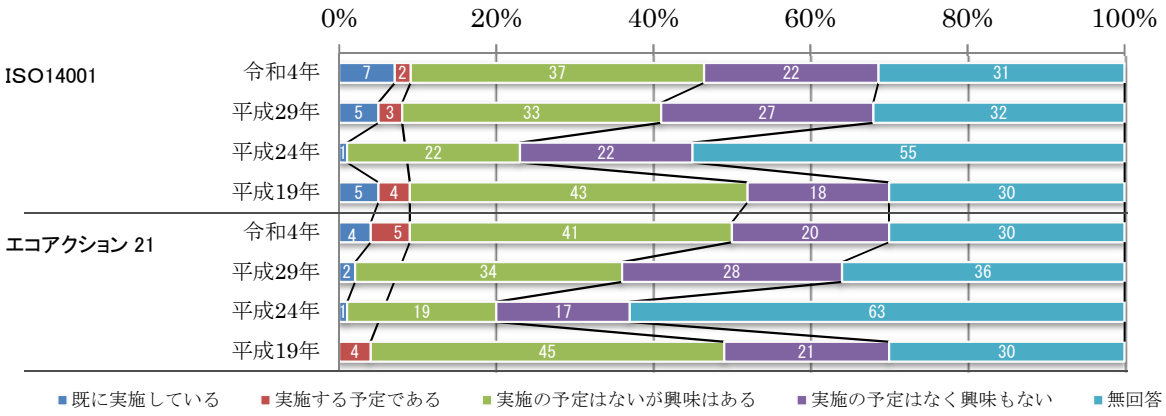
●環境活動評価プログラム（エコアクション 21 の実施） （%）

区 分		知っている	知らない	無回答
業種	農林漁業	0.0	50.0	50.0
	建設業	27.3	36.4	36.4
	製造業	37.5	50.0	12.5
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	25.0	75.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	55.0	20.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	23.8	42.9	33.3
	その他	42.9	50.0	7.1
社員数	10 人未満	23.5	61.8	14.7
	10～49 人	29.0	38.7	32.3
	50～99 人	27.3	54.5	18.2
	100～299 人	50.0	33.3	16.7
	300 人以上	0.0	0.0	100.0
計		28.0	49.0	23.0

② 取組状況と今後の意向

ISO14001、エコアクション 21 それぞれの取得状況及び今後の意向について聞いたところ、「実施の予定はないが興味はある」と回答した事業者が前回より４ポイント以上増加し、ISO14001 は 37 パーセント、エコアクション 21 は 41 パーセントとなっている。

■ ＩＳＯ14001 及びエコアクション２１の取組状況



■ 取組状況（業種別、社員数別）

●ISO14000 規格の取得　　（%）

区　分		既に実施している	実施する予定である	実施の予定はないが興味はある	実施の予定はなく興味もない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0
	建設業	9.1	0.0	54.5	18.2	18.2
	製造業	25.0	12.5	12.5	25.0	25.0
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	卸売･小売業、飲食店	5.0	5.0	20.0	25.0	45.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.8	0.0	33.3	23.8	38.1
	その他	7.1	0.0	50.0	14.3	28.6
社員数	10 人未満	5.9	5.9	29.4	26.5	32.4
	10～49 人	3.2	0.0	45.2	16.1	35.5
	50～99 人	9.1	0.0	36.4	27.3	27.3
	100～299 人	33.3	0.0	33.3	16.7	16.7
	300 人以上	0	0.0	100.0	0.0	0.0
計		7.0	2.0	37.0	22.0	31.0

●環境活動評価プログラム（エコアクション 21 の実施）　　（%）

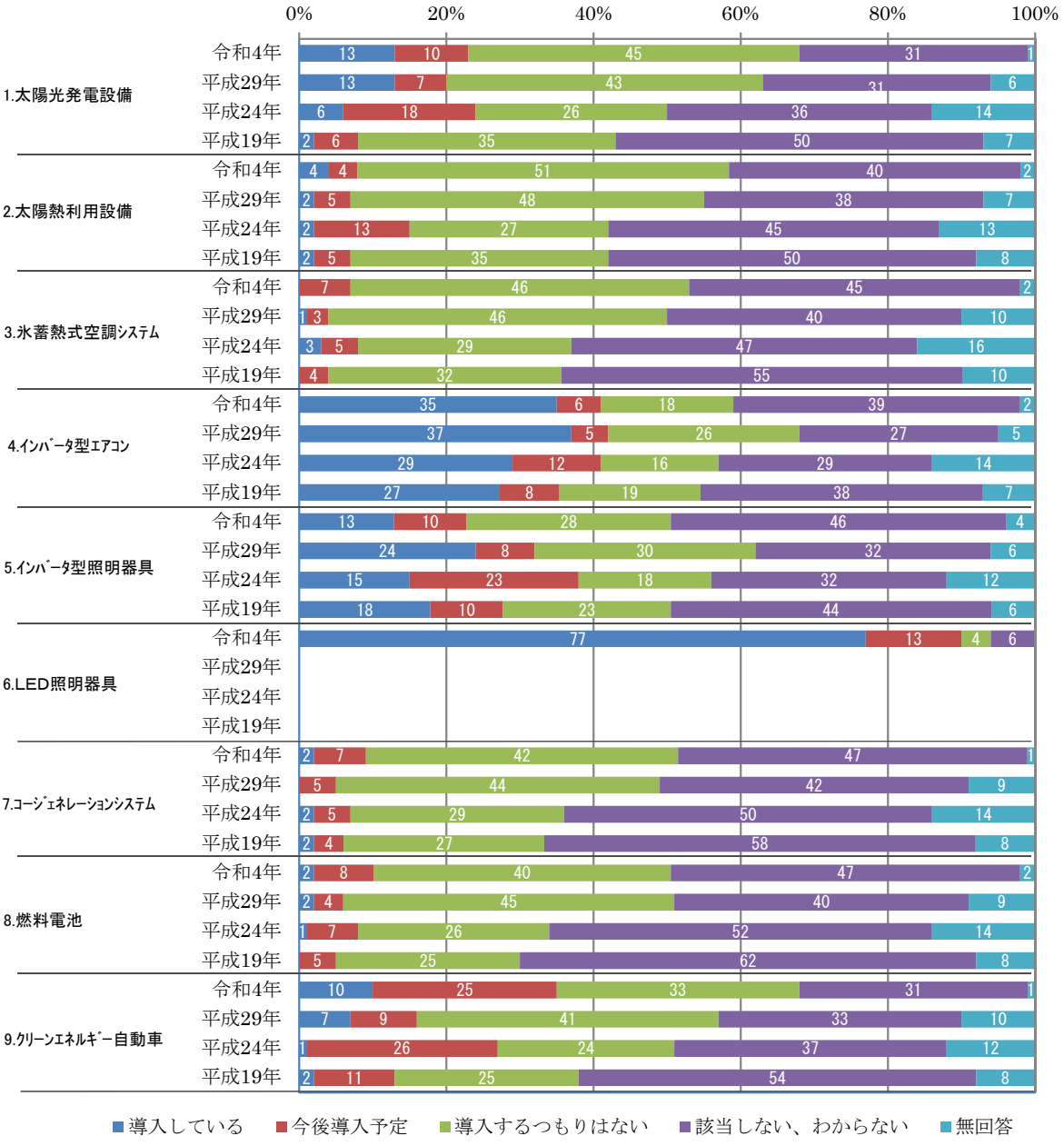
区　分		既に実施している	実施する予定である	実施の予定はないが興味はある	実施の予定はなく興味もない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	建設業	9.1	0.0	54.5	18.2	18.2
	製造業	0.0	0.0	50.0	12.5	37.5
	電気･ガス･熱供給･水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	卸売･小売業、飲食店	5.0	10.0	25.0	20.0	40.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	9.5	33.3	23.8	33.3
	その他	7.1	0.0	35.7	21.4	35.7
社員数	10 人未満	2.9	8.8	26.5	23.5	38.2
	10～49 人	3.2	0.0	51.6	19.4	25.8
	50～99 人	9.1	9.1	27.3	27.3	27.3
	100～299 人	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7
	300 人以上	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
計		4.0	5.0	41.0	20.0	30.0

6）省エネルギー設備・新エネルギー設備の導入状況

① 導入状況

省エネルギー設備・新エネルギー設備について導入状況を聞いたところ、７項目において「今導入予定」と回答した事業者が、前回より増加している。「6. LED 照明器具」については「導入している」という回答が 77 パーセント（新設問のため比較なし）となっている。

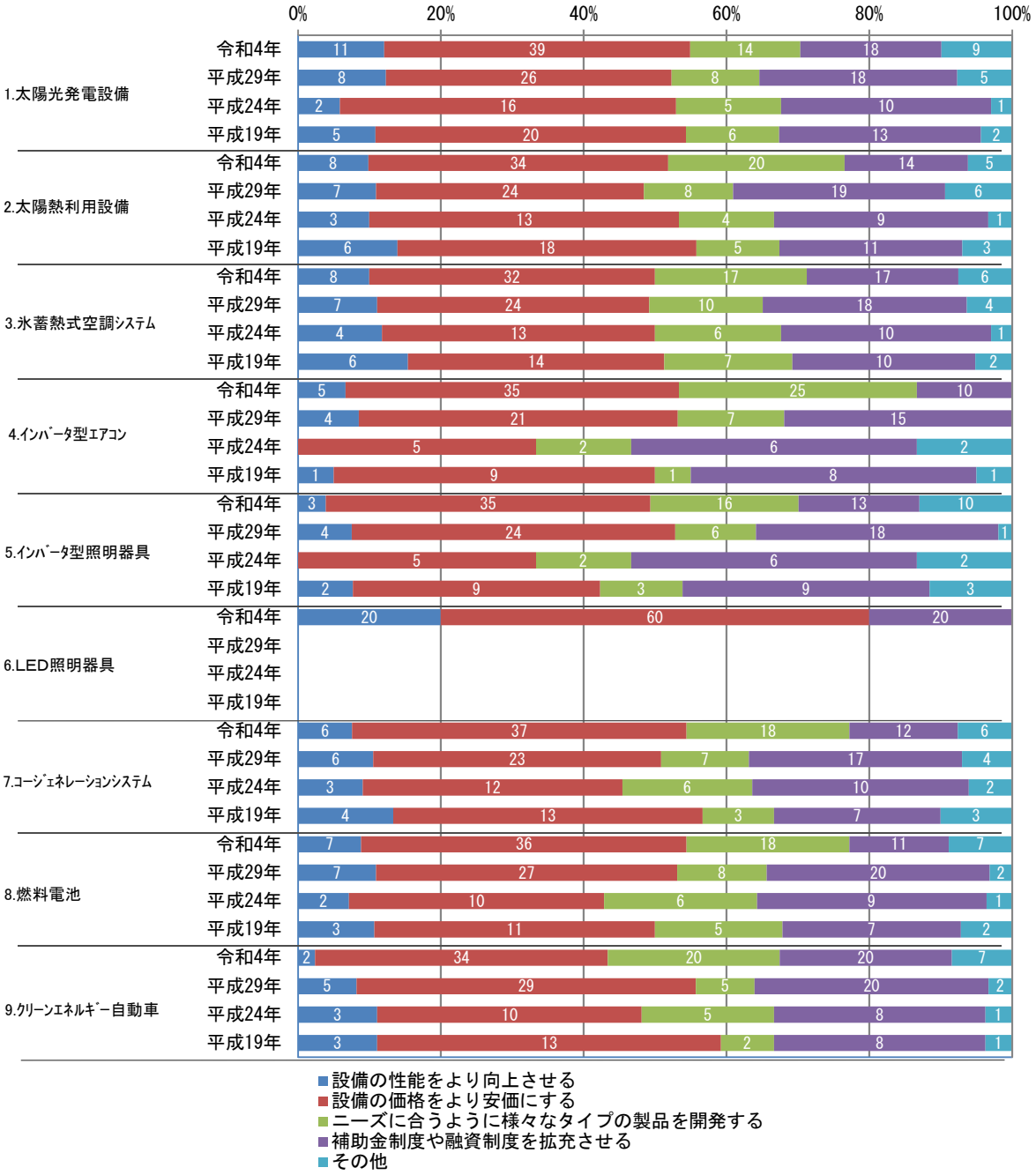
■ 省エネルギー・新エネルギーの導入状況



② 導入の条件

①で「導入するつもりはない」と回答した事業所に、どの様な条件が整えば導入できるか聞いたところ、過去の調査と同様に「設備の価格をより安価にする」が多く、「ニーズに合うように様々なタイプの製品を開発する」が続いている。

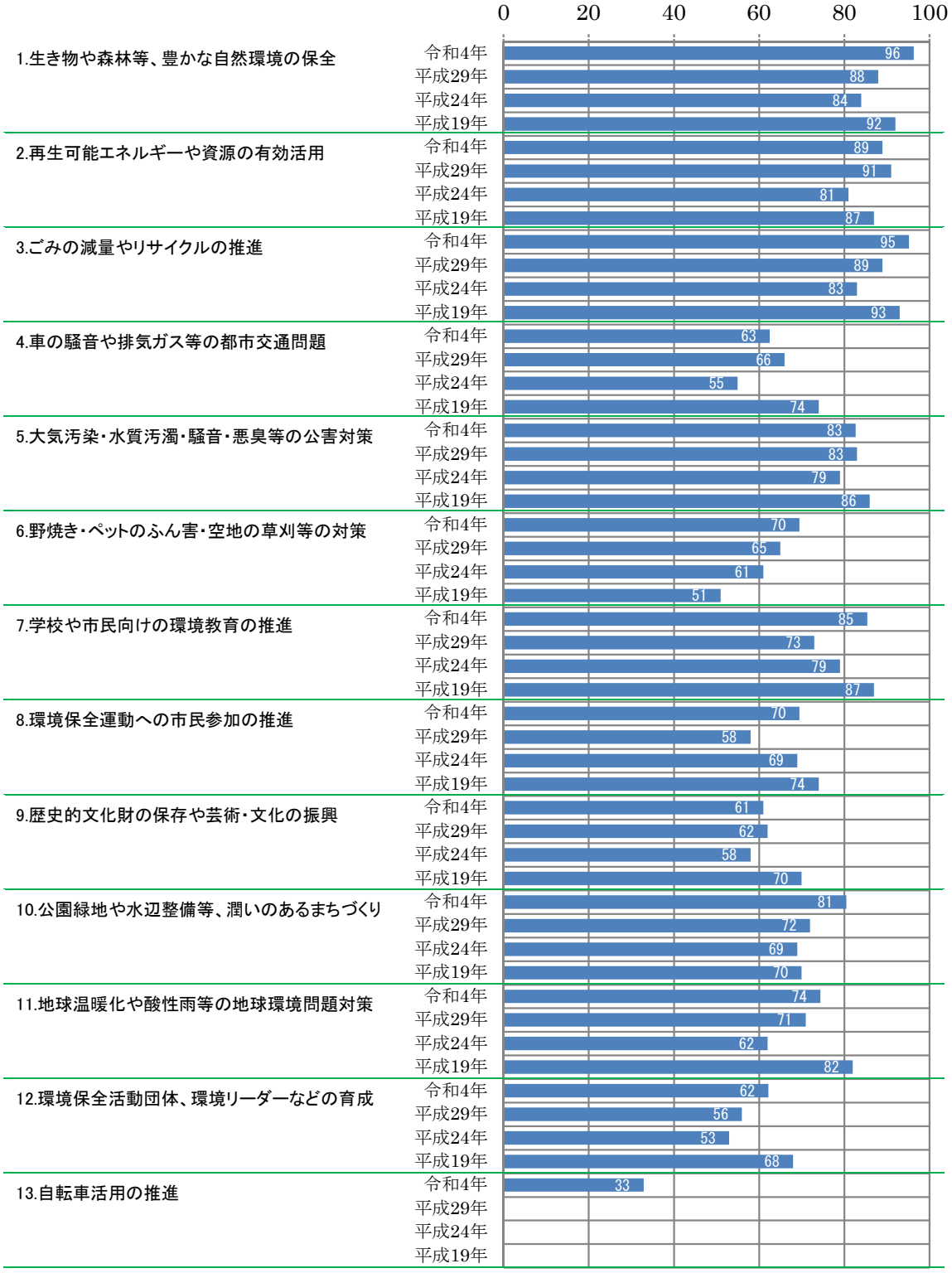
■ どのような条件が整えば導入できるか（複数回答）



7）環境行政への要望

佐伯市の環境を守り、より良いものにしていくための市の施策について聞き、「特に重要」又は「重要」と回答している人の割合を以下に示す。８項目において前回より割合が高くなっており、「1. 生き物や森林等、豊かな自然環境の保全」が 96 パーセントで最も高く、次いで「3. ごみの減量やリサイクルの推進」や「3. 再生可能エネルギーや資源の有効活用」が続いている。また、「13. 自転車活用の推進」（新設問）、「9. 歴史的文化財の保存や芸術・文化の振興」の割合が低くなっている。

■ **施策の重要度**：「特に重要」「重要」と回答した人の割合



■ **施策の重要度（業種別、社員数別）**：「特に重要」「重要」と回答した人の割合

（%）（%）

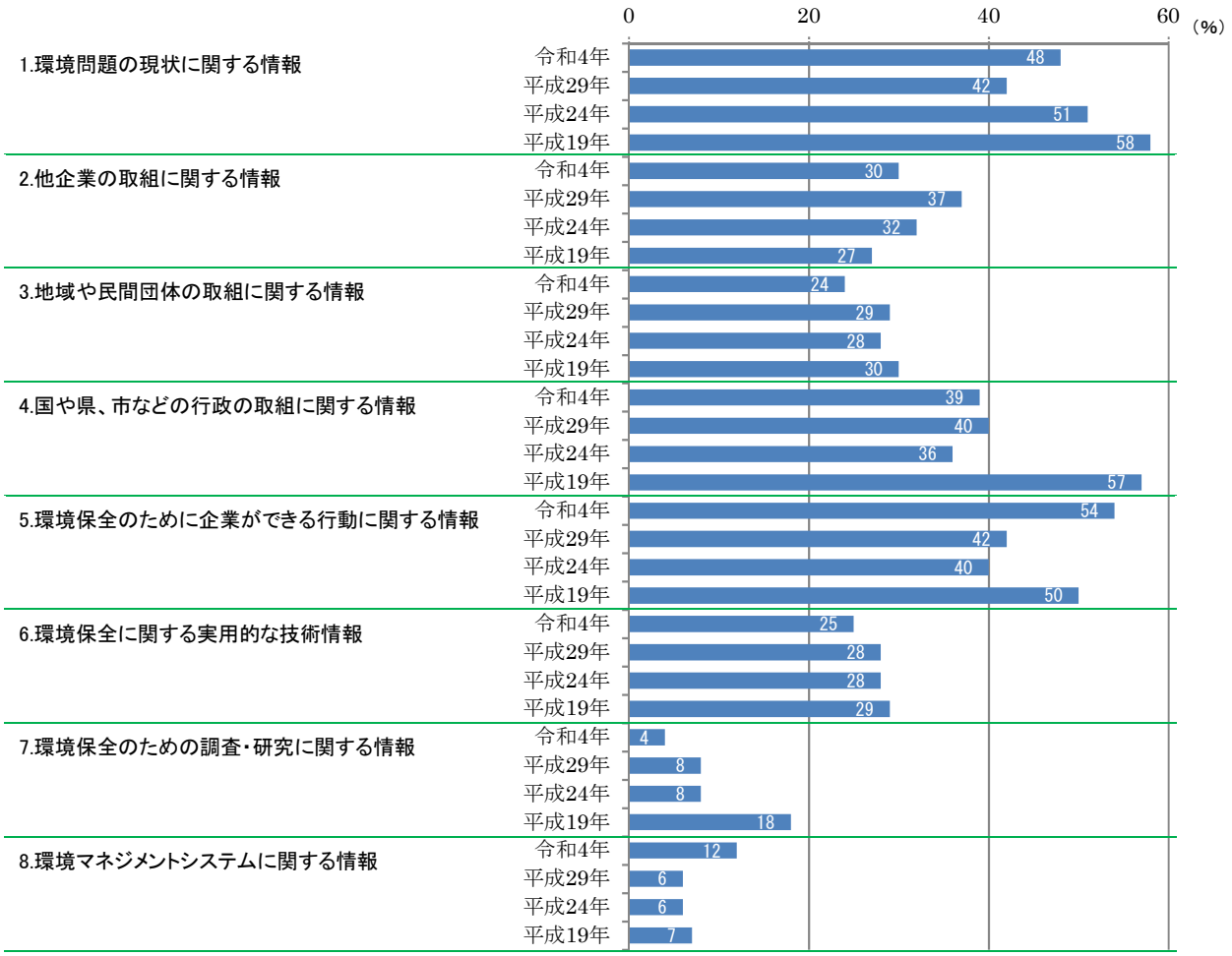
区分		生き物や森林等、豊かな自然環境の保全	再生エネルギーや資源の有効利用	ごみの減量やリサイクルの推進	車の騒音や排気ガス等の都市交通問題	大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭等の公害対策	野焼き・ペットのふん害・空地の草刈等の対策	学校や市民向けの環境教育の推進
業種	農林漁業	100.0	100.0	100.0	75.0	100.0	50.0	100.0
	建設業	90.9	63.6	72.7	40.0	81.8	90.9	63.6
	製造業	100.0	100.0	100.0	28.6	71.4	42.9	85.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	運輸・通信業	75.0	75.0	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0
	卸売・小売業、飲食店	100.0	95.0	100.0	70.0	75.0	80.0	90.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	95.2	85.7	95.2	70.0	80.0	76.2	81.0
	その他	100.0	100.0	100.0	64.3	92.9	57.1	92.9
社員数	10 人未満	97.0	91.2	94.1	66.7	87.9	79.4	85.3
	10～49 人	96.8	87.1	96.8	61.3	80.6	67.7	83.9
	50～99 人	90.0	80.0	90.9	66.7	80.0	60.0	80.0
	100～299 人	100.0	100.0	100.0	33.3	66.7	33.3	100.0
	300 人以上	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
計		96.0	89.0	95.0	63.0	83.0	70.0	85.0

区分		環境保全運動への市民参加への推進	歴史的文化財の保存や芸術・文化の振興	公園緑地や水辺整備等、潤いのあるまちづくり	地球温暖化や酸性雨等の地球環境問題対策	環境保全活動団体、環境リーダーなどの育成	自転車活用の推進
業種	農林漁業	50.0	25.0	50.0	75.0	50.0	75.0
	建設業	63.6	72.7	100.0	45.5	45.5	36.4
	製造業	71.4	57.1	85.7	71.4	57.1	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0
	卸売・小売業、飲食店	75.0	80.0	90.0	90.0	80.0	35.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	57.1	47.6	66.7	66.7	57.1	33.7
	その他	85.7	71.4	92.9	100.0	78.6	35.7
社員数	10 人未満	67.6	70.6	85.3	73.5	64.7	32.4
	10～49 人	71.0	54.8	83.9	77.4	61.3	36.5
	50～99 人	60.0	30.0	50.0	60.0	40.0	50.0
	100～299 人	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	0.0
	300 人以上	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
計		70.0	61.0	81.0	74.0	62.0	33.0

8）行政に提供してほしい環境情報

行政から提供して欲しい環境保全に関する情報の内容について聞いたところ、過去の調査と同様に、「5. 環境保全のために企業ができる行動に関する情報」、「1. 環境問題の現状に関する情報」及び「4. 国や県、市など行政の取組に関する情報」」等の回答が多くなっている。

■ 行政から提供してほしい環境保全に関する情報（複数回答）



■ 行政から提供してほしい環境情報（業種、社員数別）

区　分		環境問題の現状に関する情報	他企業の取組に関する情報	地域や民間団体の取組に関する情報	国や県、市など行政の取組に関する情報	環境保全のために企業ができる行動に関する情報	環境保全に関する実用的な技術情報	環境保全のための調査・研究に関する情報	環境マネジメントシステムに関する情報	その他	無回答
業種	33.3 農林漁業	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	41.7	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	製造業	22.2	44.4	0.0	55.6	55.6	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1
	電気･ガス･熱供給･水道業	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	40.0	40.0	40.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	卸売･小売業、飲食店	45.0	25.0	30.0	40.0	50.0	25.0	0.0	20.0	0.0	5.0
	ｻｰﾋﾞｽ業(旅館、医療業含む)	61.9	19.0	19.0	23.8	61.9	28.6	9.5	14.3	0.0	14.3
	その他	35.7	42.9	35.7	64.3	50.0	14.3	0.0	14.3	7.1	0.0
社員数	10 人未満	52.9	11.8	32.4	38.2	50.0	23.5	5.9	8.8	0.0	5.9
	10～49 人	51.6	38.7	22.6	32.3	58.1	22.6	3.2	16.1	6.5	3.2
	50～99 人	36.4	18.2	18.2	54.5	45.5	36.4	0.0	9.1	0.0	18.2
	100～299 人	33.3	100.0	0.0	50.0	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	300 人以上	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計		48.0	30.	24.0	39.0	54.0	25.0	4.0	12.0	2.0	6.0

９）自由意見

山間部の樹木の伐採跡の有効活用や植樹の義務化、休耕地の再活用や有効活用の推進を希望します。伐採跡地や休耕地は個人所有の土地が多いものと推測しておりますが、葡萄などの果樹園への転用を考えてみてはどうでしょうか。果樹の栽培に適しているのかはこちらで判断出来ませんが、土砂の流出を防ぐ目的と同時に、企業などによる農業への参画が実現できれば佐伯の特産品の創出や雇用の促進にも寄与できるものと思われます。シカなどの害獣対策や土地の賃借や譲渡などの手続きも必須となるかと思われます。イチゴ農家への長期的なサポートは佐伯の特産品を創出する意味では大変良い取り組みであったと思います。該当地の調査やそれに適応する果樹などの選定や栽培指導などとそれを担う企業や団体、個人の誘致を進めていただき、宮崎県の都農や大分県の久住、由布のワインなど、その地域の特産品の産地として有効に活用されるようになれば大変うれしく思います。
個人としての意見。 各家庭（持ち家）等に太陽光発電パネル蓄電池の設置を促進し、せめて天気のいい日などは電気の自給自足をする。 経済的にみなさん、ゆとりがないので市が補助金を50％位出し、佐伯市民の戸建一軒家等全世帯設置し（現在設置なしの家含む）市のモデルケースとする事を提案します。
日常生活の中で出るごみ削減ももちろんですが家屋の解体などで出る廃材などを産廃として処理するだけでなく、リサイクルしていって欲しい。管理費が少なく済む有志で運営できるようなリビルディングセンターの仕組みは注目しています。 サイクリングを推進するために、夏や冬の暑さ寒さ対策となるような実用的なグッズの配布（企業とタイアップ等して）することで環境対策などにはならないだろうか。 また、ツーリズム（又はレジャー）だけではなく日常的に自転車に乗ることをうながすような紹介の仕方をするといいと思います。自転車につけられる買い物かごの紹介や、小回りが利くので車より便利だということなど。
佐伯市内の企業でも先進的な取組を行っている企業が存在するはずなので、そういった企業を市が順次PRしてあげてそういった企業を伸ばしてあげる取組を行えば追随してくる企業・団体を増やすことに繋がるはず。今回のこのアンケート調査がただの形式的な物で無く有効活用されることを切に願う。そういった取組が必ず災害時にまた災害復旧を行う中で非常に重要な役割になると思うので是非このアンケートを活かしていただきたい。どういった 200 社なのかもお聞かせいただきたい。
まず市役所職員の自転車通勤の推進などから始めてください。 市民に求める前に、まず市職員から。 このアンケートも、ペーパーレスにすべきでは？
・オーガニック、有機栽培をうたうなら、有機肥料の推進が大切、有機肥料製造の事業化を佐伯市で推進する。 ・太陽光発電と太陽熱の利用を積極的に活用しないとカーボンニュートラルは達成できない。佐伯市は九州一広い町だから、九州一の再生エネルギーの町にできる。全国から人が集まる町になる。
環境保全の取くみは大変大事だと思います。 佐伯市が先頭となって事業所も協力していきたいと思います。まずは身近なゴミひろいを定期的に行う。
世界人口の増加、経済活動の活発化に伴い地球環境、地域環境の悪化は避けられない課題であると推測されます。 とりわけ世界では淡水の確保が必須課題とされており、今後も環境悪化によって世界各地での水不足は更に深刻になっていくと予想されます。我国は温帯湿潤気候かつ海洋性気候を有しており、今後も水資源についての問題は他国と比べ影響は少ないと思われますが、反対に治水に対しての課題は全国の災害状

況を鑑みる限り深刻さを増してきております。私はこういった自然環境の動態より、治水と自然エネルギーを両立することが今後の日本のエネルギー政策の重要な要になって来ると考えております。具体的には一級河川に一定間隔に水力発電ダムを設けることが最も効果的な解決策であると考えています。川の生態系は損なわれると思いますが、①100%他国依存のエネルギー政策、②脱炭素、③治水、④用水、⑤食料政策、⑥水素燃料生産の全てを解決出来る施策はこれしか無いと考えております。佐伯、大分県は7割が山岳地帯であり、多くの一級河川を有しており、水資源も豊富なことから、この政策に最も適合可能な地域であると考えております。
自転車活用の推進について。 自転車は自然環境に良い便利な乗り物ですが佐伯市では、ほとんどが学生の利用 or 自動車が無い人の利用と思われる。ツールド佐伯等のイベントを行っているにもかかわらず、利用者が増加しない背景には、自転車乗車中の死者数の占める割合が増加している事、(危険な乗り物である)が起因している。安全で快適な自転車道が必要である。 現状の道路環境で自転車活用の推進をしても事故が増加すると思います。
環境保全は企業としても、個人としても重要だという認識はある。但し、その為の設置や人員の確保を行うと、コストが上がり、そのコストが価格に転嫁できない。企業の環境への取組みの法整備を行い、行政の適正な管理、監督の下、同じ土俵で企業活動ができれば環境保全の為の投資は行いたい。
事業経営の向上がなければ取組むだけの経費を支出不能となると思います。 経営者としては、むずかしい判断を迫られるものと考えます。地球上の問題としては大切なことだとは理解しますが、それだけの力のある企業になれるだけの要素が今後も持てないと考えます。 個人として、小さなことからの取組みしか現状では可能にならないと今は考えます。
当社は、毎月一度、店舗周辺の清掃を全スタッフでしております。地域への貢献・環境保全をする為に全スタッフでできる事として、しています。会社全体としてSDGsの取組みも何項目かしております。 小さな取組ですが、私たちができる事をできる時にという考えなので、佐伯市の推進事業で良い事例があれば活用させていただきたいです。
佐伯市に住み続けたいと思う様な施策が重要と考えます。
佐伯市は豊かな自然にかこまれたすばらしい町である。 それゆえ、ゼロカーボンなどの流行りの言葉に流され、メガソーラーなどのような山を切り開いて設置するような行動は取るべきではないし、自然を壊して設置しているような物は規制するべきであり、既に設置しているものには、税金を課すべきである。 本当の環境保全は自然である。なにもかも言われるがまま、どこかの真似ではなく、もともとある環境をどう維持するか、どういう風に付き合っていくかを考え、行動、推進を考えて、次世代につなぐ佐伯であってほしいです。
具体的な取組みおよび効果を市民に理解してもらい、全体の行動につながることが必要と考えます。
自分が暮らす地域では空家が目立ち草が伸び里道は歩きにくいような状況です。高齢者が多く人が住んでいても庭の手入れもできず安定して安全に暮らす未来が見えません。 何か対策をした方が良いと思いますがお金と時間、作業する人手が必要です。 広い佐伯市が高齢化し環境を守ることが難かしくなる時は案外早くやってくるのかな？と思う今日この頃です
1. 取組みが 1 人でも多くなる事を希望します。 2. 行政が本気で取り組んで頂けたらと思います。
○公園整備(老若男女が利用できるもの。ウォーキング・ジョギングコース、親子が遊べるスペース)

〇地元の木材を活用した施設や個人住居の建設またその助成　例）住宅ローン利息補助、太陽光等エコ設備に対して助成、地元木材を使用した場合等。・・・定住・移住につなげていく 〇温泉による健康増進の為の施設（地元木材を使用）コテージ・ログハウス風施設も可能であれば併設、自然の資産を活かし湯治客が中期滞在し、地元の幸を食すことで健康となり、その体験をSNSで広めてもらう
佐伯市は公共交通機関が発達していないため、自動車やバイクは市民の足としてなくてはならないものとなっています。国がガソリンエンジン以外を推進するのであれば、EV の充電スポット、FCV の水素ステーションといったインフラ整備が急務であり、又それらの車両へ買い替えを促すための補助金が必要となるでしょう。 さらに、高価で手を出しずらかったスポーツバイク（クロスバイク、MTB、ロードレーサー）や E バイク（電動アシスト自転車）補助金があれば自動車から自転車へシフトする方が増えるかもしれません。 通勤や業務で使用する自動車から CO_2排出がなくなれば脱炭素の推進には大いに貢献できると考えます。
アンケートの内容が企業に対してのものであったので、個人事業として 1 人で行っているため、該当しないものが多かったように思います。個人の意見としては、環境保全は今生きていく上での最重要課題だと考えています。家庭でできることの提案はもちろんですが、佐伯市は漁業が盛んで中でも養殖がさかんな地域ですので、（農業同様）それぞれに取り組めることを技術的に導入できる（指導）行政であってほしい。 問11．に「自転車活用の推進」とありますが、高齢化に向けて取り組むとすれば「コミュニティバス」の、より利用しやすい方法を推進すべき。 自然豊かで食材に恵まれた街であることを、さいき市民がプライドを持って生活できると良いと思います。
市指定の日用品をゼロカーボン等などに変更。